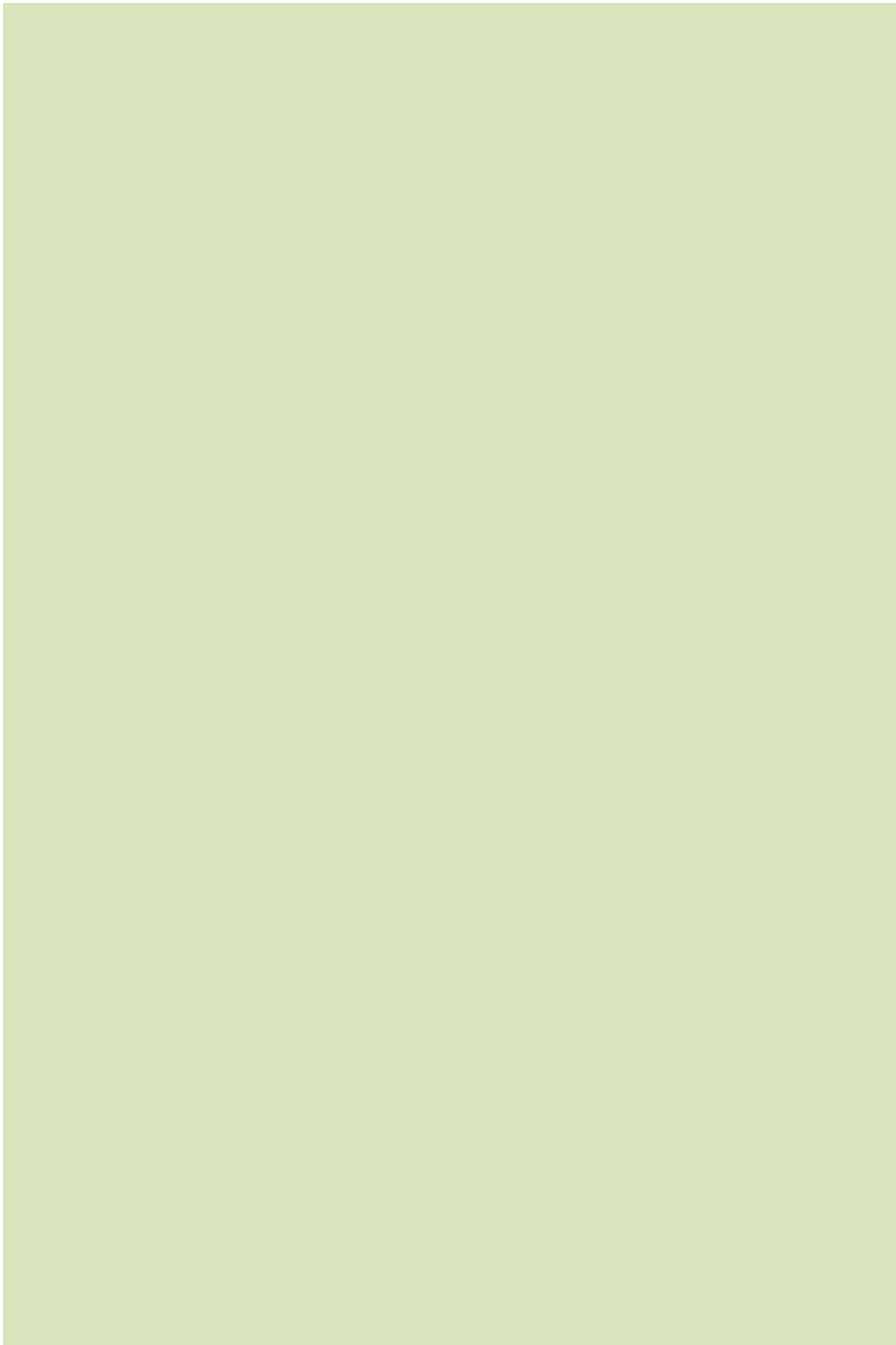


平成 29 年 度

# 水道事業年報

平成29年4月1日～平成30年3月31日

岩 国 市 水 道 局



# 目 次

## 水 道 事 業

### (I) 概 要

1	水道事業の沿革	・・・	1
2	水道事業の歩み	・・・	2
3	拡張事業の推移	・・・	7
4	平成29年度事業概況	・・・	7
5	写真で見る概要	・・・	8

### (II) 施 設

1	給水区域図	・・・	11
2	施設位置図・主要配水管ルート図	・・・	12
3	各施設フロー図	・・・	20
4	各施設詳細	・・・	46
5	配水管	・・・	60
6	施設写真	・・・	62

### (III) 業 務

1	給水普及状況	・・・	67
2	電気使用量	・・・	68
3	配水量	・・・	70
4	給水状況	・・・	73
5	メーター設置状況	・・・	73
6	給水収益	・・・	74
7	水道料金早見表	・・・	76
8	加入金	・・・	76
9	職員構成	・・・	77
10	建設改良工事等	・・・	78

### (IV) 財 政

1	平成29年度財政概況	・・・	85
2	決算報告書	・・・	86
3	年度別収益費用明細書比較	・・・	100
4	年度別貸借対照表比較	・・・	102
5	経営分析	・・・	106

# 目 次

## 工業用水道事業

### (I) 概 要

1	工業用水道事業の沿革	・・・	111
2	工業用水道事業の歩み	・・・	112
3	平成29年度事業概況	・・・	114
4	写真で見る概要	・・・	114

### (II) 施 設

1	各施設及び給水先事業所位置図	・・・	115
2	工業用水道施設	・・・	116
3	工業用水道管路施設	・・・	116
4	施設写真	・・・	116

### (III) 業 務

1	給水普及状況	・・・	117
2	配水量	・・・	118
3	基本使用（契約）水量	・・・	119
4	工業用水道料金	・・・	119
5	職員構成	・・・	120
6	建設改良工事等	・・・	120

### (IV) 財 政

1	平成29年度財政概況	・・・	121
2	決算報告書	・・・	122
3	年度別収益費用明細書比較	・・・	132
4	年度別貸借対照表比較	・・・	134
5	経営分析	・・・	138

## そ の 他

1	水道局の機構	・・・	143
2	職員構成	・・・	144
3	事務分掌	・・・	146
4	防災関係	・・・	153

# 水 道 事 業

(I) 概 要

(II) 施 設

(III) 業 務

(IV) 財 政

the 1990s, the number of people who are employed in the service sector has increased in all countries. The increase is most pronounced in the United States, where the service sector has become the dominant sector of the economy. In the Netherlands, the service sector has also become the dominant sector, but the increase is less pronounced than in the United States.

The increase in the service sector is due to a number of factors. One of the main factors is the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

The increase in the service sector is also due to the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector. This is due to a number of factors, including the increase in the number of people who are employed in the service sector.

## (I) 概 要

1	水道事業の沿革	・・・	1
2	水道事業の歩み	・・・	2
3	拡張事業の推移	・・・	7
4	平成29年度事業概況	・・・	7
5	写真で見る概要	・・・	8





## 1 水道事業の沿革

大正末期、麻里布町は徐々に発展し、町民の保健衛生、消防の観点からも上水道整備の必要性が求められ、昭和14年4月に施設能力3,200m<sup>3</sup>とする麻里布水道が新設された。

その後、国から旧陸軍燃料廠水道施設の無償譲渡を受け、昭和23年11月から昭和24年4月にかけて、計画給水人口26,000人、計画1日最大給水量7,280m<sup>3</sup>とする第1次拡張事業を行い、西岩国地区全域、川下地区及び和木村(現和木町)の一部に給水区域を拡大した。

昭和25年3月から昭和36年12月にかけて、第2次拡張事業として牛野谷水源地と錦見浄水場の拡張工事を行い、昭和34年6月には大蔵省(現財務省)から駐留軍専用水道であった川下水源地(日量2,800m<sup>3</sup>)、第2牛野谷水源地(日量2,800m<sup>3</sup>)の無償譲渡を受け計画給水人口49,000人、計画1日最大給水量33,000m<sup>3</sup>とし、川下地区・門前川以南地区を給水区域に加えた。

さらに、昭和41年から昭和48年にかけて計画給水人口115,000人、計画1日最大給水量63,000m<sup>3</sup>とする第3次拡張事業を行い、市内全域にわたる配水システムの整備拡充強化を図り、新たに平田地区の一部を給水区域とした。

しかし、昭和49年以降、海岸部一帯の地下水の塩水化現象が進行したため、牛野谷系統(川下、牛野谷第1、牛野谷第2)における地下水の取水を廃止した。そして、水源を錦川の表流水のみとし、昭和53年から昭和58年にかけて、計画給水人口112,000人、計画1日最大給水量95,000m<sup>3</sup>とした第4次拡張事業を行った。

その後、社会的に節水意識が高まり、水需要が漸減傾向にあったことから、水需要予測の見直しを行い、さらに平成10年6月に1日最大取水量79,640m<sup>3</sup>とする水利権の許可を受けたことから、給水区域拡大事業として通津地区、藤河・御庄地区への給水を計画することとなり、平成13年9月に計画給水人口110,000人、計画1日最大給水量73,000m<sup>3</sup>とする事業変更認可を受けた。通津地区においては平成17年度に給水区域拡大を完了し、藤河・御庄地区においては平成21年度から事業を開始し、平成25年度に完了した。

平成18年3月20日には市町村合併に伴い、旧岩国市、旧由宇町(計画給水人口8,800人、計画1日最大給水量5,600m<sup>3</sup>)旧玖珂町(計画給水人口11,000人、計画1日最大給水量4,280m<sup>3</sup>)の上水道事業を統合し、その後、平成23年3月には、簡易水道事業統合計画を主とする第二次給水区域拡大の事業変更認可を受け、計画給水人口122,200人、計画1日最大給水量65,300m<sup>3</sup>となった。

この簡易水道事業統合計画に従って、平成28年4月までに島しょ部を除く14簡易水道を上水道に統合した。

## 2 水道事業の歩み

年	月	事 項
S11年	1月	麻里布町議会上水道計画案について審議
	3月	麻里布町議会上水道予算案調査費可決
	8月	麻里布町議会上水道設置可決
	8月	麻里布町水道認可申請・国庫補助申請・県費補助申請
S12年	3月	起債認可
	5月	麻里布町水道課新設
	6月	水道工事実施設計申請
	7月	水道工事実施設計認可
	7月	麻里布町上水道起工式
	9月	麻里布町上水道起工
S13年	6月	水道使用条例制定
	9月	起債変更許可申請
S14年	1月	麻里布町水道課事務所建設が決定（今津1168番地）
	3月	竣工期限延期申請
	4月	麻里布町上水道通水式挙行
	5月	水道料金設定申請
	6月	水道料金設定許可
	7月	錦川分水問題について関係町村長山口県知事に反対陳情
	8月	麻里布町水道課事務所が完成し移転（今津1168番地）
	9月	麻里布町上水道完成
S15年	3月	陸軍燃料廠給水開始議決
	4月	岩国市制施行
	7月	岩国海軍航空隊開設通水
	8月	陸軍燃料廠給水開始
S16年	3月	向道ダム完成
	4月	陸軍燃料廠岩国工廠水源地（現錦見浄水場）起工
S17年	3月	和木村（現和木町）陸軍燃料廠宿舎へ給水のため、区域外給水を提案可決
	3月	区域外給水認可申請
S20年	8月	岩国駅を中心に付近一帯被爆し配水管の被害を受ける
	11月	料金改定
S21年	1月	旧陸軍燃料廠水道施設（現錦見浄水場）譲渡申請
	4月	料金改定
	7月	料金改定
S22年	3月	料金改定
	7月	旧陸軍燃料廠水道施設一時使用申請
	8月	料金改定
	9月	市議会協議会に第1次拡張計画を説明
S23年	6月	料金改定
	7月	第1次拡張計画可決
	7月	第1次拡張工事認可申請
	9月	第1次拡張工事認可
	10月	料金改定
	11月	第1次拡張工事起工
S24年	2月	第1次拡張工事起工式
	3月	旧陸軍燃料廠水道施設譲渡許可
	4月	第1次拡張工事完成
	5月	第2次拡張計画可決
	5月	第2次拡張工事認可申請
	8月	料金改定
S24年	12月	第2次拡張工事認可

年	月	事 項
S25年	9月	キジヤ台風により錦帯橋流出
S27年	8月	地方公営企業法施行
S28年	1月	錦帯橋再建完成渡り初め
S29年	2月	公営企業組織条例制定
	2月	指定工事店5店を指定
	4月	公営企業局発足（岩国市公営企業局水道課となる）
	4月	第2次拡張事業第1回設計変更工事認可申請
	6月	第2次拡張事業第1回設計変更工事申請認可
S30年	4月	周辺7か村と合併
	8月	公営企業局庁舎移転（錦見136番地）
	9月	料金改定
S31年	9月	第2次拡張事業第2回設計変更工事認可申請
	10月	米軍岩国基地給水開始
	12月	第2次拡張事業第2回設計変更工事申請認可
S32年	6月	水道法制定
	8月	第2次拡張事業第3回設計変更工事認可申請
	9月	水道局発足
	10月	第2次拡張事業第3回設計変更工事申請認可
S34年	6月	基地給水施設（第2牛野谷水源地、川下水源地）貸し付けを受ける
	7月	市庁舎完成
	8月	水道局庁舎移転（市庁舎西隣）
S35年	4月	水道局庁舎移転（今津町六丁目2番23号）
	11月	岩日線（現錦川鉄道）開通
	12月	和木村（現和木町）拡張工事完成
S36年	6月	和木町内水道料金徴収事務委託
	12月	第2次拡張事業完成
S37年	4月	水道料金計算事務加算機付きタイプライター導入
	6月	菅野ダム建設に関する協定締結
S38年	6月	第2牛野谷水源地、川下水源地譲渡を受ける
S41年	1月	第3次拡張事業認可申請
	2月	第3次拡張事業認可
	3月	菅野ダム完成
	12月	第3次拡張事業起工
S42年	4月	料金改定
S45年	10月	水道料金徴収事務電子作表計算機導入
S46年	3月	第1、第2牛野谷水源地を統合
	4月	隔月検針の実施
S47年	3月	錦見浄水場管理棟完成
	10月	水道料金徴収口座制導入
S48年	4月	料金改定
	6月	現水道局庁舎完成（山手町四丁目4番14号）
S49年	3月	第3次拡張事業完成今津浄水場及び前川原水源地廃止
	10月	川下水源地取水中止
S50年	2月	初めて配水管更生工事施工
	7月	水道料金集金制廃止
S51年	2月	料金改定
	4月	水道料金予納金制度廃止
	12月	今津浄水場水利権を錦見浄水場に変更
S52年	6月	配水管整備事業起工（昭和52～57年度）
	12月	第4次拡張事業認可申請

年	月	事 項
S53年	2月	年次計画による漏水調査開始
	3月	第4次拡張事業認可
	4月	第4次拡張事業起工
	6月	水道料金徴収事務コンピューター導入
S54年	3月	愛宕水管橋完成
S56年	2月	料金改定
S58年	10月	牛野谷水源地取水中止
S59年	3月	第4次拡張事業完成
	3月	生見川ダム完成
S60年	4月	料金改定
S63年	4月	和木町内の検針業務委託（和木町へ委託）
H元年	4月	料金改定（消費税導入分、0→3%）
H2年	4月	既設高台団地検針業務委託
	4月	料金改定（大口対象）
	11月	高度処理実験プラント完成
H4年	12月	大竹市と水道用水緊急応援協定書を締結
H5年	4月	中高層建築物への直結給水開始
	12月	新水質検査項目の追加（46項目）
H6年	7月	浄水施設整備事業開始（平成6～11年度）
	8月	既設高台団地（30団地）の給水施設引き取り覚書締結
H7年	3月	既設高台団地（2団地）の引き取り完了
H8年	2月	牛野谷加圧設備（電気計装）更新工事完成
	3月	平田第1ブロック配水池完成（緊急遮断弁設置）
	4月	電算端末機及び検針業務のハンディーターミナル導入
H9年	4月	料金改定（消費税増税分、3→5%）
H10年	6月	水利権変更許可申請（79,640m <sup>3</sup> ）山口県より許可
H11年	4月	和木町検針業務にハンディーターミナル導入
	10月	第2次浄水施設整備事業設計委託
H12年	2月	第1次浄水施設整備事業完成
H13年	1月	水道料金業務システム更新
	3月	水道事業変更認可申請書厚生労働省より認可
H14年	4月	検針業務委託開始
	8月	和木町滞納閉栓業務実施
H15年	2月	通津地区給水区域拡大事業着工
	10月	情報処理システム（IT化）導入
H16年	2月	原水ポンプ設備更新工事完成
	12月	監視設備等整備事業完成
H17年	3月	2号ろ過池電気機械設備更新工事完成
	3月	パック注入設備更新工事完成
	3月	水道局L GWAN接続
	10月	通津地区給水区域拡大事業完成
H18年	3月	市町村合併に伴い旧岩国市、旧由宇町、旧玖珂町水道事業統合
	5月	由宇地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
	9月	ペットボトル水（大吟浄の水）製作（災害時の緊急飲料水・PR用）
H19年	2月	給水車（2トン）購入
	3月	和木町内の検針業務委託廃止（和木町への委託を廃止）
	4月	水道料金業務システム更新
	4月	玖西営業所開設
	8月	由宇地区給水事業開始
H20年	3月	第3次浄水施設整備事業開始

年	月	事 項
H20年	4月	玖珂地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
	6月	岩国管工事協同組合・岩国市水道管工事協会と災害時における水道施設復旧援助に関する協定書を締結
	7月	山手ブロック配水池工事着工
	12月	岩国市地域水道ビジョン策定
H21年	4月	梅が丘団地専用水道統合
	4月	藤河御庄地区給水区域拡大事業開始
	5月	耐震化事業開始（錦見浄水場より）
	12月	水道料金コンビニ収納開始
H22年	3月	山手ブロック施設完成（高台団地広域監視システム設置）
	4月	黒磯団地引き取り
	8月	上北浄水場、マンガン除去装置設置
H23年	3月	水道事業変更認可申請書（第二次給水区域拡大）厚生労働省より認可
	4月	小瀬・阿品簡易水道統合（簡易水道統合開始）
	12月	情報処理システム更新（岩国市情報システムに統合）
H24年	2月	水道事業基本計画（上水道）策定
	3月	愛宕加圧設備完成
	4月	高森南簡易水道統合
	4月	玖西営業所名称変更（玖西事業所へ）
	4月	水道施設耐震化10ヵ年計画策定
	9月	給水車（2トン）購入（三井化学株式会社より寄贈）
	11月	玖珂・高森南地区、広域監視システム設置（以後統合簡易水道に順次設置）
H25年	2月	水道事業基本計画（簡易水道）策定
	3月	料金お客さまセンター受託者フジ地中情報株式会社と災害時における応援協力に関する協定書を締結
	3月	錦見浄水場1号ろ過池更新工事完成（着工はH22年12月）
	4月	由西・美和・秋掛簡易水道統合
	4月	玖北事業所開設
	4月	水道料金等徴収業務委託を開始（受託者：フジ地中情報株式会社）
	4月	料金お客さまセンター開設（山手庁舎1F）
	5月	料金改定（平均14.6%）
	7月	ペットボトル水（大吟浄の水）一般販売開始
H26年	2月	水道施設耐震化10ヵ年計画を一部改定
	3月	藤河御庄地区給水区域拡大事業完成
	4月	料金改定（消費税増税分、5→8%）
	4月	本郷・波野原・波野中簡易水道統合
	4月	玖西事業所移転（高森南浄水場内へ）
	6月	水道局オリジナルキャラクター「いーすい」くん発表
	7月	錦見原水中のジェオスミン量が増加したため、粉末活性炭投入で対応
	9月	小学校水飲み場整備事業開始（麻里布小、愛宕小、灘小に設置）
H27年	3月	岩国市水道ビジョン策定
	3月	玖北事業所移転（美川コミュニティセンター内へ）
	4月	河山・南桑簡易水道統合
	9月	錦見浄水場に粉末活性炭投入装置を設置
	9月	小学校水飲み場整備事業（川下小、通津小、御庄小に設置）
H28年	4月	広瀬・宇佐郷・向峠簡易水道統合（簡易水道統合完了）
	9月	小学校水飲み場整備事業（岩国小、平田小、由宇小に設置）
H29年	1月	水安全計画策定
	9月	小学校水飲み場整備事業完了（中洋小、藤河小に設置）
	10月	金山配水池築造工事完成



### 3 拡張事業の推移

事業名	工期	給水人口 1日最大給水量	水源	給水区域
創設事業	昭和12年8月 ～ 昭和14年4月	20,000人 3,200m <sup>3</sup>	伏流水（錦川）	旧麻里布町一円
第1次 拡張事業	昭和23年11月 ～ 昭和24年4月	26,000人 7,280m <sup>3</sup>	表流水（錦川）	旧岩国全域及び川下地区と和木町の一部に拡大
第2次 拡張事業	昭和25年3月 ～ 昭和36年12月	49,000人 33,000m <sup>3</sup>	表流水（錦川） 伏流水（錦川） 地下水	川下地区・門前川以南地区に拡大
第3次 拡張事業	昭和41年12月 ～ 昭和49年3月	115,000人 63,000m <sup>3</sup>	表流水（錦川） 伏流水（錦川） 地下水	平田地区の一部に拡大
第4次 拡張事業	昭和52年4月 ～ 昭和59年3月	112,000人 95,000m <sup>3</sup>	表流水（錦川）	第3次拡張事業と同じ
第1次 給水区域 拡大	平成15年2月 ～ 平成25年3月	110,000人 73,000m <sup>3</sup>	表流水（錦川）	通津地区、長野地区の一部、藤河・御庄地区に拡大
市町村合併	平成18年3月	120,200人 (129,800人) 69,300m <sup>3</sup> (82,677m <sup>3</sup> )	表流水（錦川） 伏流水（由宇川） 地下水（4カ所） 受水（周東町）	旧由宇町、旧玖珂町給水区域を統合
第2次 給水区域 拡大	平成23年3月 ～ 平成28年3月	122,200人 65,300m <sup>3</sup>	表流水（13カ所） 伏流水（1カ所） 地下水（9カ所） 受水（1カ所）	簡易水道統合

### 4 平成29年度事業概況

平成29年度末現在において、給水人口は114,926人、給水戸数は58,702戸、年間総配水量は15,951,689m<sup>3</sup>、有収水量は14,454,900m<sup>3</sup>、有収水量率は90.6%となりました。

本年度の建設改良事業の主なものは、高所地区配水管等改良事業として黒磯ポンプ所築造工事等を74,092,756円で施工し、配水施設整備事業として70,380,884円で配水管の新設、布設替、移設工事等を施工しました。由宇地区給水事業では、黒磯ポンプ所築造工事等を248,870,774円で施工し、浄水施設整備事業では、有延ポンプ所フェンス更新工事等を18,491,168円で実施しました。水道施設耐震化事業では、黒磯団地配水池築造及び送配水管布設詳細設計業務委託等及び各水道施設の耐震化更新工事、配水池場内整備工事等を974,597,989円で実施しました。耐震管整備事業では、配水管の耐震化工事に伴う設計業務委託等及び老朽化した配水管の布設替等を257,541,291円で施工し、庁舎建設事業では、山手庁舎建設工事監理業務委託及び建設工事を480,823,200円で実施しました。水質検査機器整備事業では、色度濁度計等を1,355,400円で購入しました。

簡易水道統合事業では、秋掛浄水場更新工事並びに平成28年度からの継続事業である本郷配水池築造工事及び金山配水池築造工事を行いました。

## 5 写真で見る概要

### (1) 給水区域



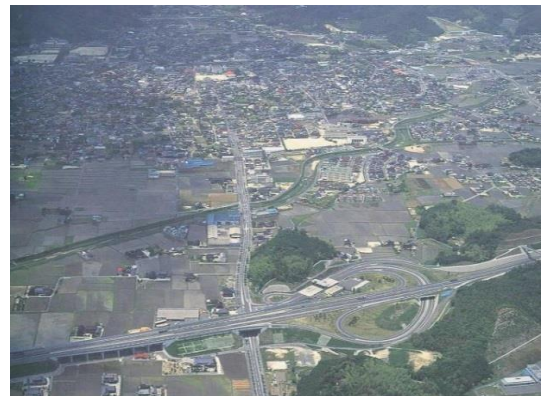
岩国地区



西岩国地区



由宇地区



玖珂地区

### (2) 水源



錦川



由宇川



(3) 水道局庁舎等



旧水道局庁舎（今津町6-2-23）



現水道局山手庁舎（山手町4-4-14）



錦見浄水場管理棟（昭和46年工事中）



現錦見浄水場管理棟 ※耐震補強済み  
（岩国4-10-1）

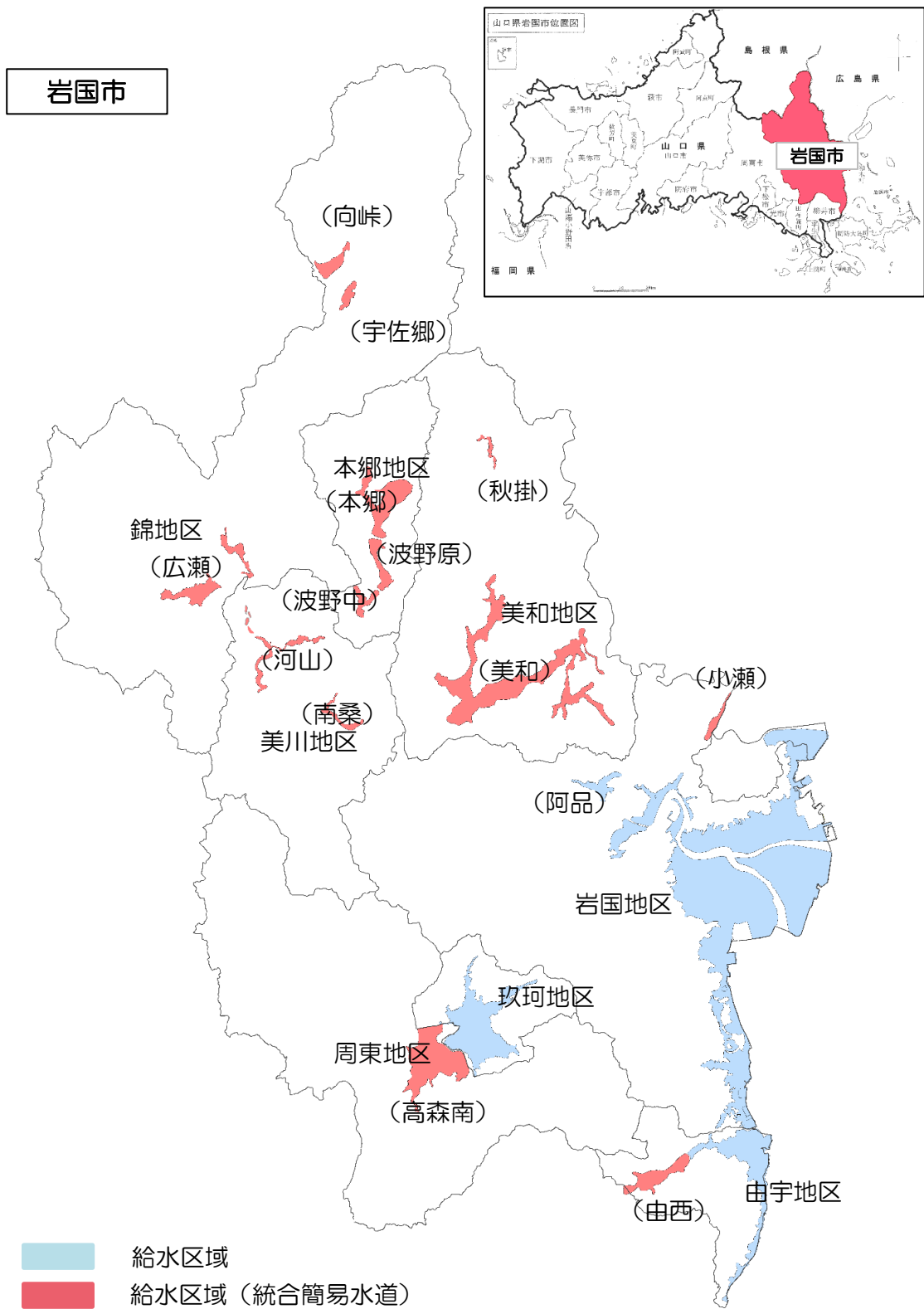


## (Ⅱ) 施 設

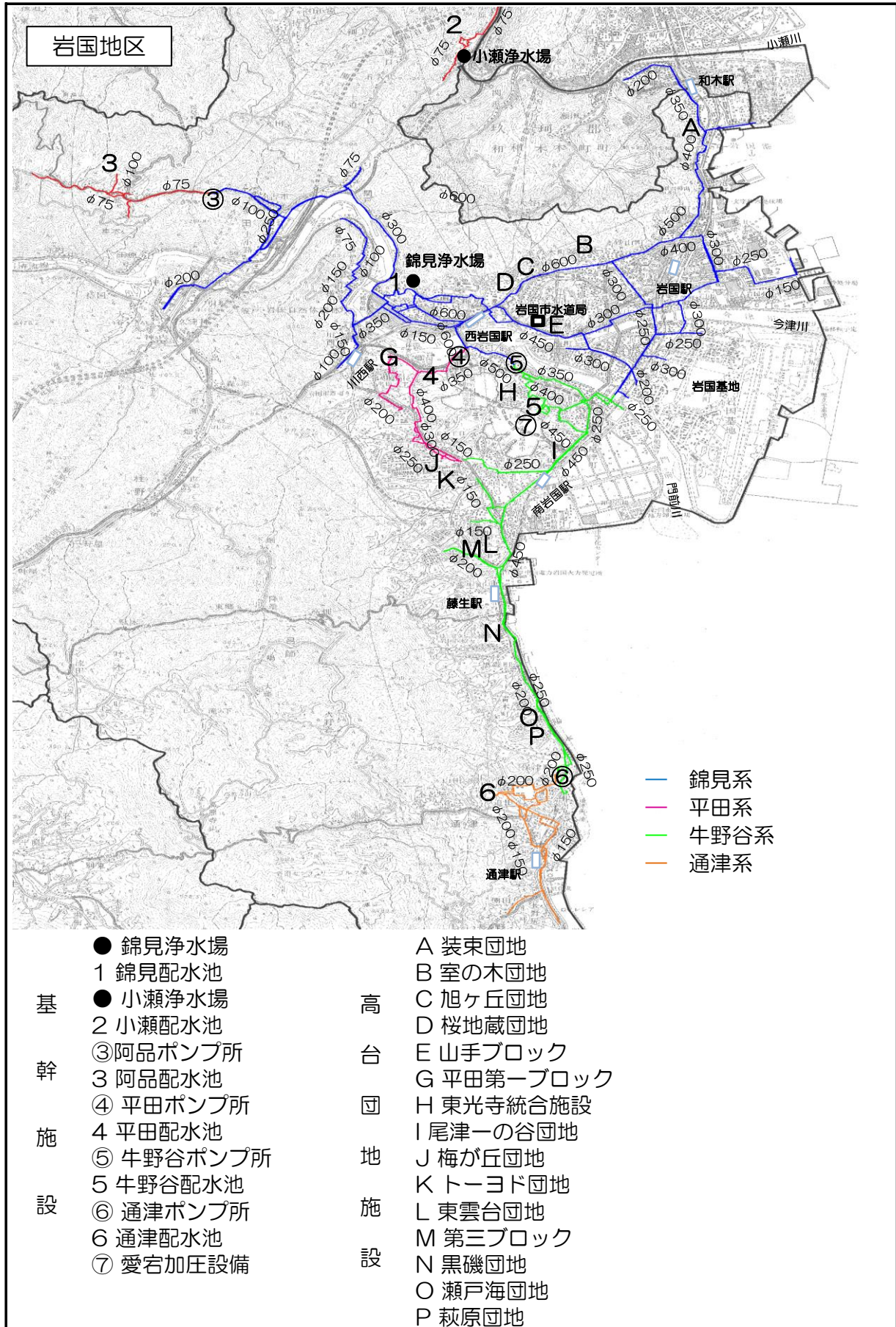
1	給水区域図	・・・	11
2	施設位置図・主要配水管ルート図	・・・	12
3	各施設フロー図	・・・	20
4	各施設詳細	・・・	46
5	配水管	・・・	60
6	施設写真	・・・	62

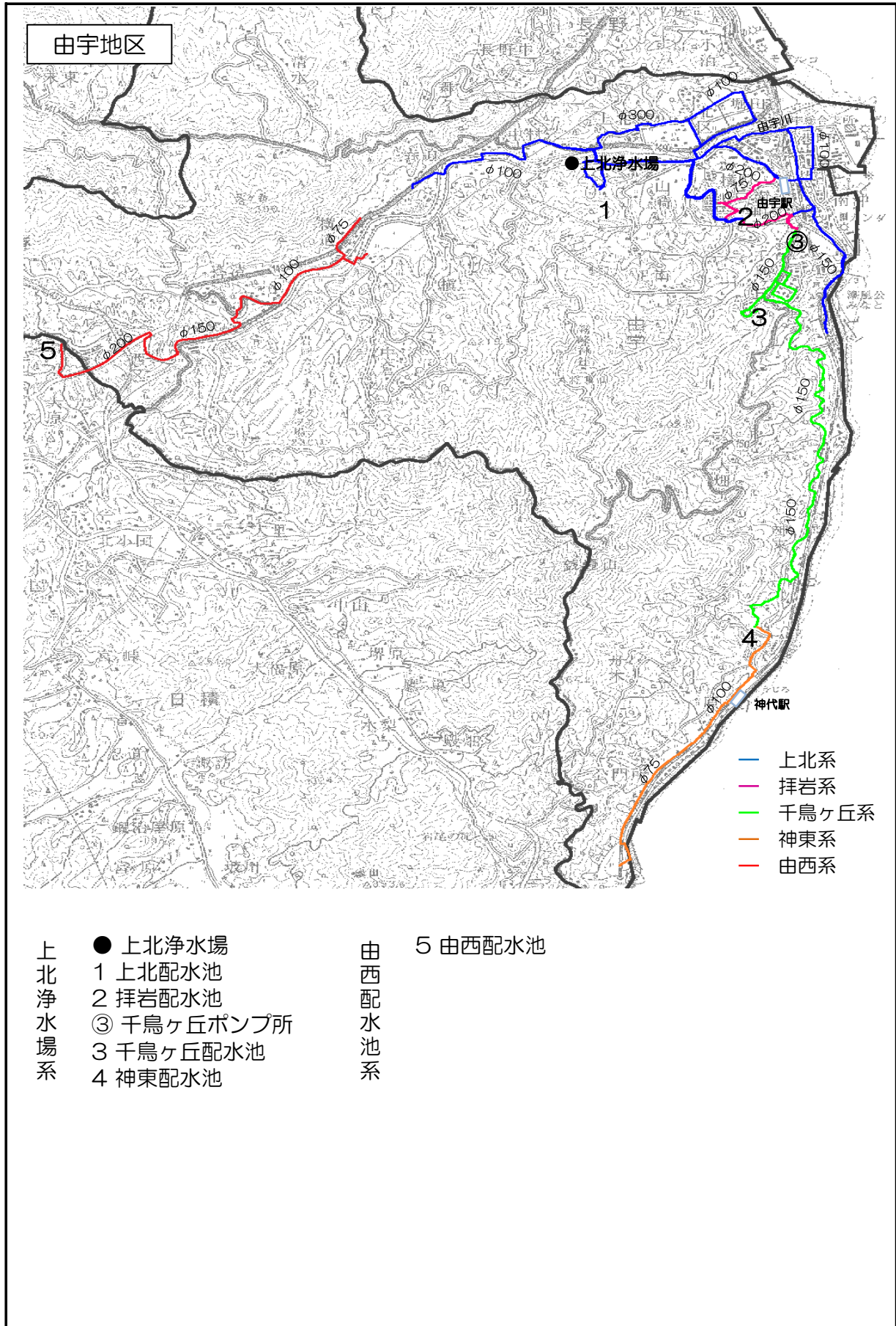


# 1 給水区域図



## 2 施設位置図・主要配水管ルート図





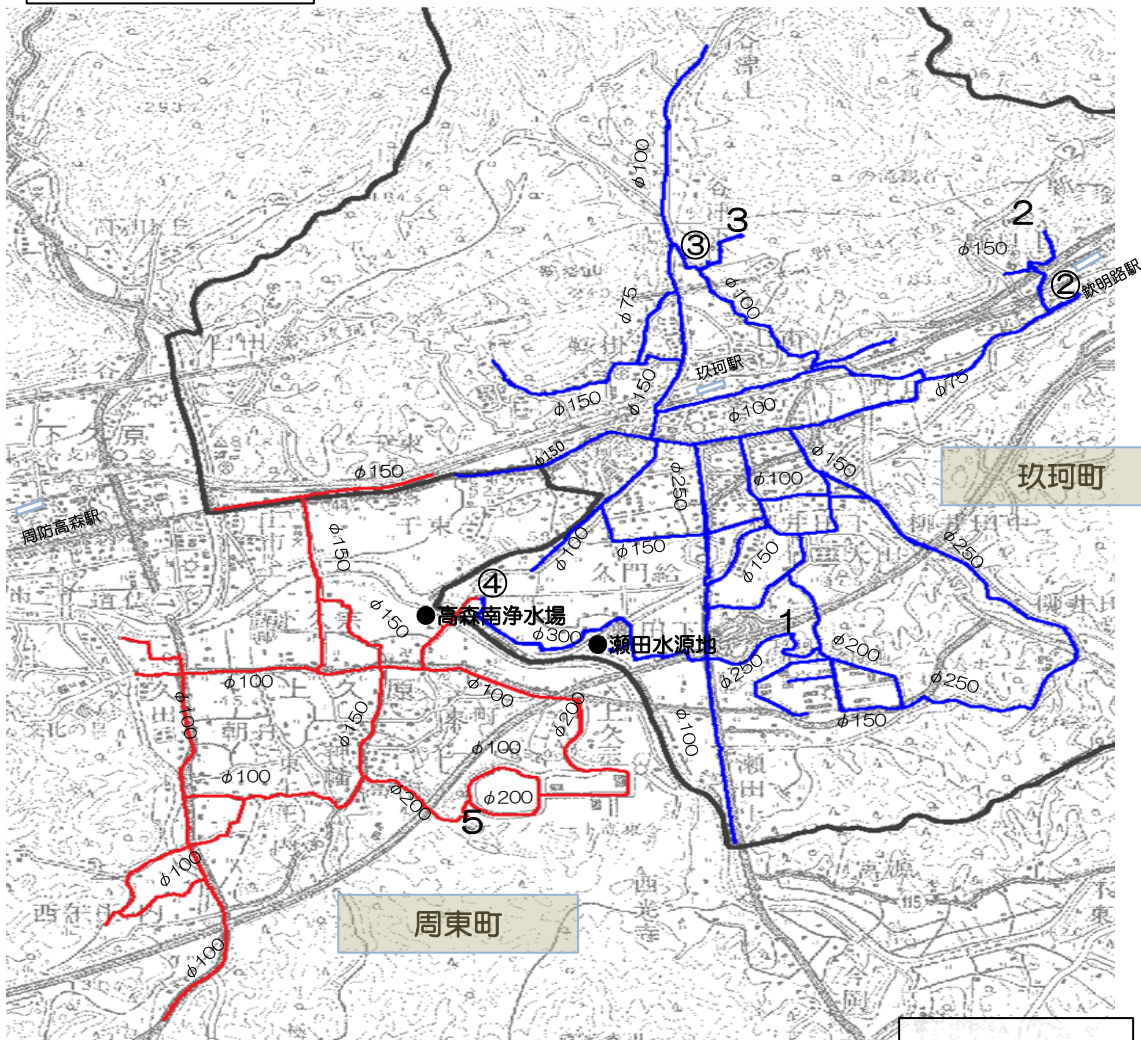
上北浄水場系

- 上北浄水場
- 1 上北配水池
- 2 拝岩配水池
- ③ 千鳥ヶ丘ポンプ所
- 3 千鳥ヶ丘配水池
- 4 神東配水池

由西配水池系

- 5 由西配水池

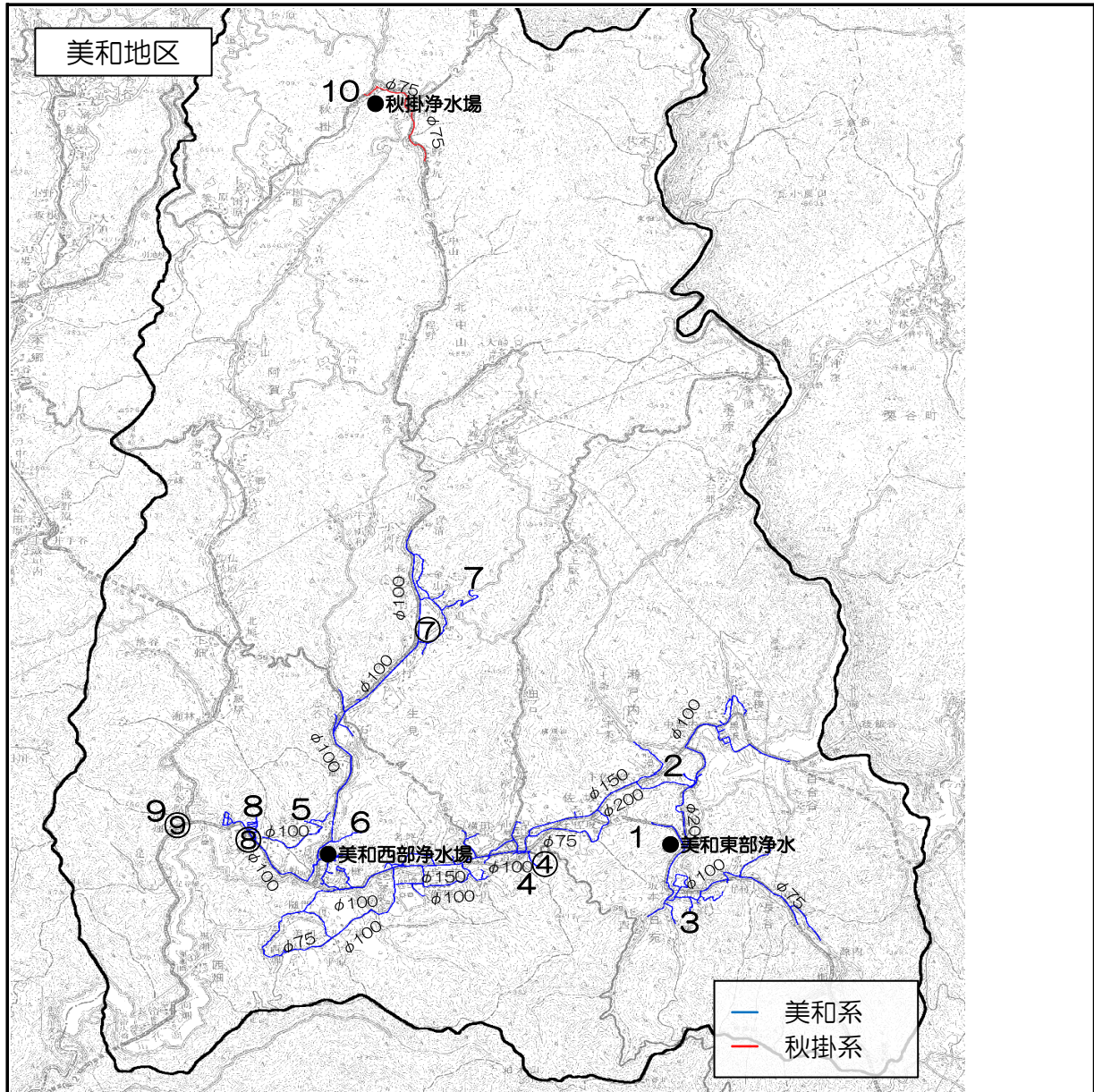
玖珂・周東地区



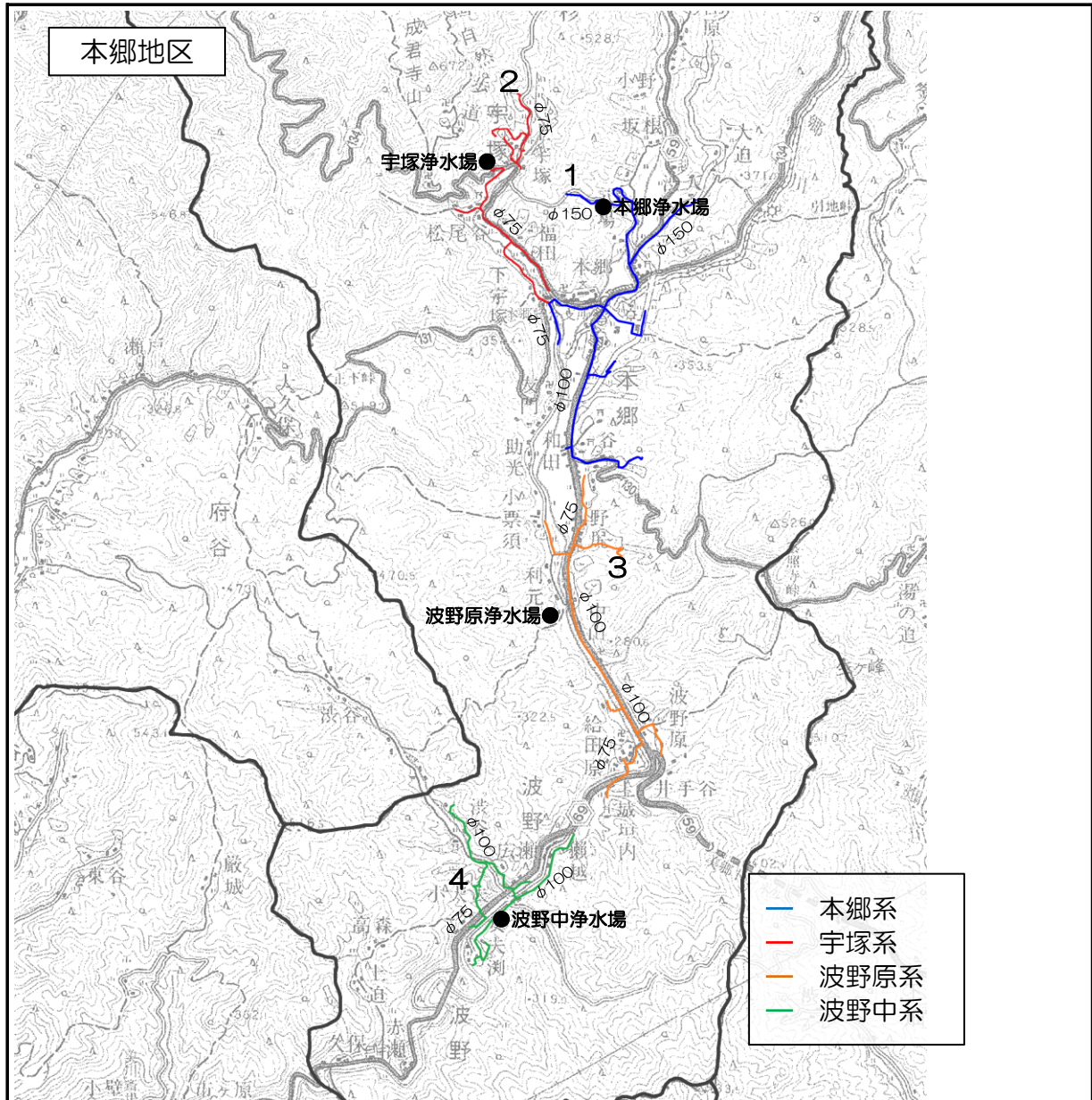
— 瀬田系  
— 高森南系

- |          |          |
|----------|----------|
| ● 瀬田水源地  | ● 高森南浄水場 |
| 瀬田系      | 高森南系     |
| 1 瀬田配水池  | 5 高森南配水池 |
| ② 野口ポンプ所 |          |
| 田        |          |
| 2 野口配水池  |          |
| ③ 谷津ポンプ所 |          |
| 系        |          |
| 3 谷津配水池  |          |
| ④ 有延ポンプ所 |          |





- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| ● 美和東部浄水場  | ⑦ 金山ポンプ所   | ● 秋掛浄水場  |
| 1 佐坂配水池    | 7 金山配水池    | 10 秋掛配水池 |
| 美 2 滑配水池   | ⑧ 陽の出ポンプ所  | 秋        |
| 和 3 長谷配水池  | 8 陽の出配水池   | 掛        |
| 系 ④ 坂上ポンプ所 | ⑨ 柿ノ木原ポンプ所 | 系        |
| 4 坂上配水池    | 9 柿ノ木原配水池  |          |
| ● 美和西部浄水場  |            |          |
| 5 長野配水池    |            |          |
| 6 生見配水池    |            |          |

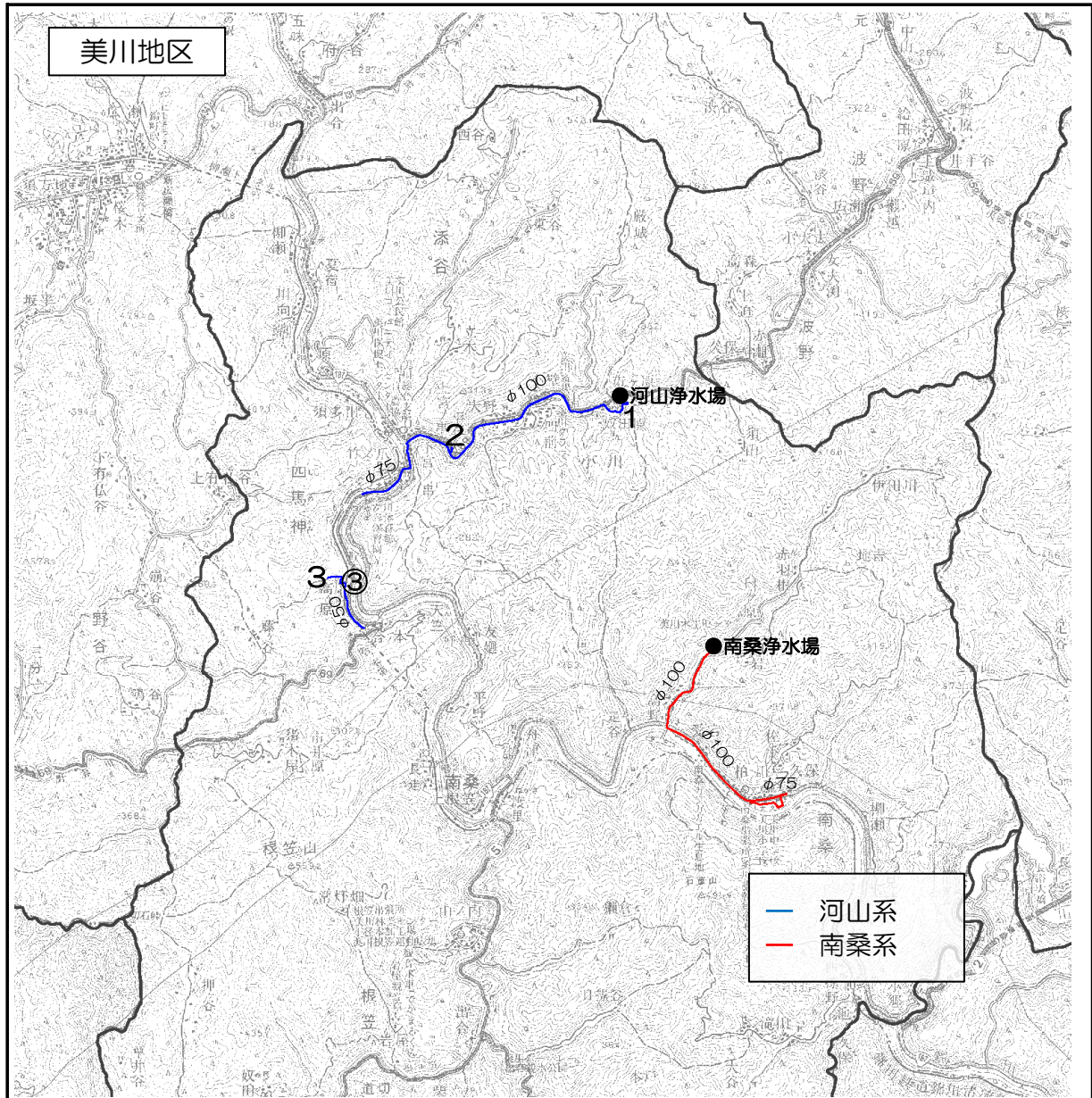


本郷系 ● 本郷浄水場  
1 本郷配水池

波野原系 ● 波野原浄水場  
3 波野原配水池

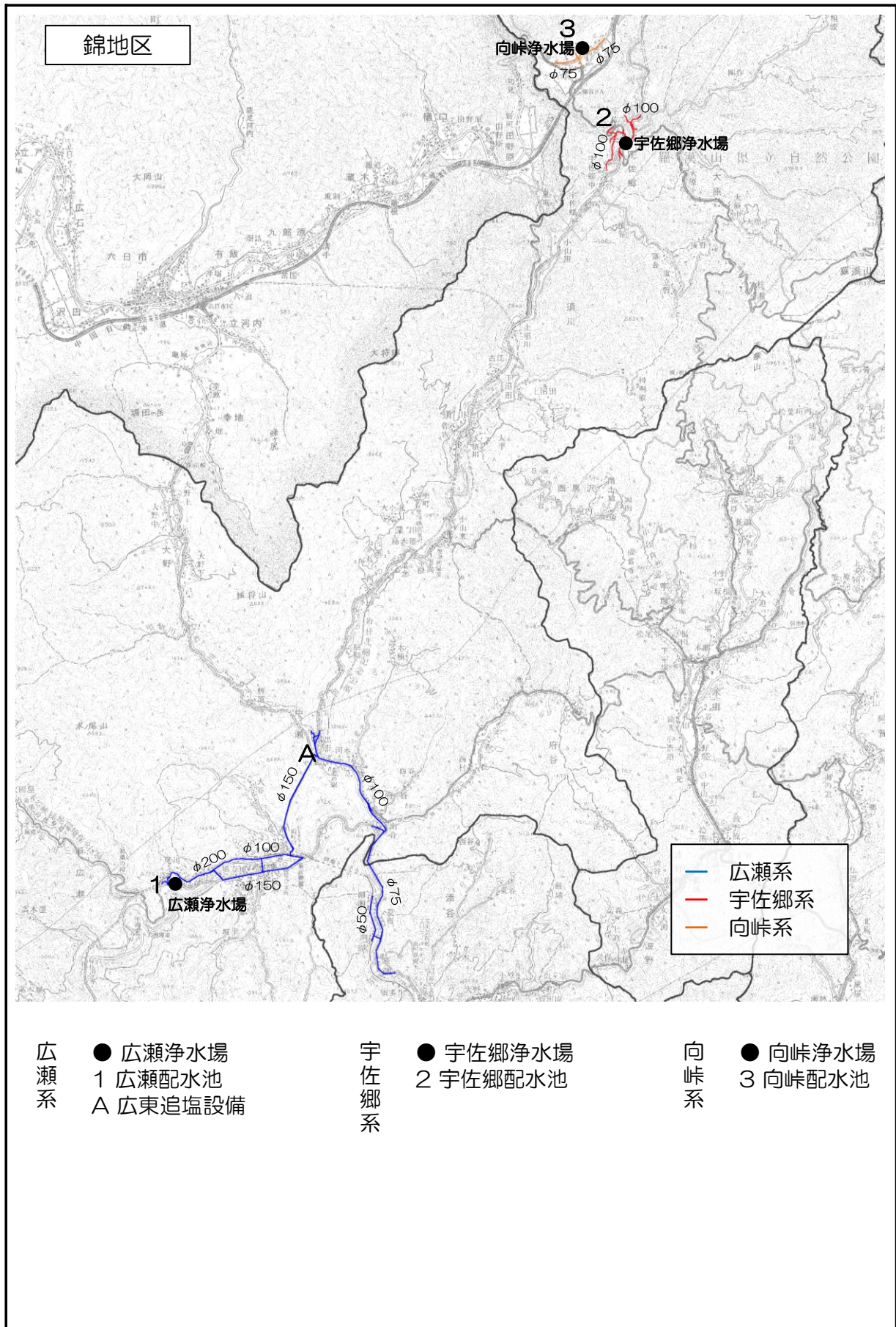
宇塚系 ● 宇塚浄水場  
2 宇塚高区配水池

波野中系 ● 波野中浄水場  
4 波野中配水池



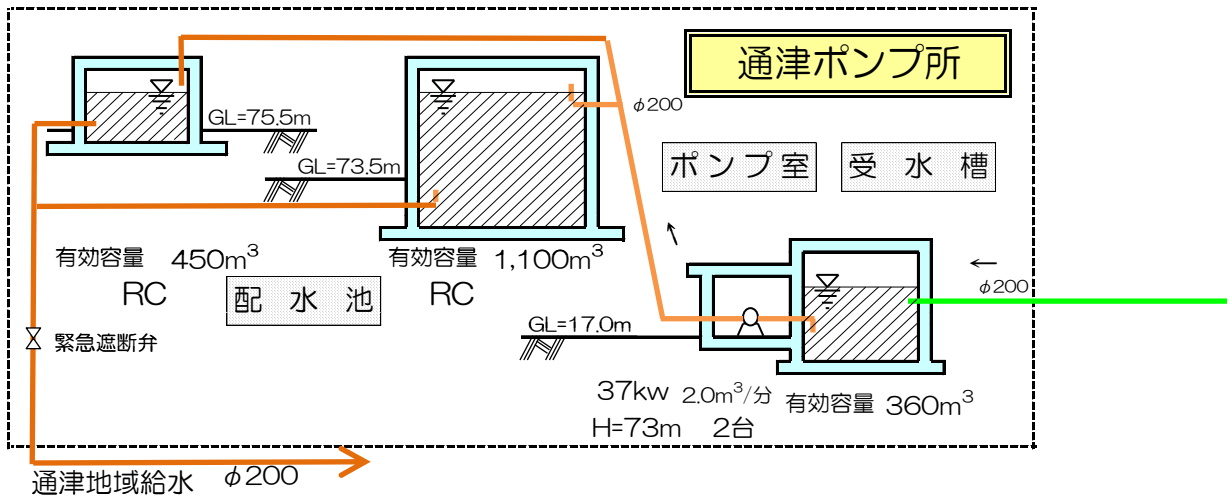
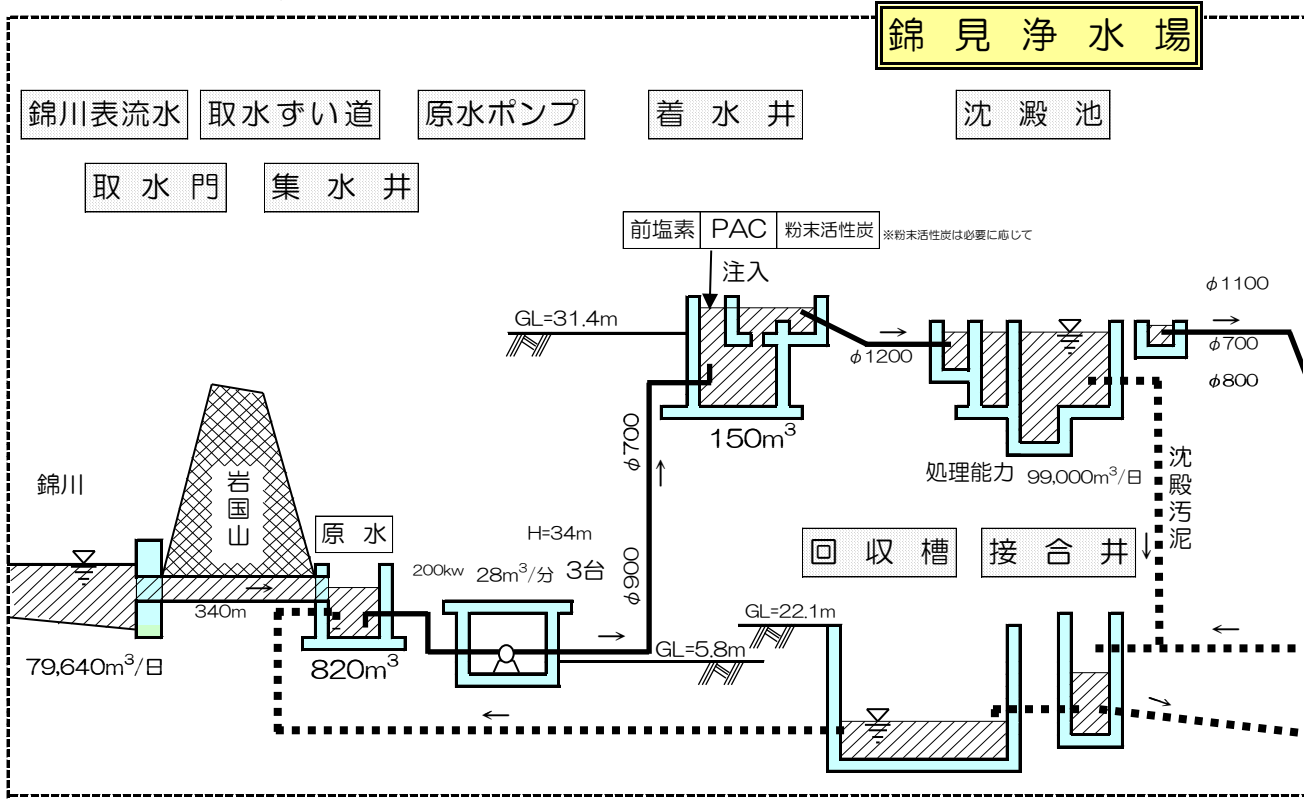
- 河山系
- 河山浄水場
  - 1 河山配水池
  - 2 平石配水池
  - ③ 高ヶ原ポンプ所
  - 3 高ヶ原配水池

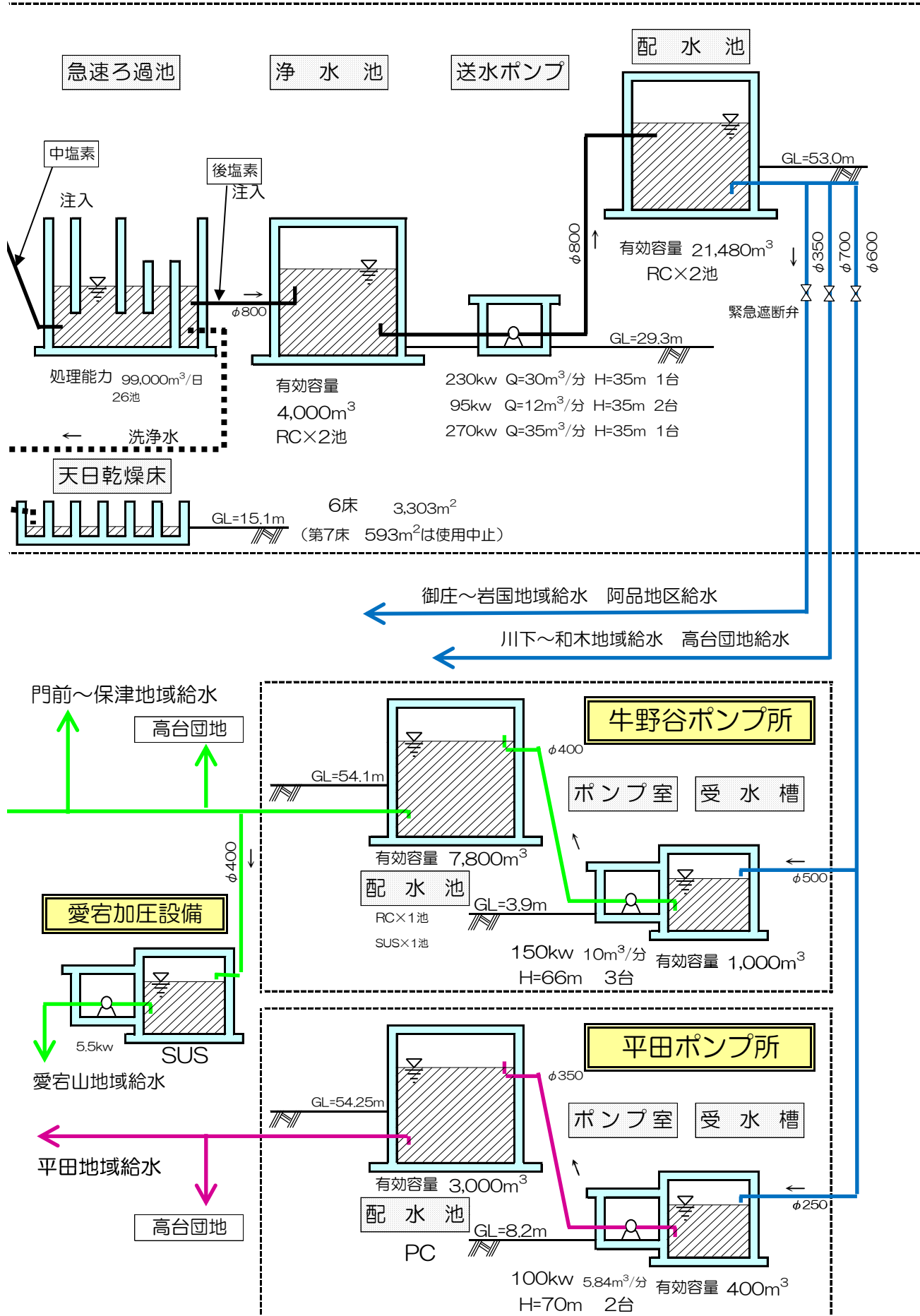
- 南桑系
- 南桑浄水場 (配水池)



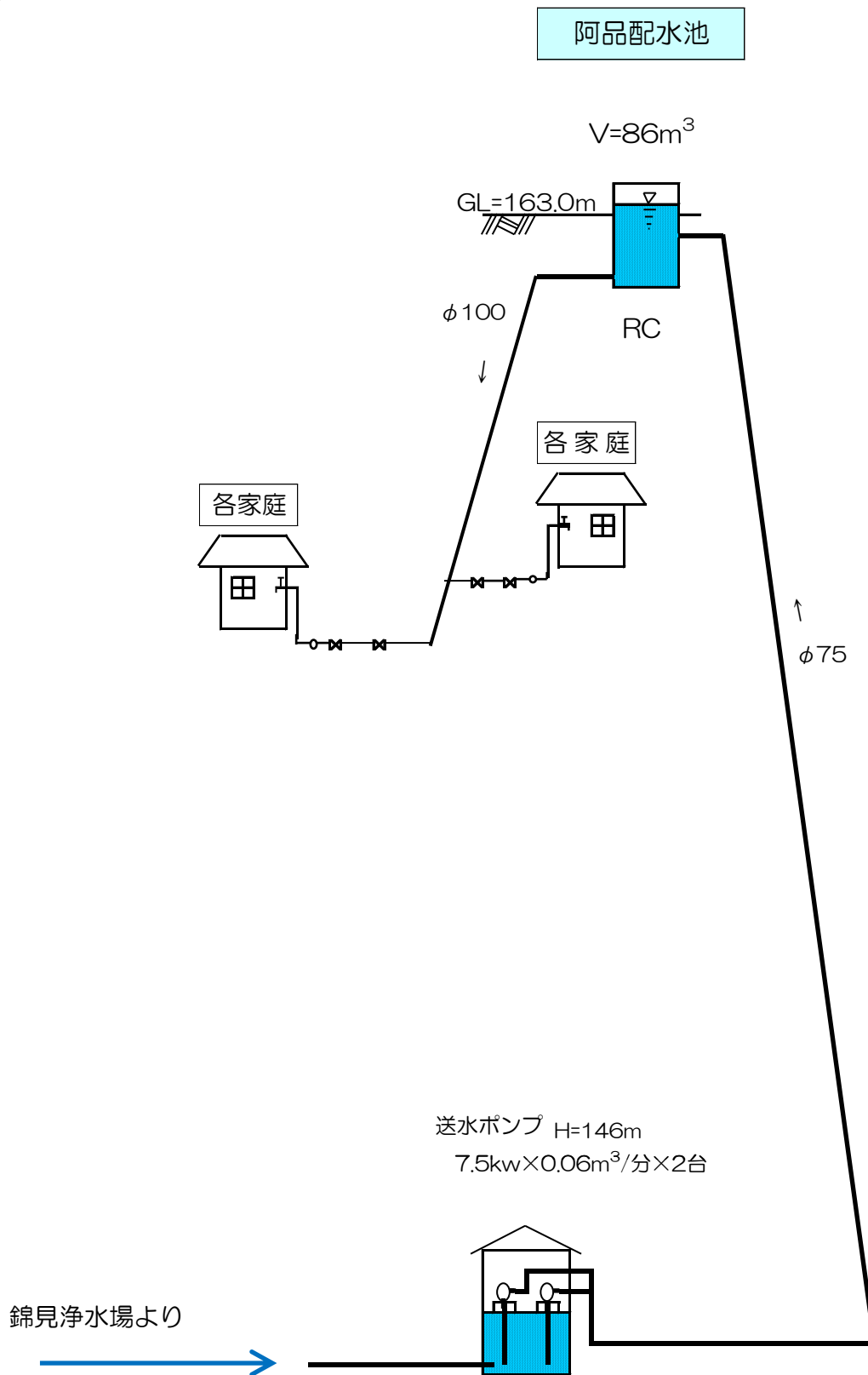


3 各施設フロー図  
 (1) 岩国地区 (錦見浄水場系)



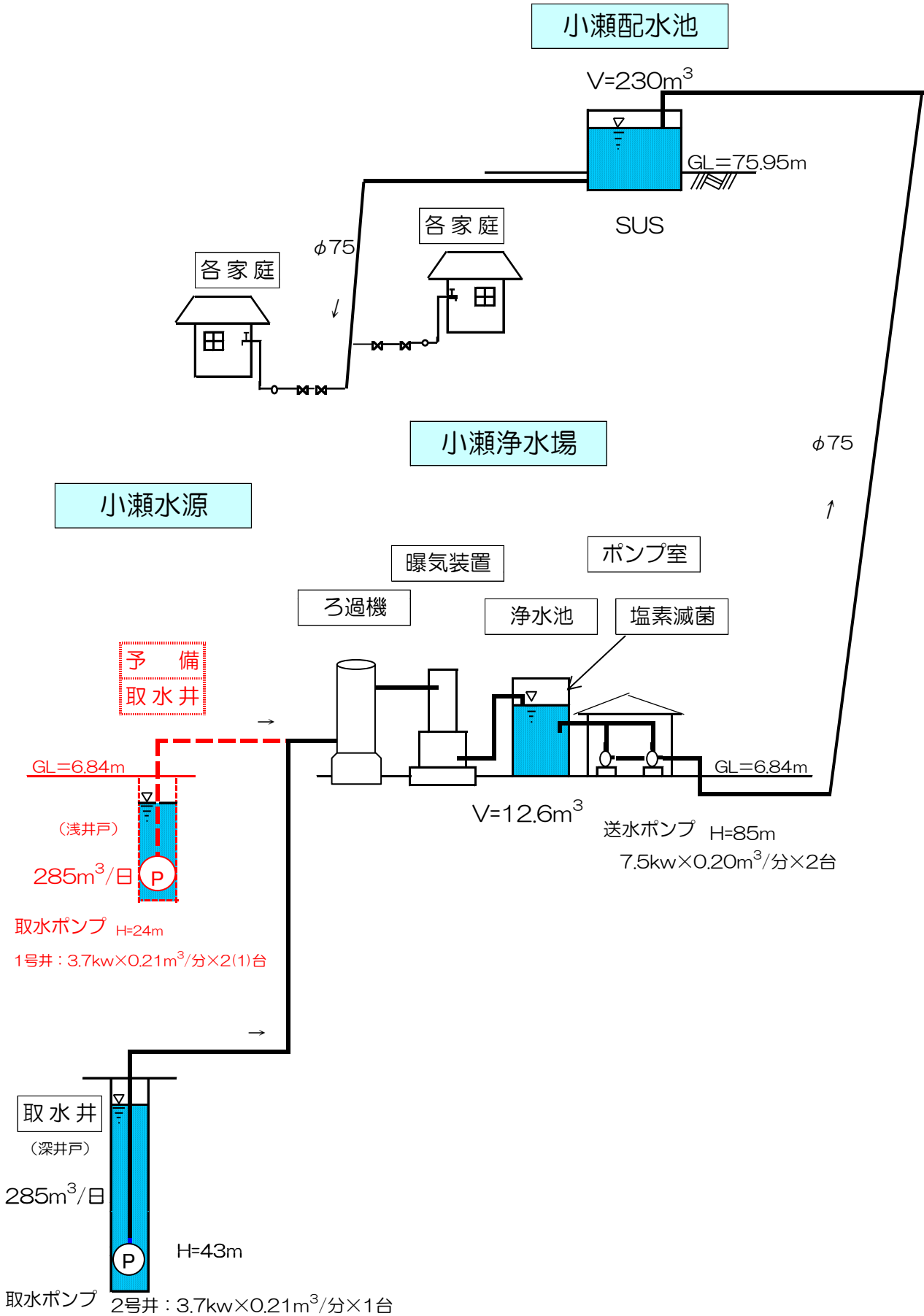


(阿品地区給水)

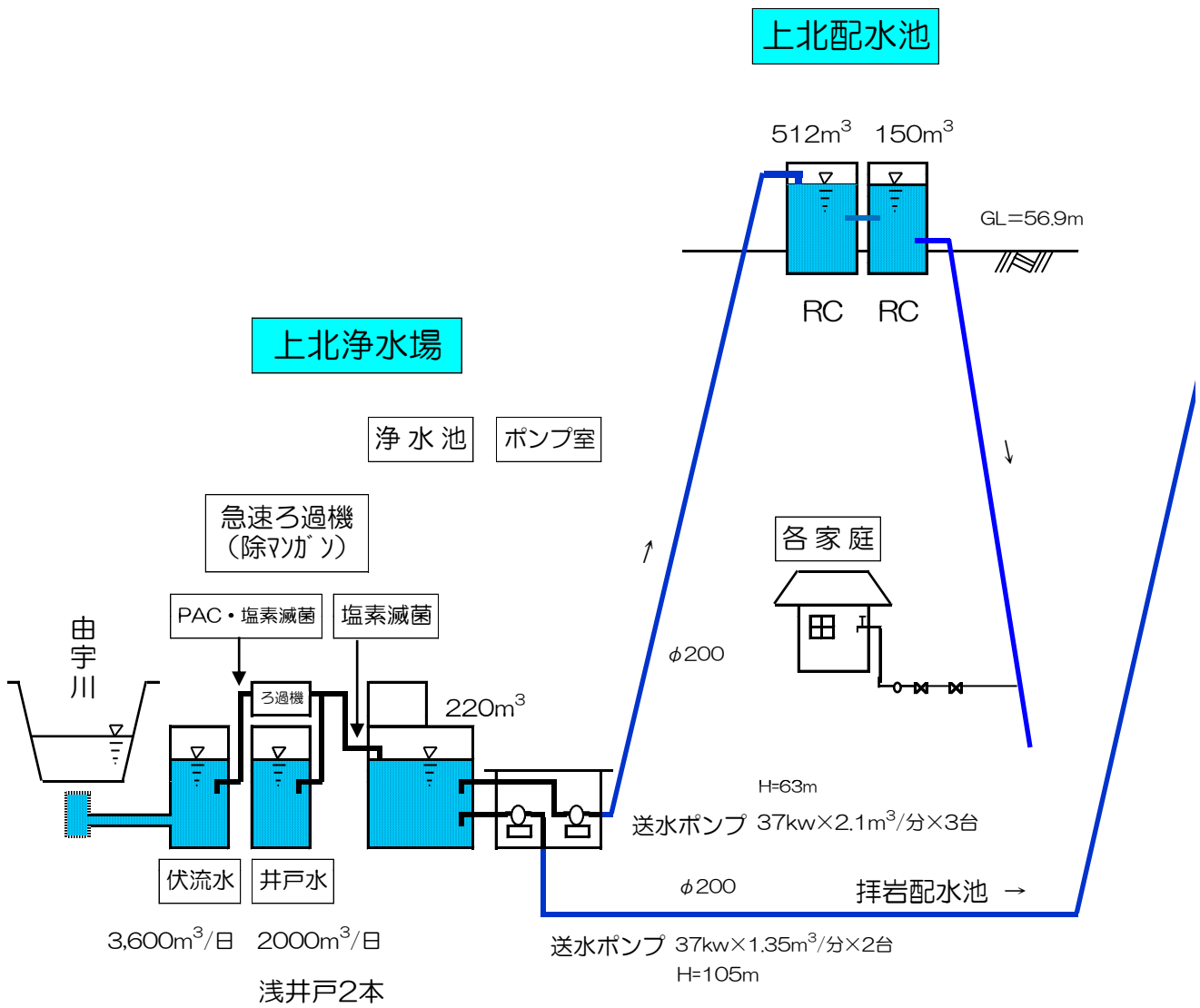




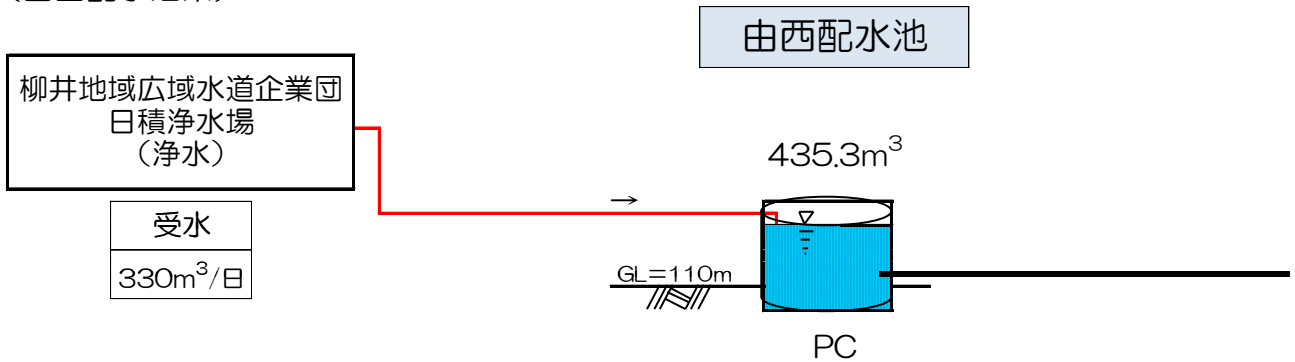
(小瀬浄水場系)

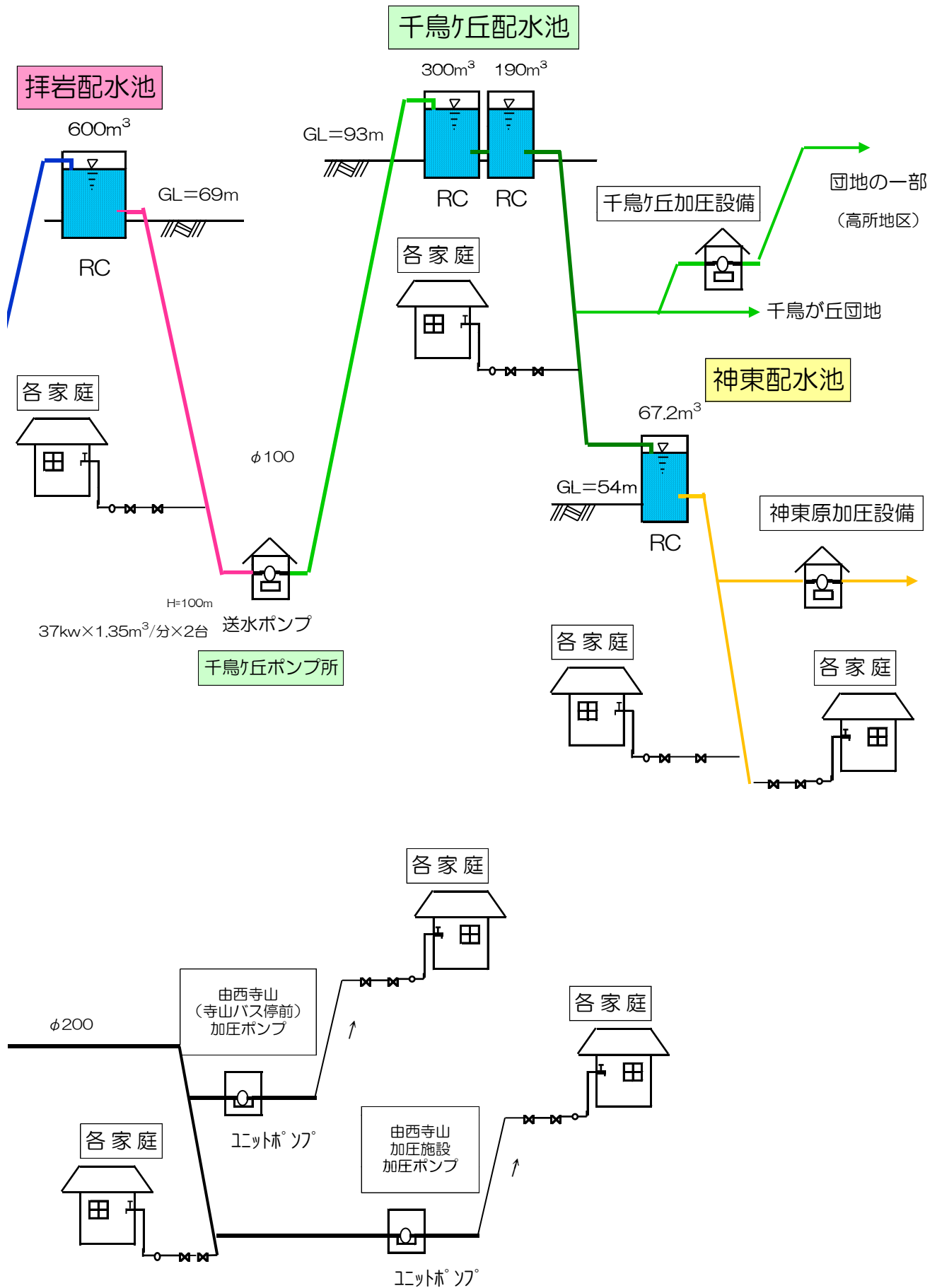


(2) 由宇地区 (上北浄水場系)

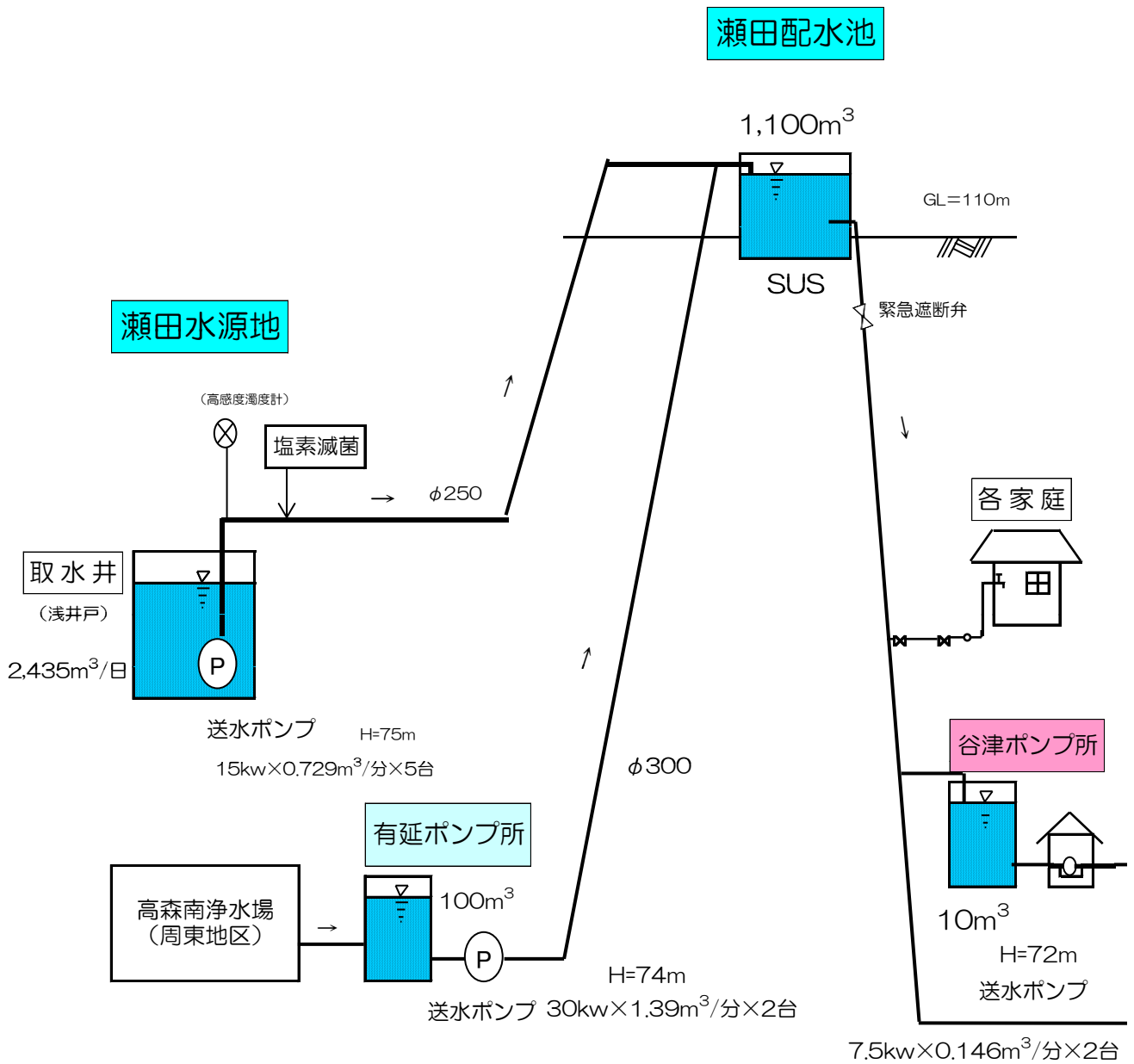


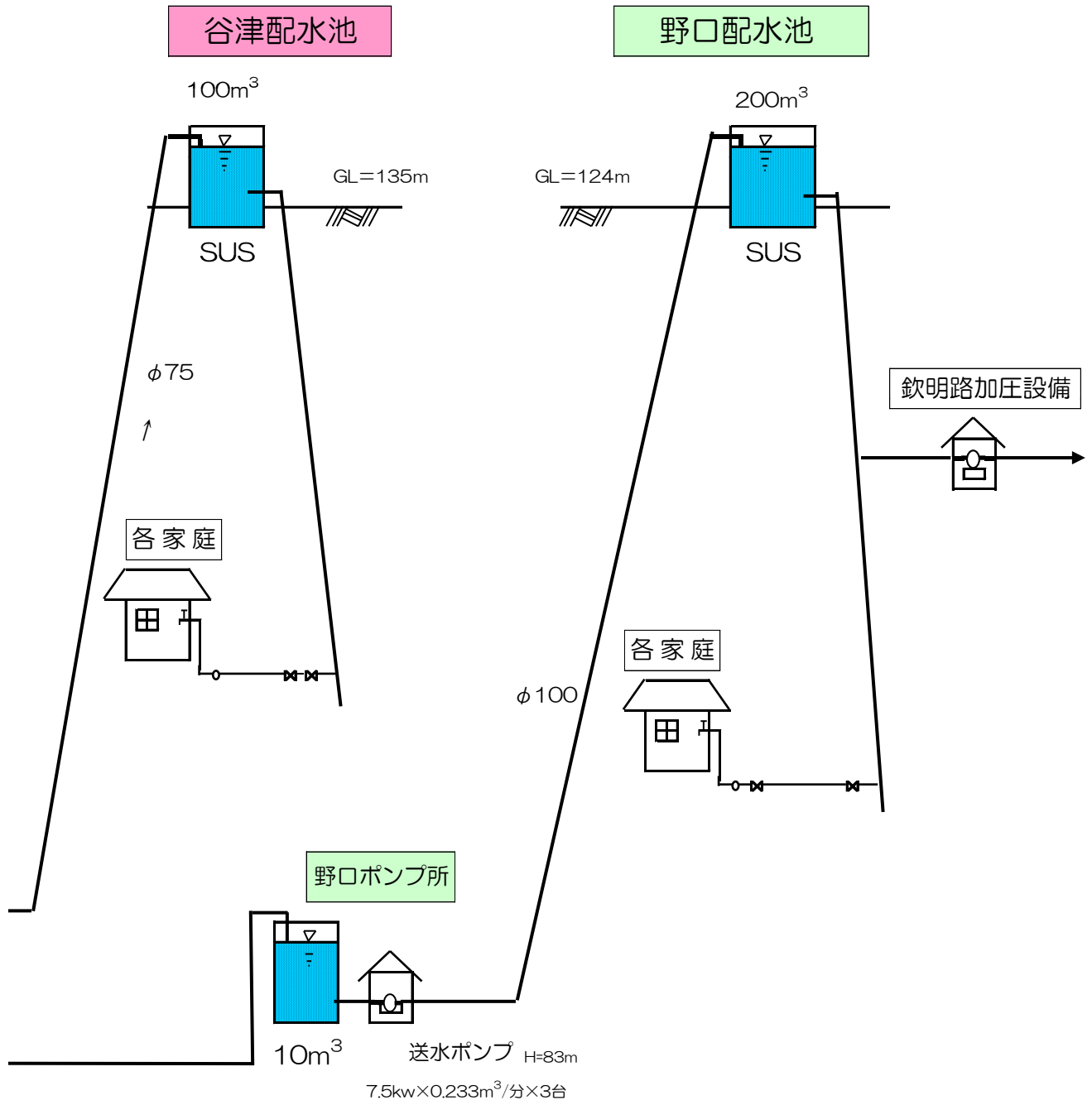
(由西配水池系)





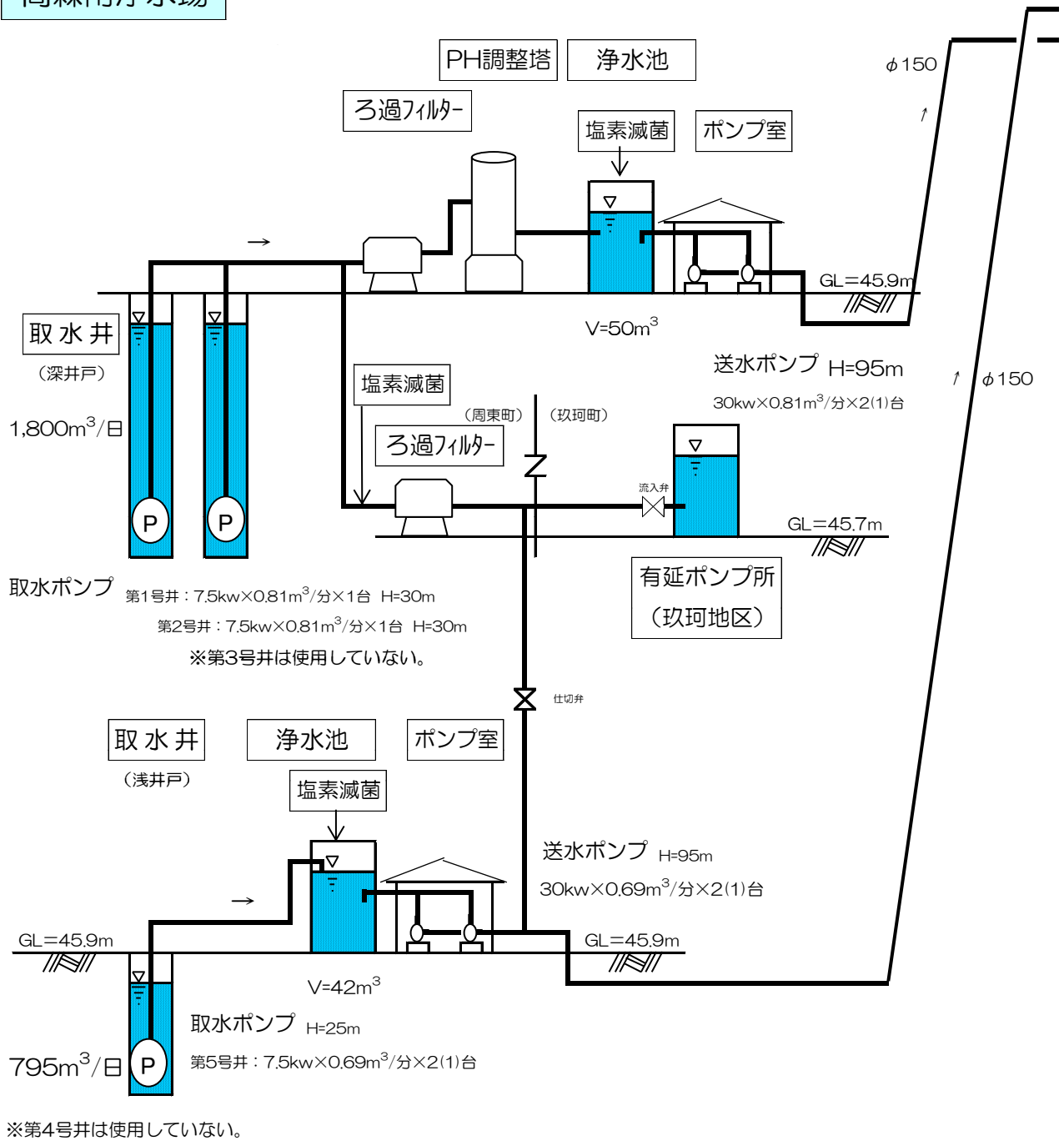
(3) 玖珂地区



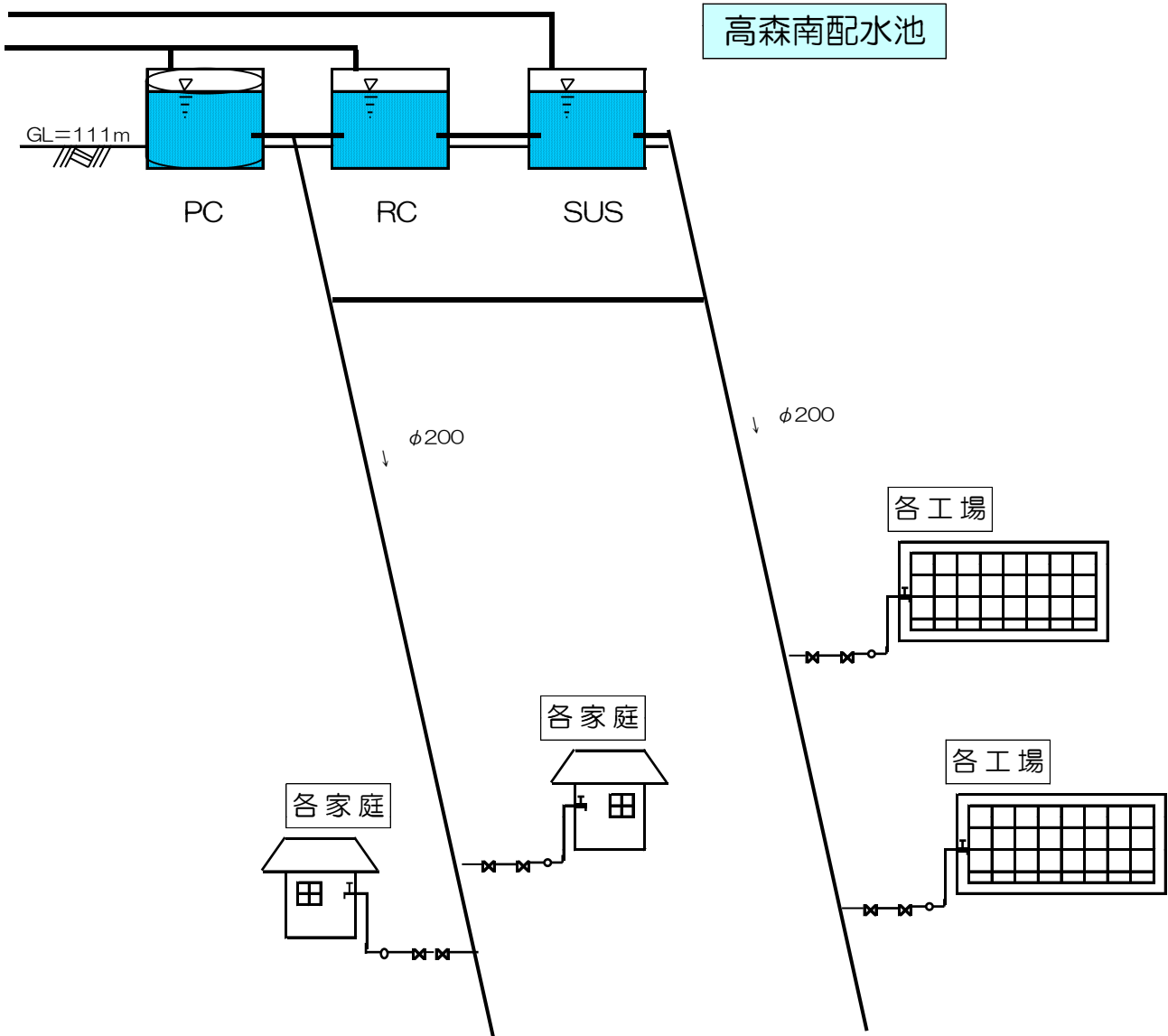


(4) 周東地区

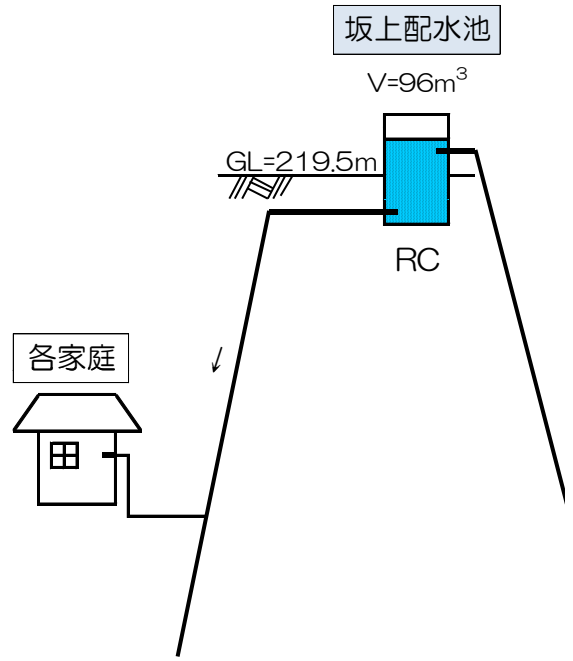
高森南浄水場



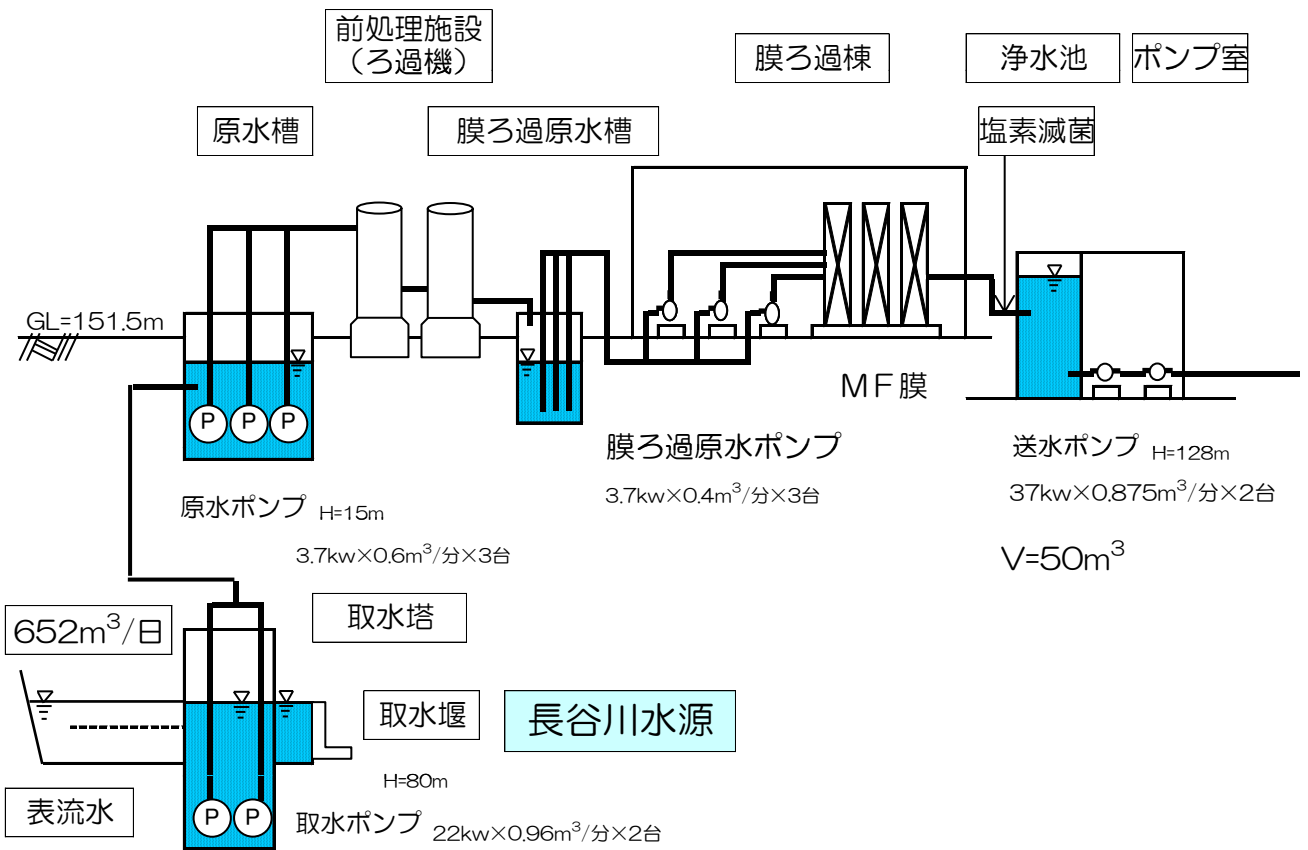
第1 :  $V=326\text{m}^3$    第2 :  $V=336\text{m}^3$    第3 :  $V=528\text{m}^3$



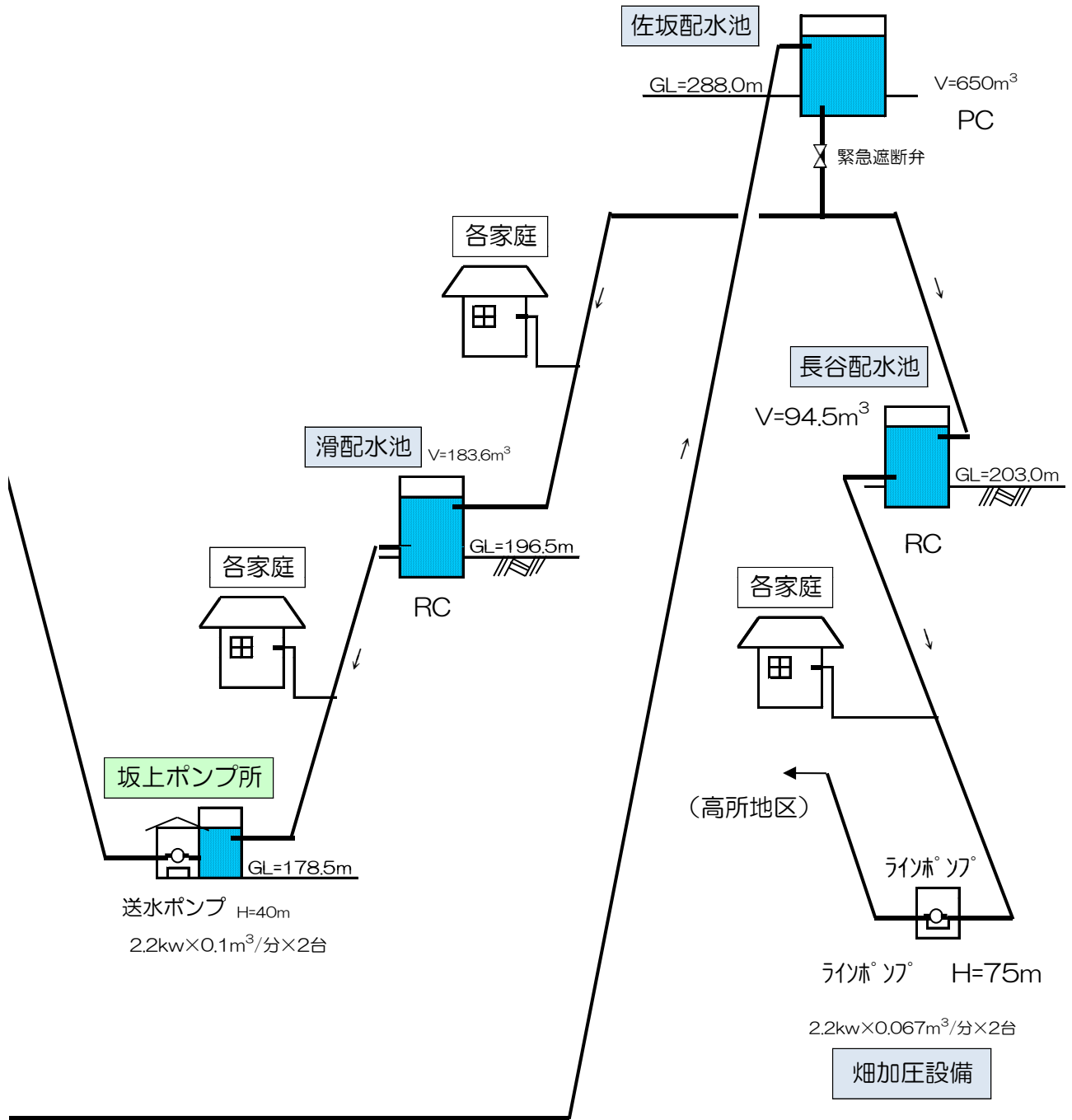
(5) 美和地区 (東部浄水場系)



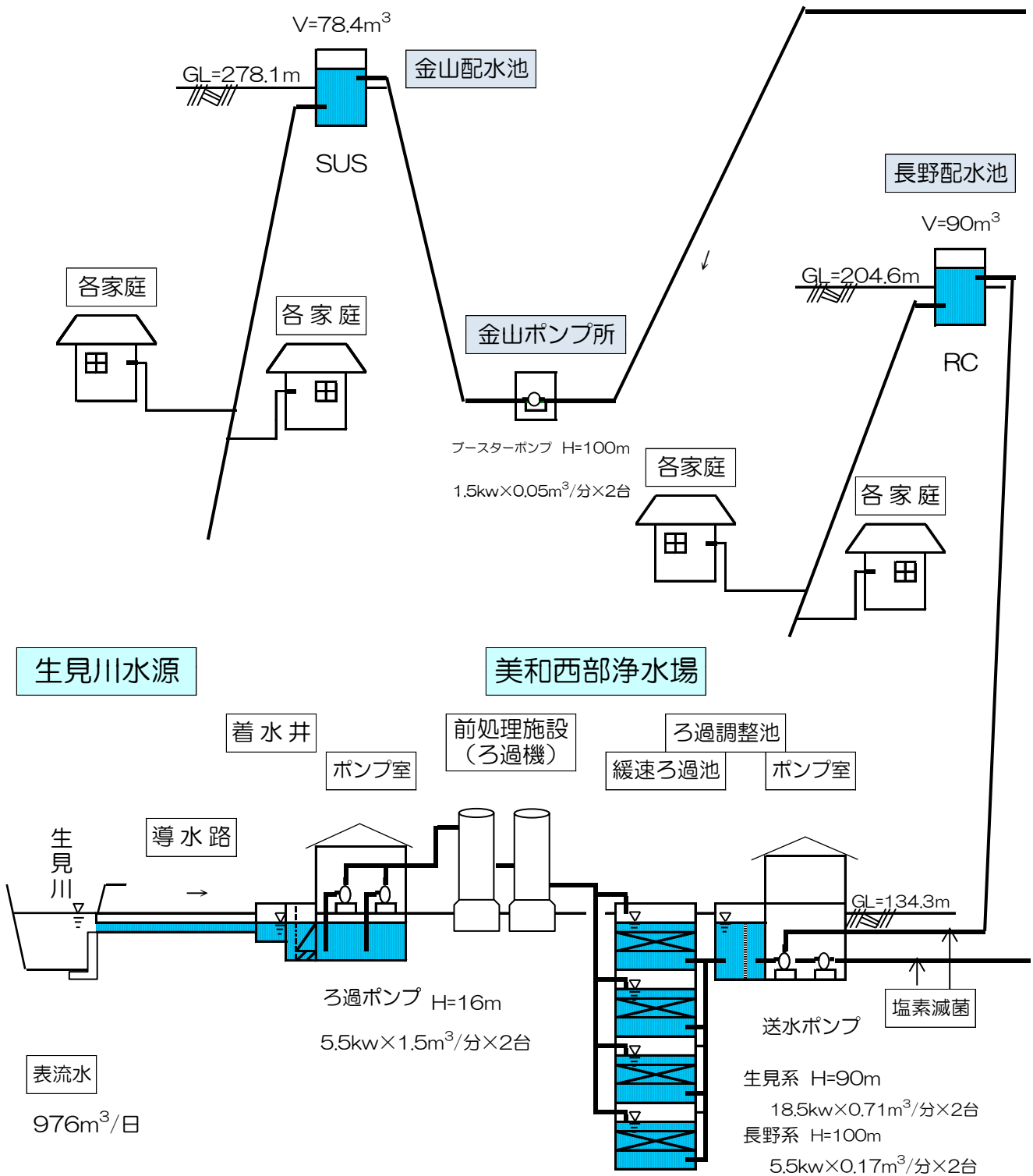
美和東部浄水場

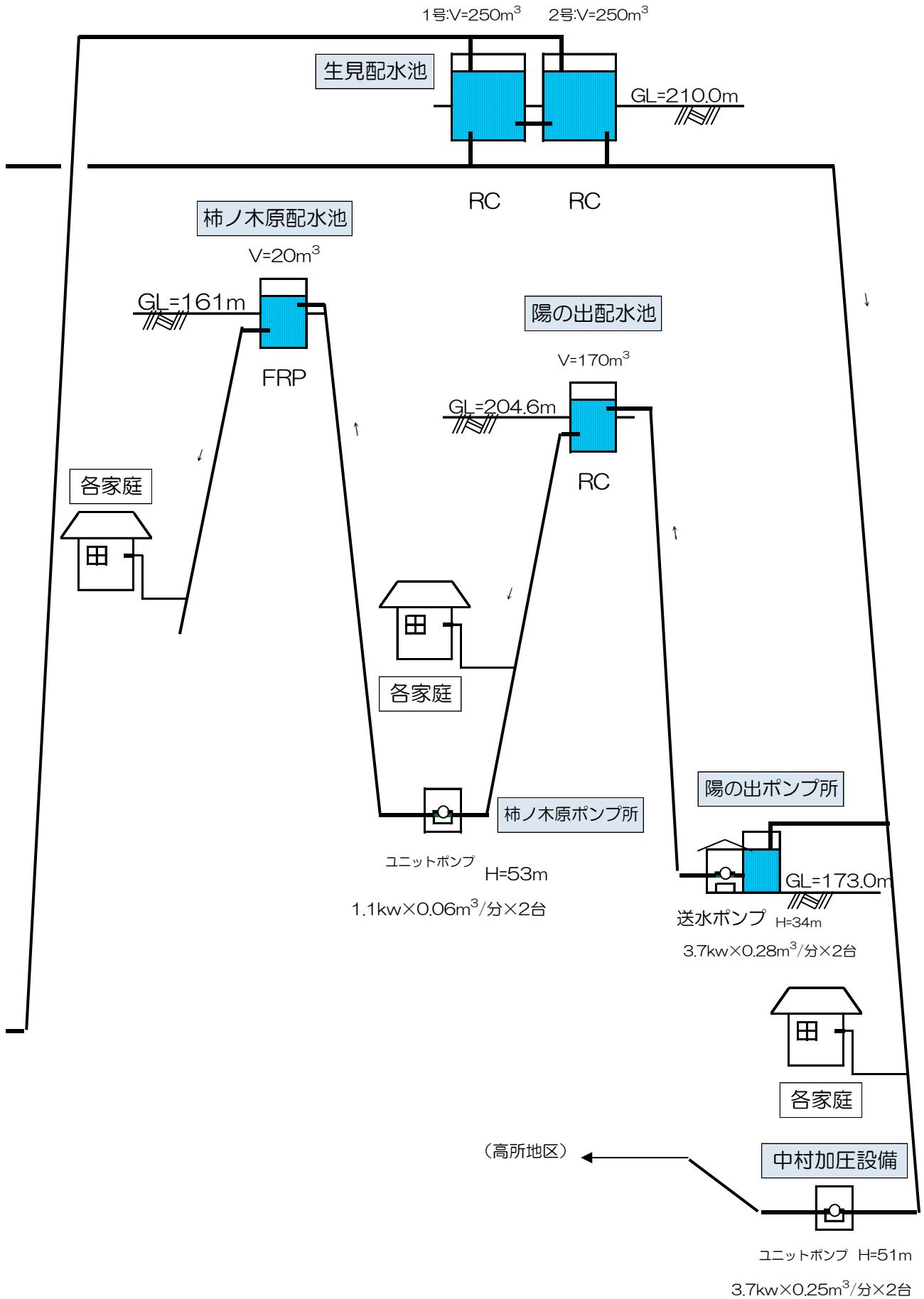




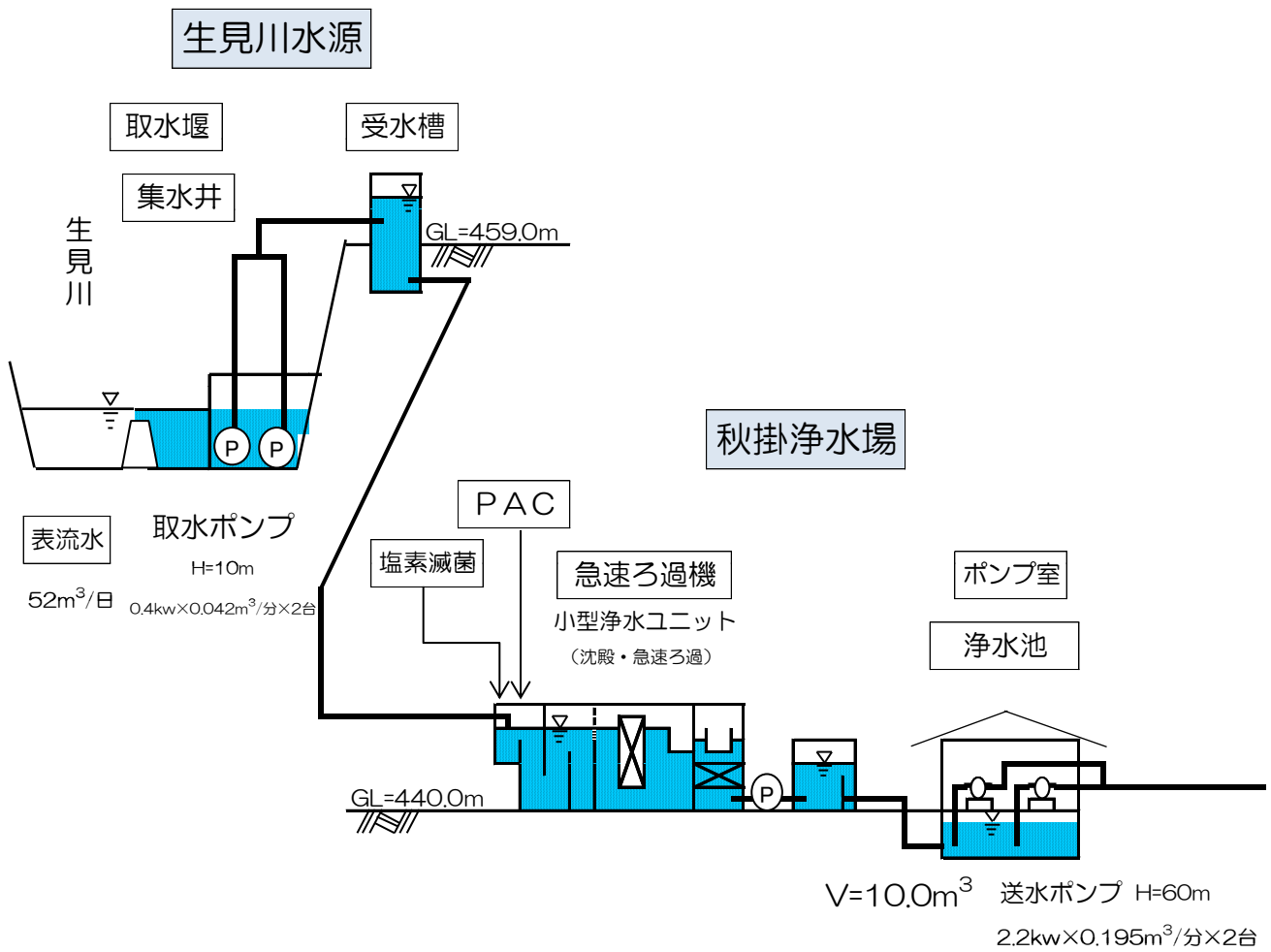


(西部浄水場系)





(秋掛浄水場系)



秋掛配水池

$V=54\text{m}^3$

GL=470.5m

RC

$\phi 50$

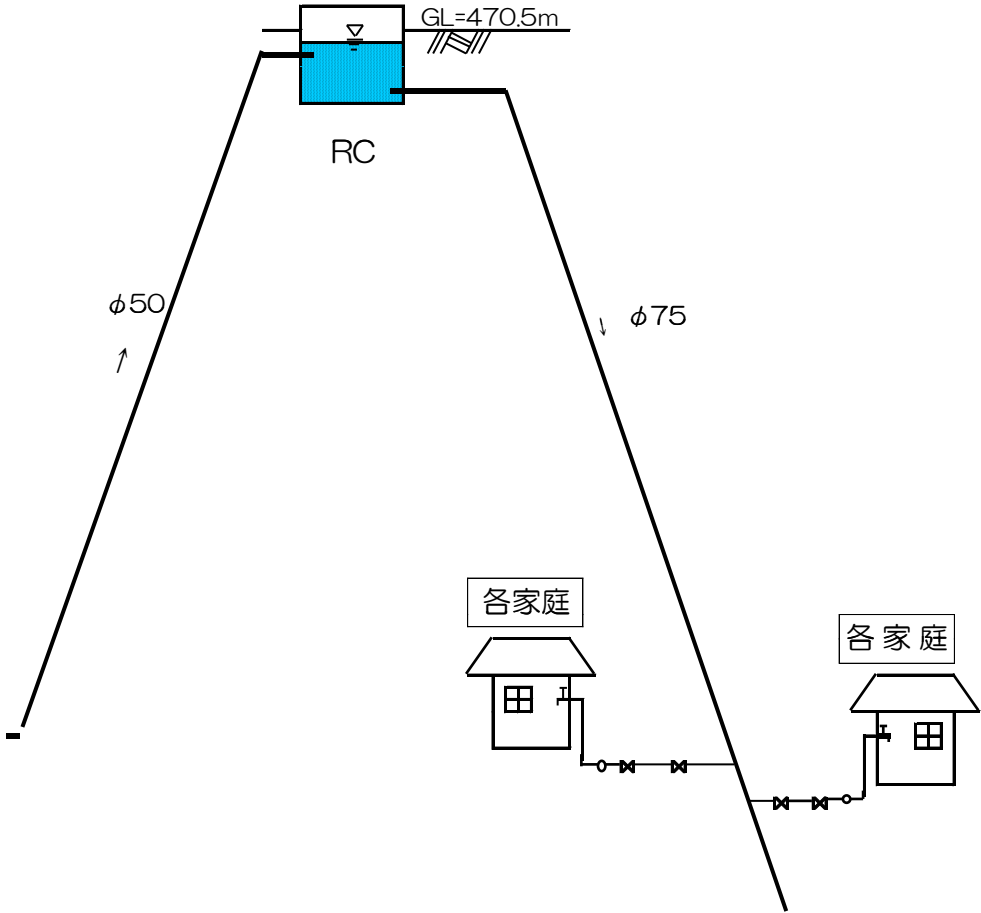


$\phi 75$

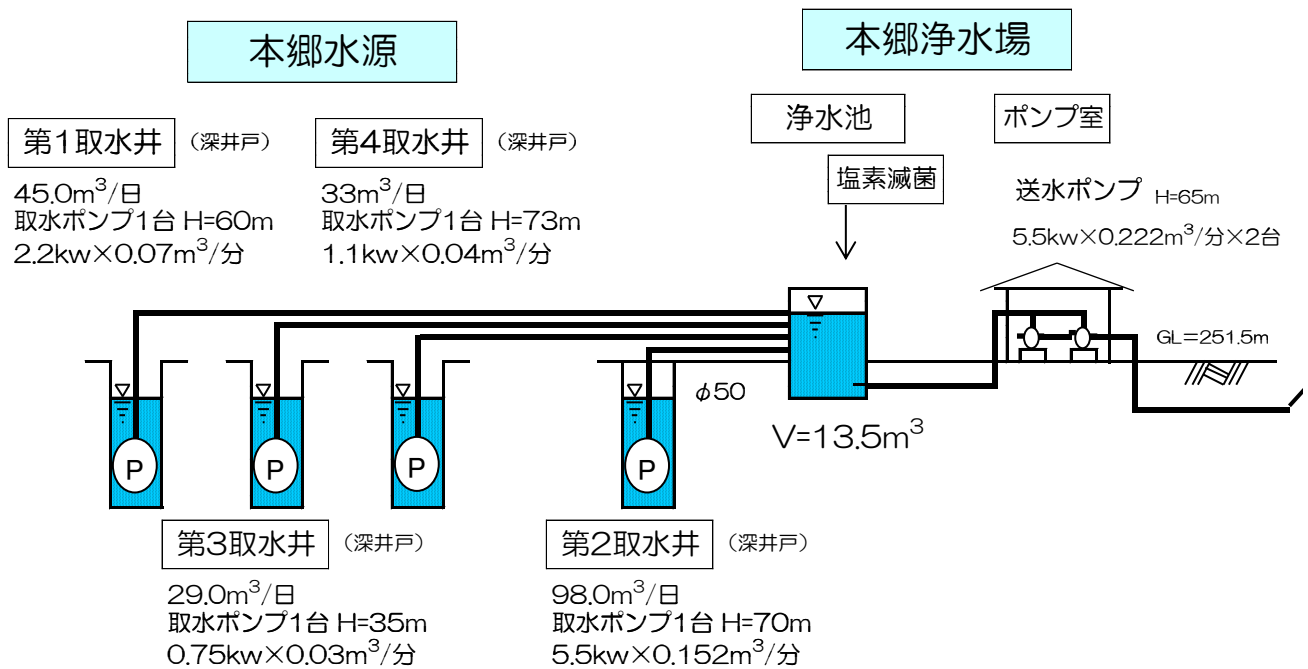
各家庭



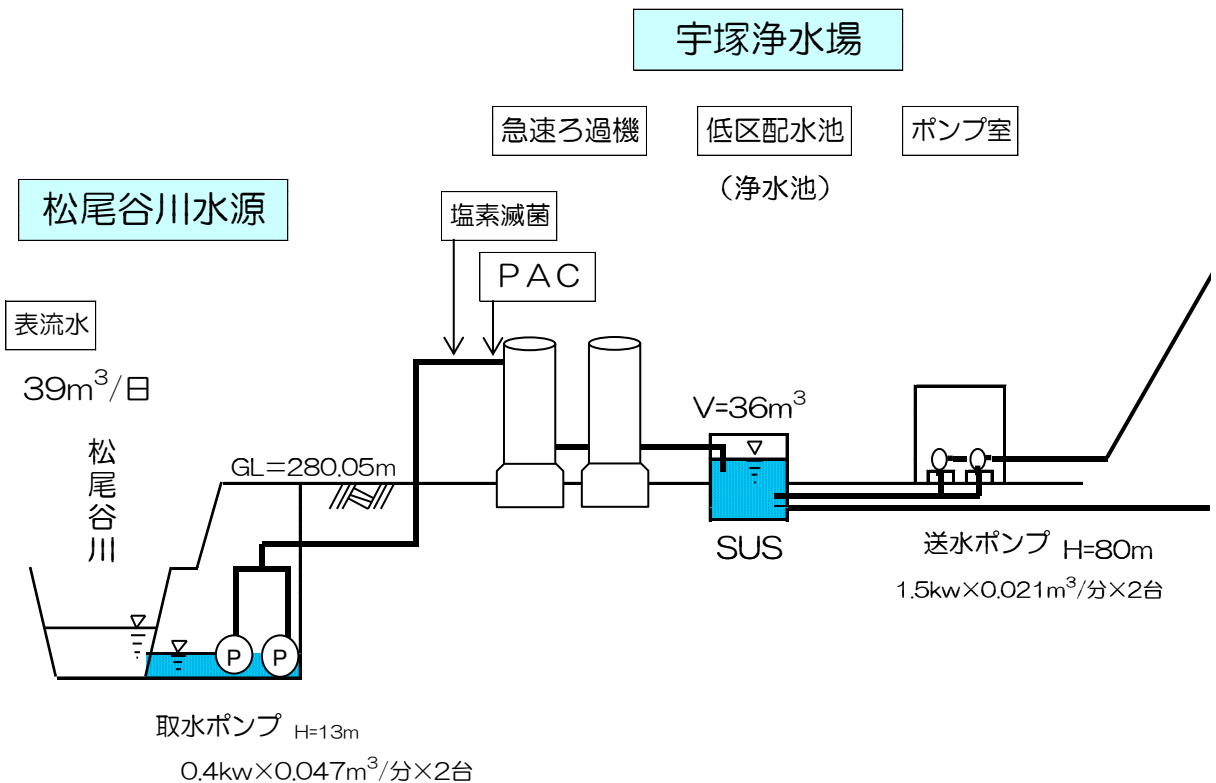
各家庭



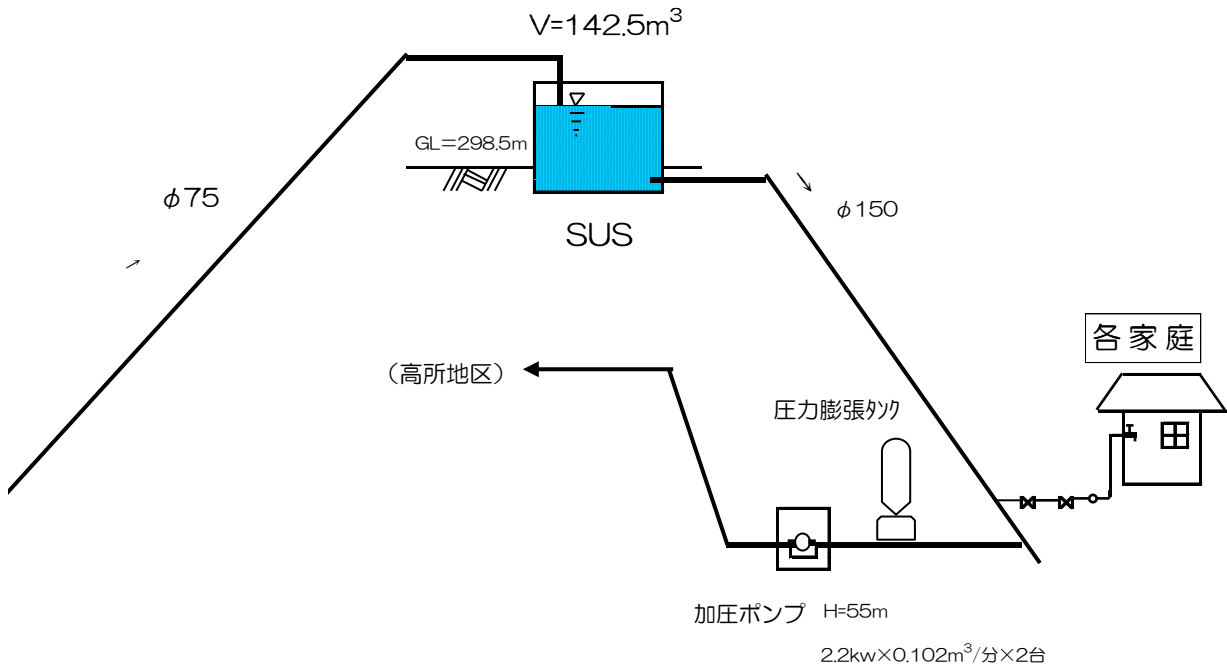
(6) 本郷地区 (本郷浄水場系)



(宇塚浄水場系)

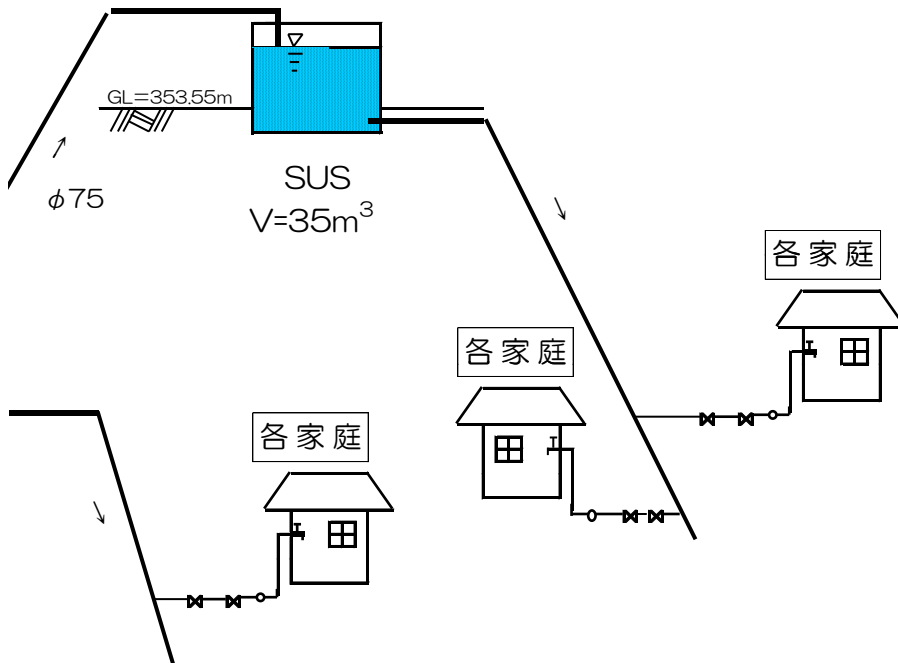


### 本郷配水池

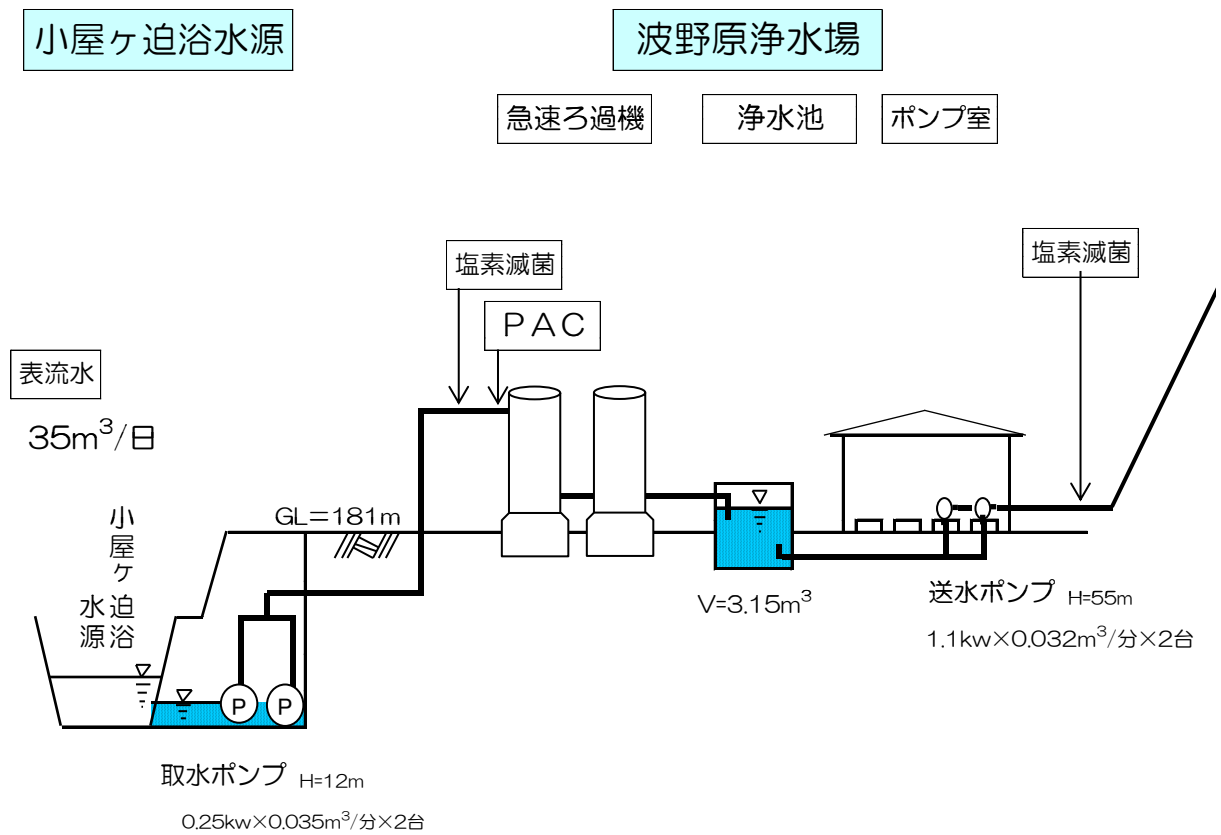


### 大迫加圧設備

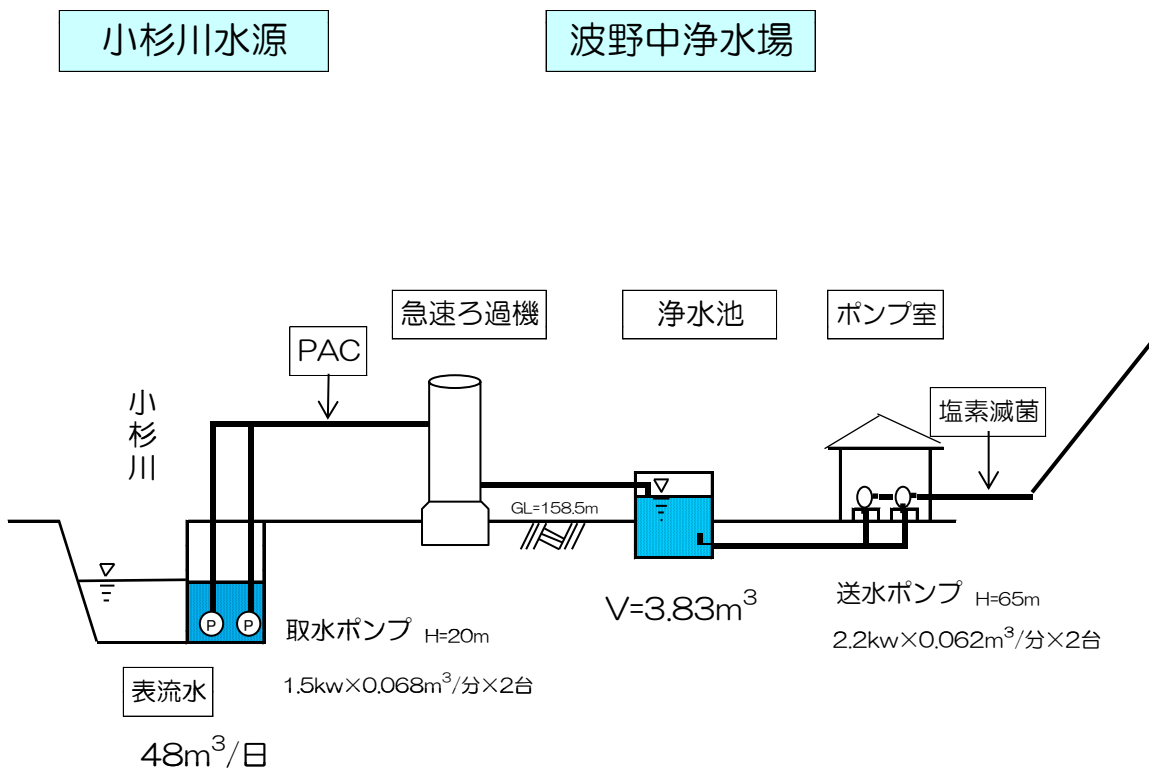
### 宇塚配水池



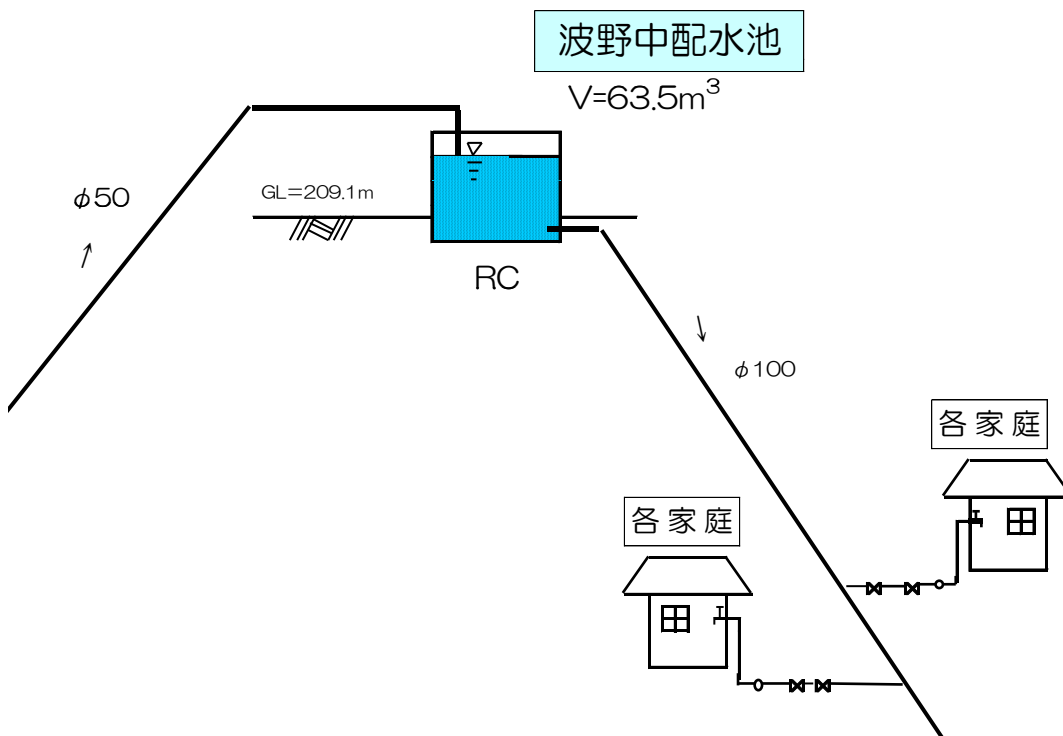
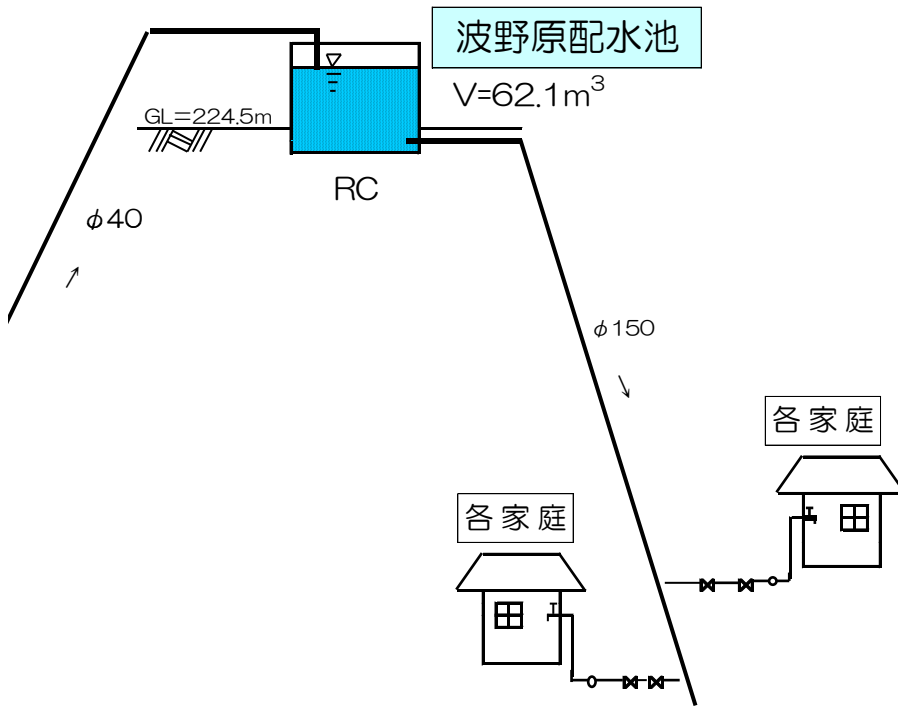
(波野原浄水場系)



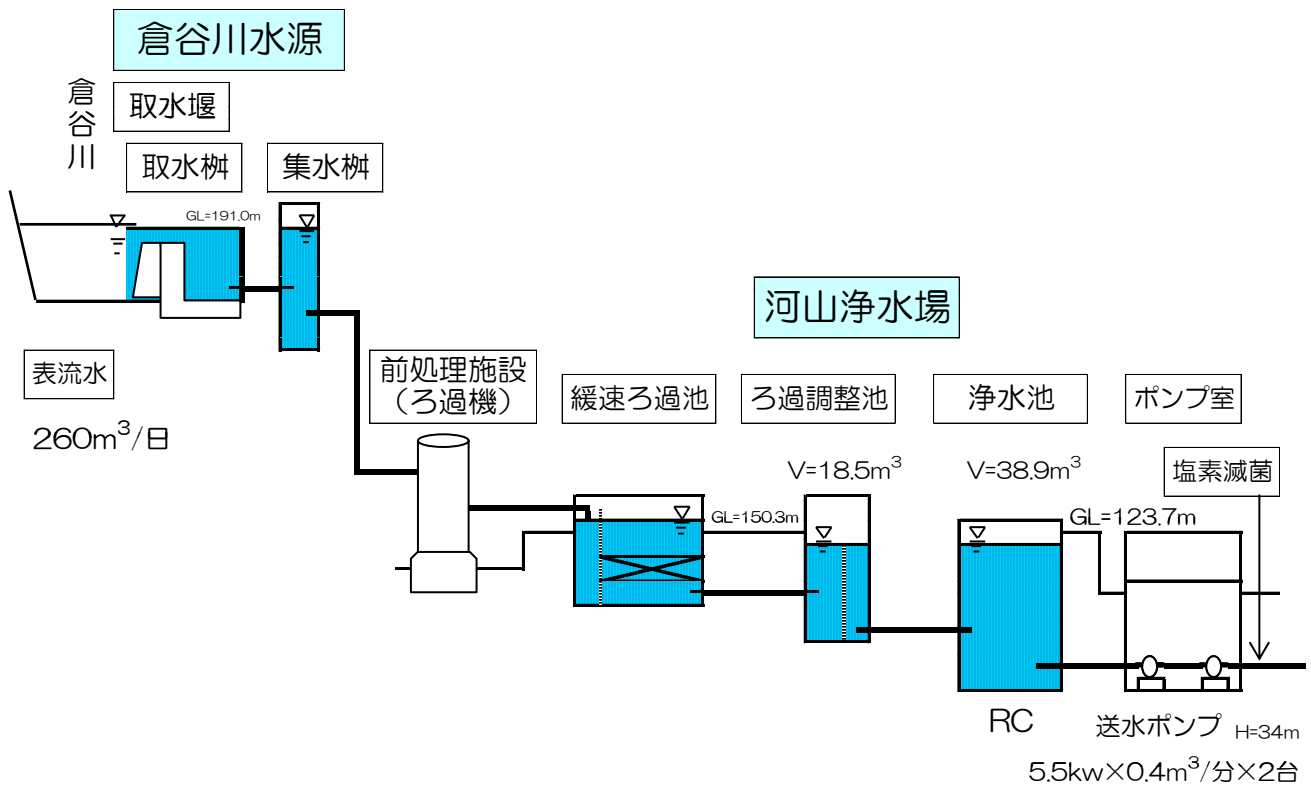
(波野中浄水場系)



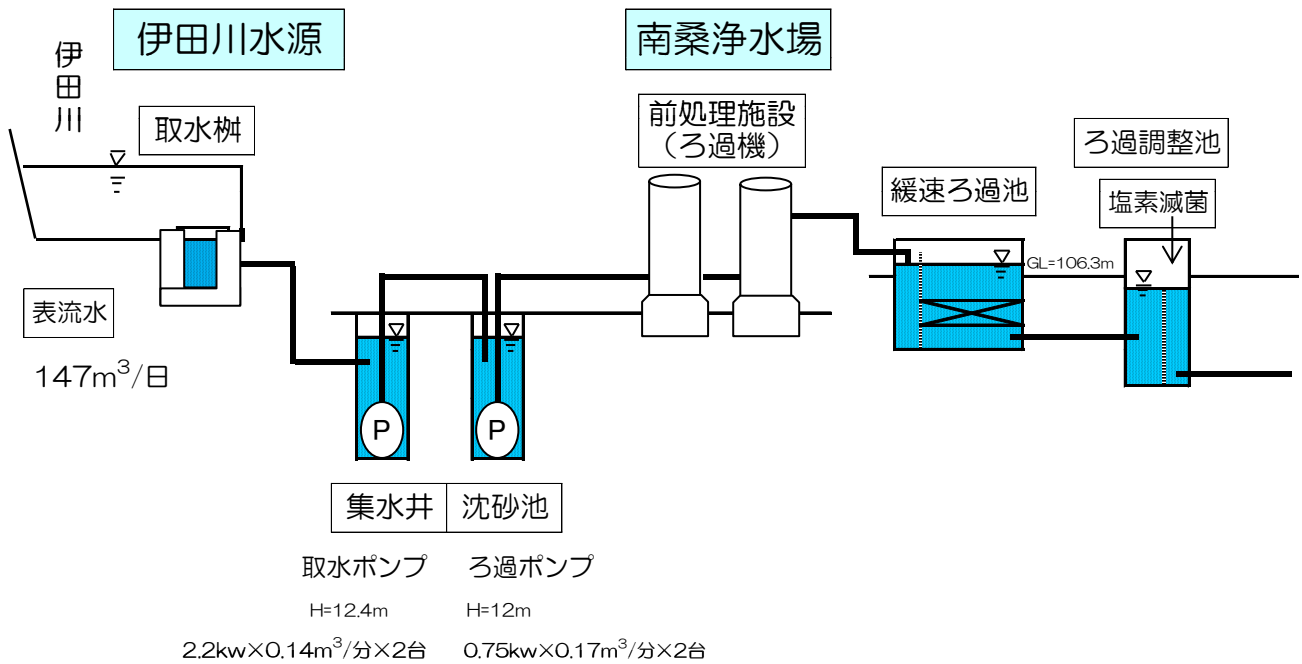




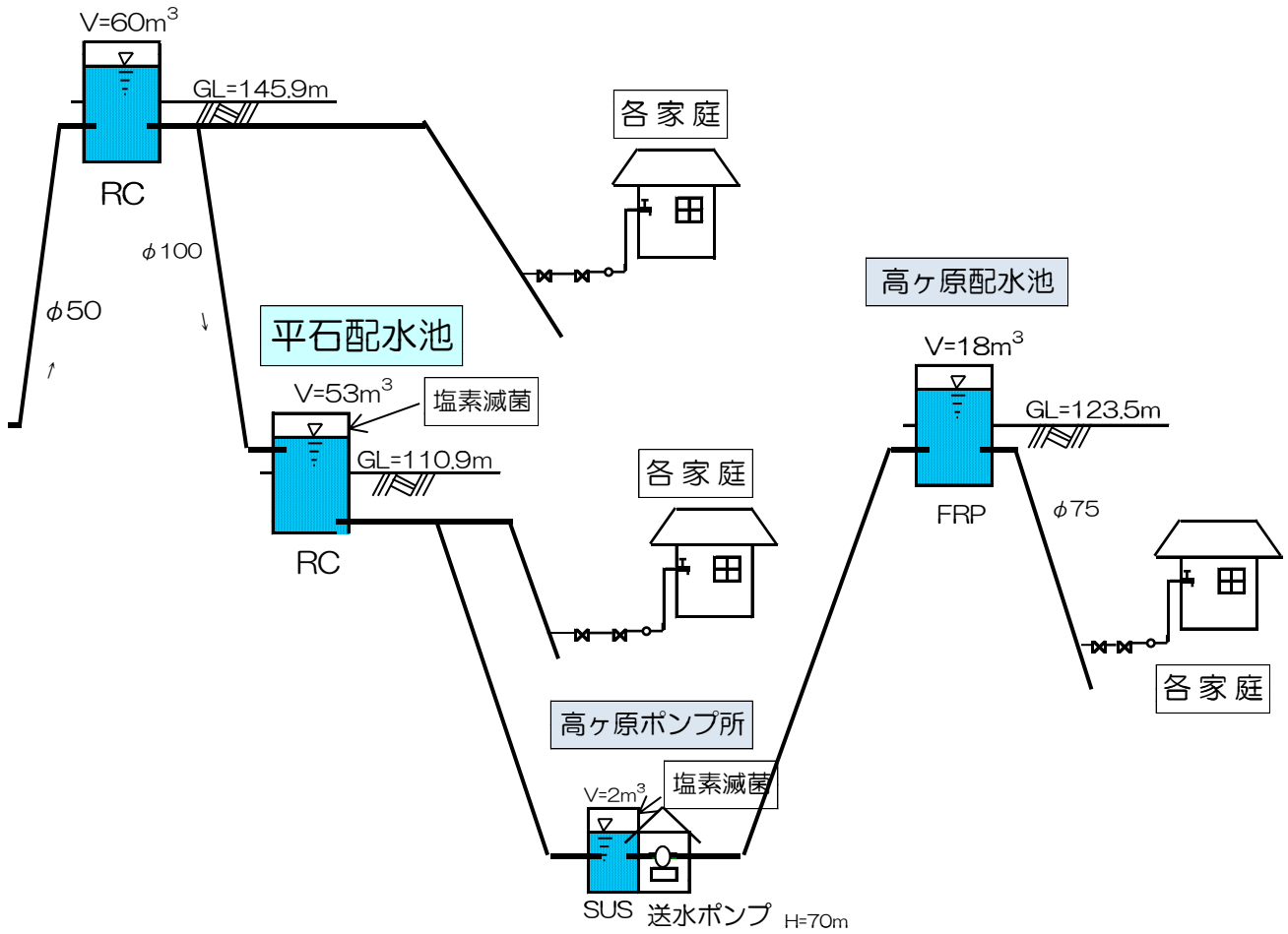
(7) 美川地区 (河山浄水場系)



(南桑浄水場系)

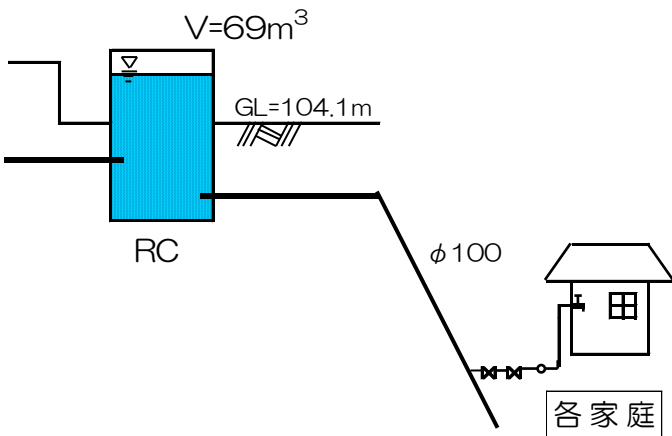


河山配水池



南桑配水池

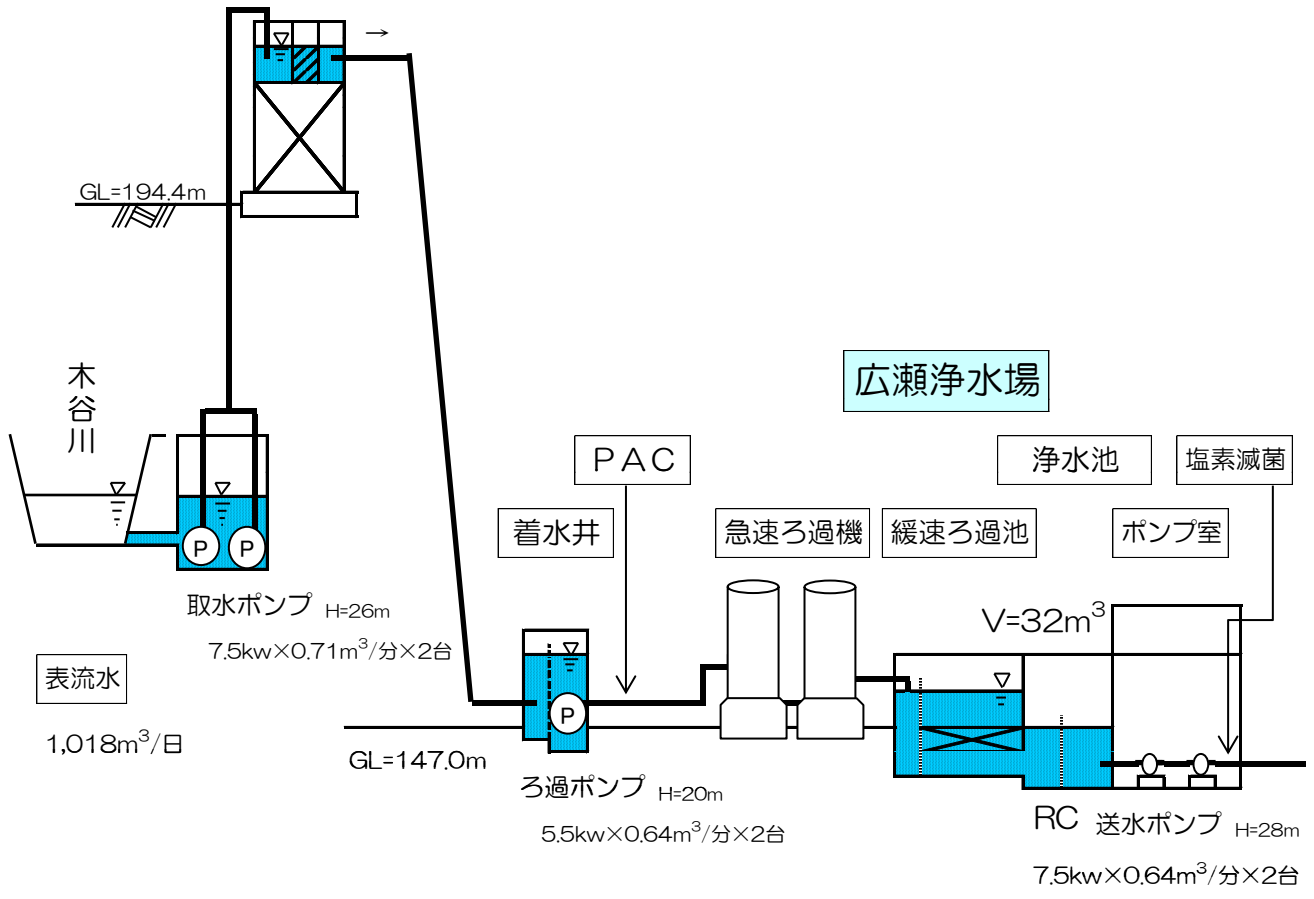
(浄水池)

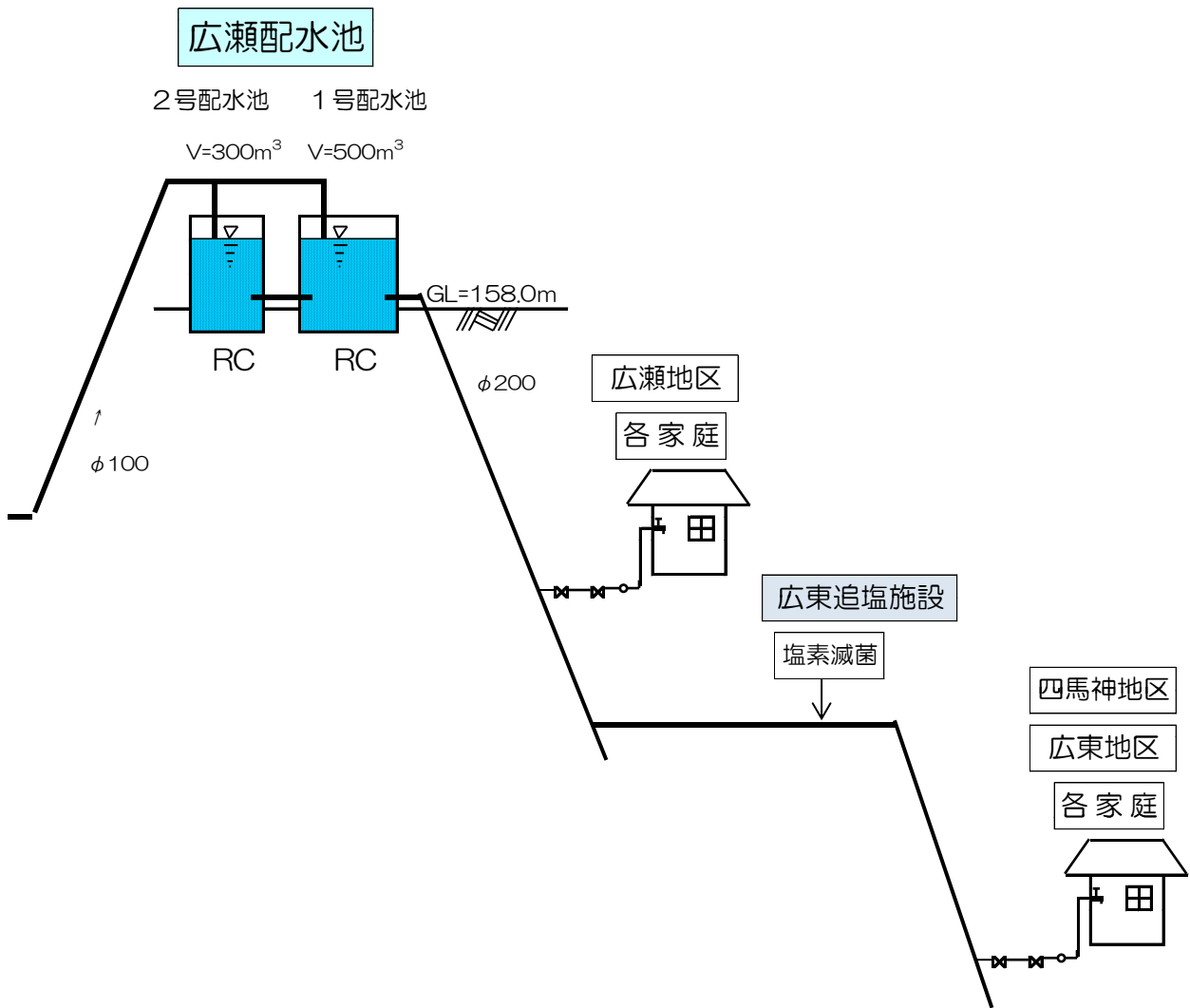


(8) 錦地区 (広瀬浄水場系)

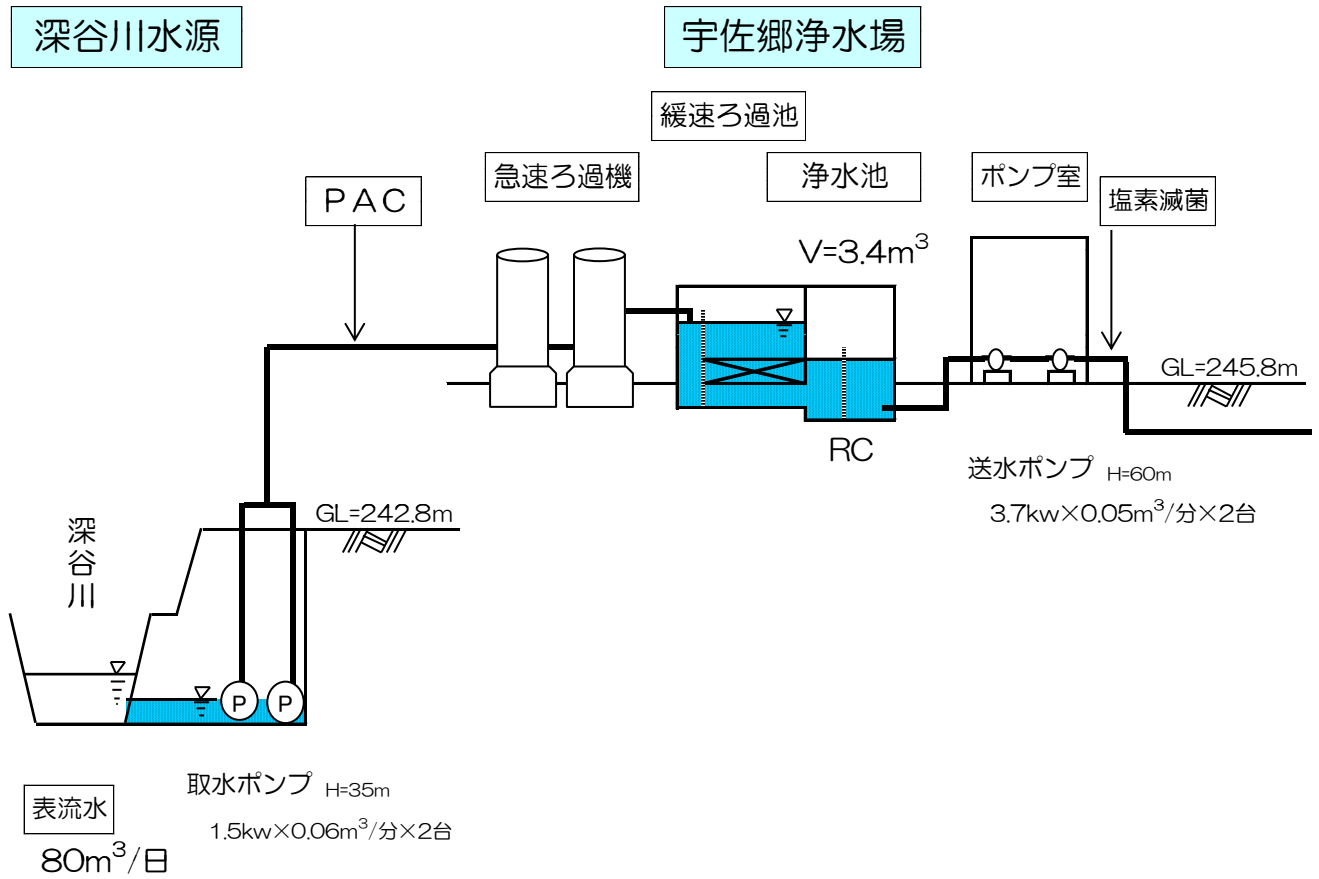
木谷川水源

受水槽 沈砂池

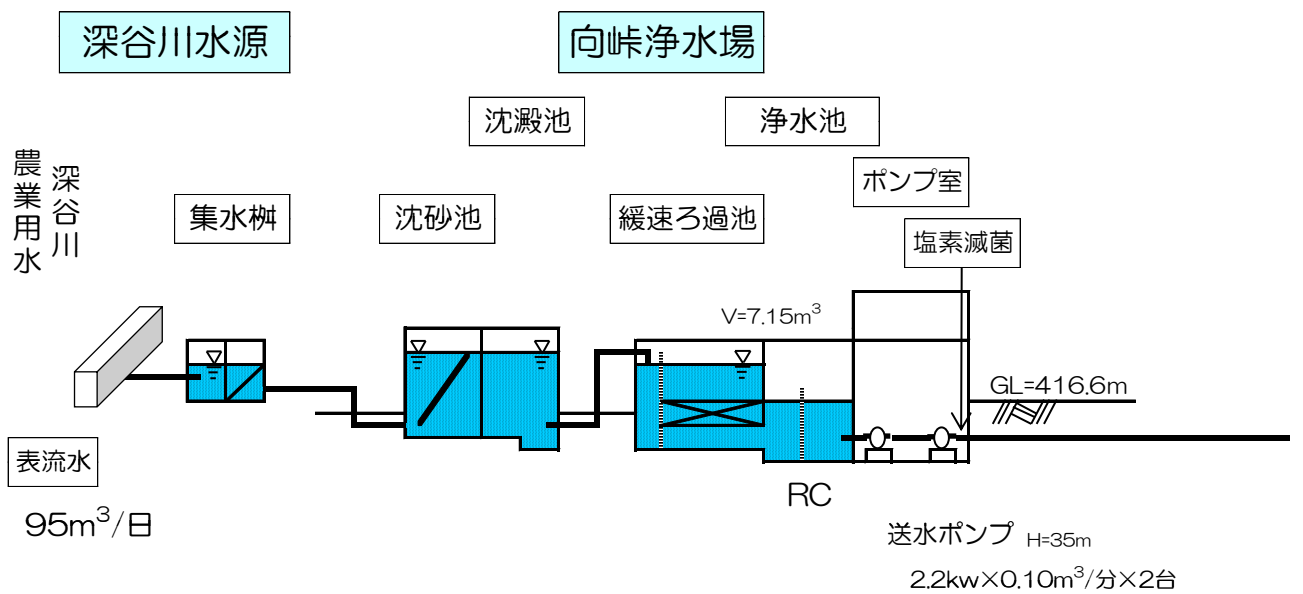




(宇佐郷浄水場系)

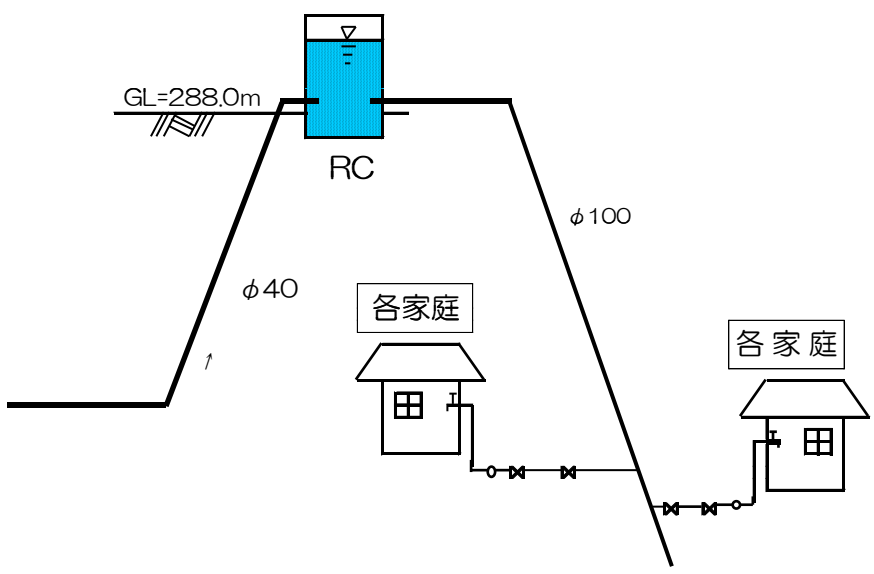


(向峠浄水場系)



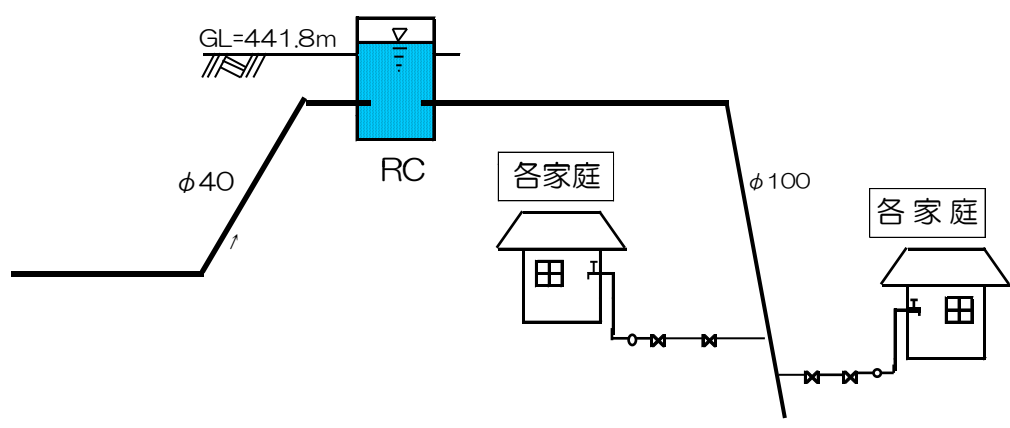
### 宇佐郷配水池

V=85.8m<sup>3</sup>



### 向峠配水池

V=96.3m<sup>3</sup>



## 4 各施設詳細

### (1) 岩国地区

① 錦見浄水場	岩国市岩国4-10-1 56,998.05m <sup>2</sup> (うち国有地18,613.34m <sup>2</sup> ) 計画取水量 79,640m <sup>3</sup> (2級河川 錦川水系 錦川 表流水) 施設能力 73,000m <sup>3</sup> (水利権 79,640m <sup>3</sup> /日)
取水口	RC造 幅6.80m 高4.00m
導水ずい道	RC造 (馬蹄型) 幅2.00m 長340.00m 高2.00m
集水井	RC造 幅5.87m 長14.08m 高10.00m 有効容量820.0m <sup>3</sup>
原水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 200kw Q=28.0m <sup>3</sup> /分 H=34.0m 3台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V×200kVA
着水井	RC造 幅12.20m 長6.40m 高5.66m 有効容量150.0m <sup>3</sup>
混和池	RC造 (内面エポキシライニング) 幅4.80m 長4.80m 高3.97m 有効容量91.4m <sup>3</sup> 幅4.80m 長3.00m 高2.69m 有効容量38.7m <sup>3</sup>
沈殿池	RC造 (内面エポキシライニング) No.1、No.2 処理能力 各27,500m <sup>3</sup> /日 傾斜管11.0×40.5×4.5 形成池4.0×11.0×4.015×3池 No.3、No.4 処理能力 各11,000m <sup>3</sup> /日 傾斜管15.2×19.0×3.76 形成池3.54×15.2×3.66 No.5 処理能力 22,000m <sup>3</sup> /日 傾斜板14.0×27.7×4.15 形成池3.5×14.0×4.25 形成池3.6×14.0×4.25 合計処理能力 99,000m <sup>3</sup> /日
薬品タンク	PAC 15m <sup>3</sup> 2基 次亜塩素酸ナトリウム 8m <sup>3</sup> 4基
滅菌設備	250L×2Kgf/cm <sup>2</sup> (前中次亜ポンプ3台、後次亜ポンプ3台※うち1台予備)
粉末活性炭	粉末活性炭溶解槽10m <sup>3</sup> 小出槽1m <sup>3</sup> 溶解槽用攪拌機2台 注入用水中ポンプ1台 ※注入率は手動設定
急速ろ過池	RC造 重力式開放型 No.1グリーンリーフ (エバラインフェルコ製) 池数16 砂厚60cm 面積22.45m <sup>2</sup> /池 速度120.0m/日 処理能力43,000m <sup>3</sup> /日 No.2エンビコ (クボタ製) 池数10 砂厚100cm 面積46.7m <sup>2</sup> /池 速度120.0m/日 処理能力56,000m <sup>3</sup> /日 合計処理能力 99,000m <sup>3</sup> /日
浄水池	RC造フラットスラブ GL=29.3m No.1 幅16.00m 長16.00m 高3.60m 池数2 有効容量1,800m <sup>3</sup> No.2 幅36.90m 長18.00m 高3.60m 池数1 有効容量2,200m <sup>3</sup> 合計有効容量 4,000m <sup>3</sup>
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 230kw Q=30.0m <sup>3</sup> /分 H=35.0m 1台 95kw Q=12.0m <sup>3</sup> /分 H=35.0m 2台 270kw Q=35.0m <sup>3</sup> /分 H=35.0m 1台
配水池	RC造フラットスラブ GL=53.0m ※緊急遮断弁有 No.1 幅31.50m 長37.60m 高4.45m 池数2 有効容量10,540m <sup>3</sup> No.2 幅5.60m 長30.80m/2 高4.45m 有効容量380m <sup>3</sup> 幅30.50m 長30.80m 高4.45m 有効容量4,180m <sup>3</sup> 幅16.20m 長30.80m 高4.45m 有効容量2,220m <sup>3</sup> 幅26.40m 長35.40m 高4.45m 有効容量4,160m <sup>3</sup> 合計有効容量 21,480m <sup>3</sup>
排泥処理設備	天日乾燥床 高1.00m 池数6 合計面積3,303m <sup>2</sup> (500m <sup>2</sup> 、510m <sup>2</sup> 、546m <sup>2</sup> 、598m <sup>2</sup> 、565m <sup>2</sup> 、584m <sup>2</sup> )



② 牛野谷ポンプ所 岩国市牛野谷町2-11-6 1,867.95m <sup>2</sup> 牛野谷配水池 岩国市門前町2 6,037.96m <sup>2</sup> (うち国有地1,284.95m <sup>2</sup> ) 配水能力 23,600m <sup>3</sup> /日 (水利権配分17,310m <sup>3</sup> /日)	
受水槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) GL=3.90m No.1 幅20.00m 長8.60m 高3.50m 有効容量600m <sup>3</sup> No.2 幅14.40m 長8.00m 高3.50m 有効容量400m <sup>3</sup> 合計有効容量 1,000m <sup>3</sup>
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 150kw Q=10.0m <sup>3</sup> /分 H=66.0m 3台
配水池	SUS鋼板製 GL=54.10m ※緊急遮断弁有 No.1 幅25.00m 長33.50m 高5.00m 有効容量4,000m <sup>3</sup> RC造フラットスラブ GL=54.10m No.2 幅52.95m 長22.40m 高3.60m 有効容量3,800m <sup>3</sup> 合計有効容量 約7,800m <sup>3</sup>

③ 愛宕加圧設備 岩国市門前町2-61 812m <sup>2</sup> 配水能力 1,269.64m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 幅13.00m 長5.00m 高4.00m 池数2 有効容量230m <sup>3</sup>
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 5.5kw H=27.0m 6台

④ 平田ポンプ所 岩国市牛野谷町1-5 500.00m <sup>2</sup> 平田配水池 岩国市平田4 3,241.00m <sup>2</sup> 配水能力 8,400m <sup>3</sup> /日 (水利権配分6,220m <sup>3</sup> /日)	
受水槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) 幅6.50m 長6.50m 高4.10m 池数2 有効容量400m <sup>3</sup>
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 100kw Q=5.84m <sup>3</sup> /分 H=70.0m 2台
配水池	PC造 GL=54.25m ※緊急遮断弁有 直径25.00m 高6.30m 有効容量3,000m <sup>3</sup>

⑤ 通津ポンプ所 岩国市保津町2 904.00m <sup>2</sup> 通津配水池 岩国市通津 1,762.00m <sup>2</sup> 配水能力 2,880m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) 幅10.50m 長10.50m 高3.50m 池数1 有効容量360m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37kw Q=2.00m <sup>3</sup> /分 H=73.0m 2台
配水池	RC造フラットスラブ No.1 (新) GL=73.5m No.2 (旧) GL=75.5m No.1 幅10.50m 長10.50m 高5.85m 池数2 有効容量1,100m <sup>3</sup> No.2 幅15.56m 長10.50m 高3.85m 有効容量450m <sup>3</sup> ※緊急遮断弁有 合計有効容量 1,550m <sup>3</sup>

⑥ 東光寺統合施設ポンプ所 岩国市牛野谷町3-42 264.00m <sup>2</sup> 東光寺統合施設配水池 岩国市平田5 3,559.00m <sup>2</sup> 配水能力 1,758m <sup>3</sup> /日 (山中団地・百合ヶ丘団地・星ヶ迫団地の一部・平田5の一部・南岩国町2の一部・東光寺団地・平和ヶ丘団地)	
送水ポンプ	RC造 幅7.00m 長14.00m 高3.00m 有効容量294m <sup>3</sup> 両吸込み渦巻きポンプ 30kw H=75.0m 2台
配水池	RC造 GL=70.00m 幅8.40m 長12.60m 高3.70m 池数2 有効容量782m <sup>3</sup>

⑦ 山手ブロックポンプ所 岩国市山手町4 157.00m <sup>2</sup> 山手ブロック配水池 岩国市室の木町4 3,184.00m <sup>2</sup> 桜ヶ丘配水池 岩国市室の木町4 1,316.00m <sup>2</sup> 配水能力 2,900m <sup>3</sup> /日 (桜ヶ丘団地・室の木台団地・高陽団地・八幡山団地・サンシティ岩国・八幡台団地・山手団地)	
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37.0kw H=63.0m 2台
配水池	山手ブロック配水池 SUS製 GL=89.70m ※緊急遮断弁有 幅7.50m 長10.00m 高7.50m 幅6.50m 長10.00m 高7.50m 有効容量1,000m <sup>3</sup> 桜ヶ丘配水池 PC造 GL=79.90m ※緊急遮断弁有 直径10.00m 高7.10m 有効容量560m <sup>3</sup>

⑧ 桜地蔵団地ポンプ所 岩国市室の木町5-9 32.00m <sup>2</sup> 桜地蔵団地配水池 岩国市室の木町5 1,602.00m <sup>2</sup> 配水能力 50m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅2.50m 長2.50m 高3.00m 有効容量18m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 3.7kw 2台
配水池	RC造 GL=46.00m 幅3.00m 長3.00m 高3.00m 有効容量27m <sup>3</sup>

⑨ 旭ヶ丘団地ポンプ所 岩国市室の木町3-7 38.00m <sup>2</sup> 旭ヶ丘団地配水池 岩国市室の木町3 2,630.00m <sup>2</sup> 配水能力 112.5m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅2.00m 長2.00m 高2.75m 有効容量11m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 3.7kw 2台
配水池	RC造 GL=54.00m 幅3.00m 長4.00m 高3.00m 有効容量36m <sup>3</sup>

⑩ 平田第一ブロックポンプ所 岩国市川西4 124.00m <sup>2</sup> 平田第一ブロック配水池 岩国市川西4/平田1 4,172.66m <sup>2</sup> 配水能力 1,930m <sup>3</sup> /日 (明生台団地・ガーデンシティ岩国・すみれヶ丘団地・平田1・平田2の一部)	
受水槽	RC造 幅3.00m 長10.00m 高3.80m 有効容量114m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 30kw H=60.0m 2台
配水池	RC造 GL=80.00m ※緊急遮断弁有 新 幅5.00m 長25.00m 高3.20m 池数2 有効容量869m <sup>3</sup> 旧 有効容量303m <sup>3</sup> 合計有効容量 1,172m <sup>3</sup>

⑪ 東雲台団地加圧設備 岩国市南岩国町5 361.23m <sup>2</sup> 配水能力 206m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅3.00m 長6.00m 高3.10m 池数2 有効容量113m <sup>3</sup>
加圧ポンプ	圧力制御 5.5kw H=37.0m 2台

⑫ トーヨド団地ポンプ所 岩国市南岩国町2-80 202.00m <sup>2</sup> トーヨド団地配水池 岩国市南岩国町2/南岩国町4 1,065.00m <sup>2</sup> 配水能力 420m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅5.00m 長5.00m 高3.00m 有効容量74m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 15kw H=72.0m 2台
配水池	RC造 GL=63.00m 幅5.00m 長10.00m 高4.90m 有効容量245m <sup>3</sup>

⑬ 室の木団地加圧設備 岩国市室の木町2-10 163.00m <sup>2</sup> 配水能力 84m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 幅3.00m 長2.50m 高2.00m 有効容量15m <sup>3</sup>
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 7.5kw H=40.0m 2台

⑭ 第三ブロックポンプ所 岩国市藤生町3 100.00m <sup>2</sup> 第三ブロック配水池 岩国市藤生町5/海土路町2 1,985.00m <sup>2</sup> 配水能力 1,120m <sup>3</sup> /日 (海土路団地・一本杉団地・海土路2の一部)	
受水槽	RC造 幅6.20m 長7.30m 高3.10m 有効容量140m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 18.5kw H=70.0m 2台
配水池	RC造 GL=76.00m ※緊急遮断弁有 幅7.00m 長11.00m 高3.90m 池数2 有効容量600m <sup>3</sup>

⑮ 装束団地加圧設備 岩国市装束町2-6 86.00m <sup>2</sup> 配水能力 66m <sup>3</sup> /日	
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 1.5kw H=30.0m 2台

⑯ 尾津一の谷団地ポンプ所 岩国市尾津町2 78.00m <sup>2</sup> 尾津一の谷団地配水池 岩国市尾津町2 126.00m <sup>2</sup> 配水能力 175m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 幅3.00m 長3.00m 高3.50m 有効容量27m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 5.5kw H=60.0m 2台
配水池	SUS製 GL=86.00m 幅5.50m 長7.00m 高5.50m 池数2 有効容量142m <sup>3</sup>

⑰ 瀬戸海団地ポンプ所 岩国市青木町3-5 48.00m <sup>2</sup> 瀬戸海団地配水池 岩国市青木町3 298.00m <sup>2</sup> 配水能力 222.6m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅2.50m 長4.00m 高3.00m 有効容量30m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 5.5kw H=48.0m 2台
配水池	RC造 GL=44.00m 幅3.60m 長7.00m 高2.50m 池数2 有効容量125m <sup>3</sup>

⑱ 萩原団地ポンプ所 岩国市青木町3-34 70.00m <sup>2</sup> 萩原団地配水池 岩国市青木町3 367.00m <sup>2</sup> 配水能力 350m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅4.00m 長4.00m 高2.80m 有効容量44m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 7.5kw H=78.0m 2台
配水池	RC造 GL=61.00m 幅6.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量180m <sup>3</sup>

⑲ 梅が丘団地ポンプ所 岩国市平田6 498m <sup>2</sup> 梅が丘配水池 岩国市平田6 1,727m <sup>2</sup> 配水能力 2,011m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅7.50m 長8.00m 高3.40m 池数2 有効容量408m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37kw H=97.0m 2台
配水池	PC造 GL=93.00m ※緊急遮断弁有 直径16.0m 高4.98m 有効容量1,000m <sup>3</sup>

⑩ 黒磯団地ポンプ所 岩国市黒磯町2-419-1 225.76m <sup>2</sup> 黒磯団地配水池 岩国市黒磯町2-53 403.74m <sup>2</sup> 配水能力 954.3m <sup>3</sup> /日	
受水槽	RC造 幅5.50m 長8.00m 高3.00m 有効容量132m <sup>3</sup>
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 22kw H=90.0m 2台
配水池	RC造 GL=80.9m 幅5.50m 長4.50m 高2.90m 有効容量60m <sup>3</sup> 幅10.00m 長8.50m 高3.60m 有効容量255m <sup>3</sup>

⑪ 阿品ポンプ所 岩国市多田字松尾口1383-15 324.6m <sup>2</sup> 阿品配水池 岩国市阿品字大人原 281.54m <sup>2</sup> 配水能力 84m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 幅1.50m 長4.00m 高2.50m 有効容量10m <sup>3</sup>
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ 7.5kw Q=0.06m <sup>3</sup> /分 H=146.0m 2台
配水池	RC造 GL=163.0m 幅4.00m 長6.00m 高3.60m 有効容量86m <sup>3</sup>

⑫ 小瀬浄水場 岩国市小瀬298-1 217m <sup>2</sup> 小瀬配水池 岩国市小瀬墨屋 1,055m <sup>2</sup> 計画取水量 285m <sup>3</sup> /日 施設能力 300m <sup>3</sup> /日	
取水井	高井戸 VU φ0.20m 深27.70m 浅井戸 HP φ1.50m 深8.00m (予備)
取水ポンプ	高井戸 水中ポンプ 3.7kw Q=0.21m <sup>3</sup> /分 H=43.0m 1台 浅井戸 水中ポンプ 3.7kw Q=0.21m <sup>3</sup> /分 H=24.0m 2台
滅菌設備	次亜塩素素注入機 ダイヤフラム式 20.0ml/分 2台
ろ過機	直径2.00m 高6.00m 1基 容量12.6m <sup>3</sup>
曝気装置	SUS製 通風充填塔式 φ0.80m 高3.50m 1基
送水ポンプ	多段タービンポンプ 7.5kw Q=0.2m <sup>3</sup> /分 H=85.0m 2台
配水池	SUS製 GL=75.95m 幅6.00m 長13.00m 高3.00m 有効容量230m <sup>3</sup>

(2) 由宇地区

① 上北浄水場 岩国市由宇町4786-3 570.78m <sup>2</sup> 上北配水池 岩国市由宇町4792-4他 862m <sup>2</sup> 拝岩配水池 岩国市由宇町3959他 1,172m <sup>2</sup> 千鳥ヶ丘配水池 岩国市由宇町7655-4 540m <sup>2</sup> 計画取水量 3,600m <sup>3</sup> /日 (2級河川 由宇川 伏流水)、2,000m <sup>3</sup> /日 (地下水) 施設能力 5,600m <sup>3</sup> /日 ※伏流水の水利権 5,010m <sup>3</sup> /日	
集水埋管	有孔HP管φ300mm L=50m、φ600mm L=162m 第1 104.00m <sup>2</sup> 第2 145.50m <sup>2</sup> 第3 186.96m <sup>2</sup> 第4 186.96m <sup>2</sup> 導水管 8.47m <sup>2</sup>
取水井	RC造 コルゲート造 ポーリング 第1 φ1.9m 深7.8m 第2 φ6.0m 深18.0m 第3 φ1.5m 深9.0m 第4 φ0.4m 深25.5m
取水ポンプ	水中ポンプ φ100mm 15.0kw×2台、11.0kw×2台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V 200kVA
急速ろ過機	鋼板製 高流速除マンガンろ過機 逆流洗浄・空気洗浄方式 凝集剤PAC ろ過速度600m/日 処理能力4,800m <sup>3</sup> /日
浄水池	RC造 幅8.00m 長9.00m 高3.20m 有効容量220m <sup>3</sup>
滅菌設備	次亜塩素素注入機 74ml/分 2台 (薬注タンク容量 0.4m <sup>3</sup> )
送水ポンプ	上北 片吸込み渦巻きポンプ 37kw Q=2.10m <sup>3</sup> /分 H=63m 3台 拝岩 多段タービンポンプ 37kw Q=1.35m <sup>3</sup> /分 H=105m 2台 千鳥ヶ丘 多段渦巻きポンプ 37kw Q=1.35m <sup>3</sup> /分 H=100m 2台
配水池	上北配水池 RC造 GL=56.9m 第1 直径8.00m 高3.00m 有効容量150m <sup>3</sup> 第2 幅18.00m 長12.0m 高2.38m 有効容量512m <sup>3</sup> 拝岩配水池 RC造 GL=69.0m 幅15.50m 長10.00m 高4.00m 有効容量600m <sup>3</sup> 千鳥ヶ丘配水池 RC造 GL=93.0m 幅10.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量300m <sup>3</sup> 幅10.00m 長6.35m 高3.50m 有効容量190m <sup>3</sup> 神東配水池 RC造 GL=54.0m 幅7.00m 長4.00m 高2.40m 有効容量67.2m <sup>3</sup>
② 由西配水池 柳井市日積4772-1 307m <sup>2</sup> 受水 330m <sup>3</sup> /日 ※柳井地域広域水道企業団から受水	
配水池	PC造 直径10.00m 高5.55m 有効容量435.3m <sup>3</sup>

(3) 玖珂地区

① 瀬田水源地 岩国市玖珂町鍛冶屋田4861-1 882.756m <sup>2</sup> 瀬田配水池 岩国市玖珂町瀬田山1710-2 6,192.17m <sup>2</sup> 計画取水量 2,435m <sup>3</sup> /日 施設能力 3,000m <sup>3</sup> /日	
取水井	RC造 φ5.00m 深12.00m
取水ポンプ	水中ポンプ 15kw φ80 Q=0.729m <sup>3</sup> /分 H=75m 5台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V 150kVA
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 31ml/分 2台 薬注タンク 容量1.0m <sup>3</sup>
配水池	SUS製 GL=110m ※緊急遮断弁有 幅10.00m 長21.00m 高6.00m 有効容量1,100m <sup>3</sup>

② 野口ポンプ所 岩国市玖珂町野口字光ヶ迫3131-1 989.09m <sup>2</sup> 野口配水池 岩国市玖珂町野口上501-105 1,205m <sup>2</sup> 配水能力 420m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 容量10m <sup>3</sup>
送水ポンプ	タービンポンプ 7.5kw φ50 Q=0.233m <sup>3</sup> /分 H=83m 3台
配水池	SUS製 GL=124m 幅7.00m 長14.00m 高2.50m 有効容量200m <sup>3</sup>

③ 谷津ポンプ所 岩国市玖珂町谷津上679-7 108.89m <sup>2</sup> 谷津配水池 岩国市玖珂町谷津上675-4 749m <sup>2</sup> 配水能力 280m <sup>3</sup> /日	
受水槽	SUS製 有効容量10m <sup>3</sup>
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 7.5kw Q=0.146m <sup>3</sup> /分 H=72m 2台
配水池	SUS製 GL=135m 幅4.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量100m <sup>3</sup>

④ 有延ポンプ所 岩国市玖珂町有延5652 2,545m <sup>2</sup> ※高森南浄水場から受水	
受水槽	SUS製 幅6.00m 長8.00m 高3.00m 容量100m <sup>3</sup>
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 30kw Q=1.39m <sup>3</sup> /分 H=74m 2台

(4) 周東地区

① 高森南浄水場	岩国市周東町上久原488-1	931m <sup>2</sup>
高森南配水池	岩国市周東町上久原13	4,974m <sup>2</sup>
計画取水量	2,595m <sup>3</sup> /日 (地下水)	
施設能力	2,995m <sup>3</sup> /日	
取水井	RC造 深井戸 深25.00m φ0.30m 1本、φ0.20m 2本 RC造 浅井戸 深15.00m φ1.00m 1本	
取水ポンプ	水中ポンプ 7.5kw φ100 Q=0.81m <sup>3</sup> /分 H=30m 3台 7.5kw φ100 Q=0.69m <sup>3</sup> /分 H=25m 2台	
発電設備	ディーゼルエンジン 220V 45kVA、220V 95kVA	
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 25ml/分 4台、6ml/分 2台 薬注タンク 容量0.2m <sup>3</sup> ×1基 1.2m <sup>3</sup> ×2基	
浄水池	RC造 幅4.00m 長2.50m 高3.00m 池数2 容量50m <sup>3</sup> SUS製 幅2.50m 長4.50m 高2.50m 池数2 容量42m <sup>3</sup>	
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) 30kw φ100 Q=0.81m <sup>3</sup> /分 H=95m 2台 30kw φ100 Q=0.69m <sup>3</sup> /分 H=95m 2台	
配水池	第1 PC造 容量326m <sup>3</sup> 第2 RC造 容量336m <sup>3</sup> 第3 SUS製 容量528m <sup>3</sup> GL=111m	

(5) 美和地区

①	西部浄水場 岩国市美和町生見606 1,286m <sup>2</sup> 金山ポンプ所 岩国市美和町生見2749-2 16m <sup>2</sup> 陽の出ポンプ所 岩国市美和町生見2441-68 171m <sup>2</sup> 柿ノ木原ポンプ所 岩国市美和町下畑2581-4 30m <sup>2</sup> 中村加圧設備 岩国市美和町生見2291-1 0.6m <sup>2</sup> (ポンプ室) 生見配水池 岩国市美和町生見2075-2 709m <sup>2</sup> 長野配水池 岩国市美和町生見2313-2 501m <sup>2</sup> 金山配水池 岩国市美和町生見3069 786m <sup>2</sup> 陽の出配水池 岩国市美和町生見2440-2 657m <sup>2</sup> 柿ノ木原配水池 岩国市美和町下畑2305-3 101m <sup>2</sup> 計画取水量 976m <sup>3</sup> /日 (生見川 表流水 水利権 1,040m <sup>3</sup> /日) 施設能力 1,040m <sup>3</sup> /日
取水口	RC造
着水井	RC造 幅3.00m 長8.50m 高2.00m
ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 5.5kw φ80 Q=1.5m <sup>3</sup> /分 H=16m 2台
ろ過設備	ろ過機 直径2.50m 高5.00m 処理能力340m <sup>3</sup> /日 2基 緩速ろ過池 RC造 処理能力340m <sup>3</sup> /日 3池 360m <sup>3</sup> /日 1池
滅菌設備	次亜塩素注入ポンプ 30ml/分 4台 薬注タンク 150kg 2基
浄水池	RC造 幅6.40m 長3.30m 高1.40m 容量29m <sup>3</sup> RC造 幅5.40m 長2.00m 高1.40m 容量15m <sup>3</sup>
受水槽	陽の出ポンプ所 容量10m <sup>3</sup>
送水ポンプ	西部浄水場 多段渦巻きポンプ 生見系 18.5kw φ80 Q=0.71m <sup>3</sup> /分 H=90m 2台 長野系 5.5kw φ50 Q=0.17m <sup>3</sup> /分 H=100m 2台 金山ポンプ所 ブースターポンプ 1.5kw Q=0.05m <sup>3</sup> /分 H=100m 台数2 陽の出ポンプ所 多段渦巻きポンプ 3.7kw Q=0.28m <sup>3</sup> /分 H=34m 台数2 柿ノ木原ポンプ所 ユニットポンプ 1.1kw Q=0.06m <sup>3</sup> /分 H=53m 台数2 中村加圧設備 ユニットポンプ 3.7kw Q=0.25m <sup>3</sup> /分 H=51m 台数2
配水池	生見配水池 RC造 1号 幅10.00m 長8.40m 高3.00m 容量250m <sup>3</sup> 2号 幅9.10m 長9.10m 高3.00m 容量250m <sup>3</sup> 長野配水池 RC造 幅6.70m 長4.50m 高3.00m 容量90m <sup>3</sup> 金山配水池 SUS造 ※緊急遮断弁有 幅4.50m 長6.00m 高3.50m 容量78.4m <sup>3</sup> 陽の出配水池 RC造 幅6.30m 長9.00m 高3.00m 容量170m <sup>3</sup> 柿ノ木原配水池 FRP製 幅4.00m 長3.00m 高1.65m 容量20m <sup>3</sup>



② 東部浄水場 岩国市美和町大根川122-1 405m <sup>2</sup> 坂上ポンプ所 岩国市美和町渋前658-5 (県道敷) 11.4m <sup>2</sup> (ポンプ所) 畑加圧設備 9.6m <sup>2</sup> 佐坂配水池 岩国市美和町佐坂46 1,192m <sup>2</sup> 長谷配水池 岩国市美和町日宛729-2 327m <sup>2</sup> 滑配水池 岩国市美和町滑3-2 318m <sup>2</sup> 坂上配水池 岩国市美和町渋前694-2 244m <sup>2</sup> 計画取水量 652m <sup>3</sup> /日 (長谷川 表流水 水利権 1,250m <sup>3</sup> /日) 施設能力 1,200m <sup>3</sup> /日	
取水塔	RC造 幅2.00m 長3.00m 高19.00m
取水ポンプ	水中ポンプ 22kw φ80 Q=0.96m <sup>3</sup> /分 H=80m 2台
原水ポンプ	水中ポンプ 3.7kw φ65 Q=0.6m <sup>3</sup> /分 H=15m 3台
膜ろ過原水ポンプ	渦巻きポンプ 3.7kw φ50 Q=0.4m <sup>3</sup> /分 H=25m 3台
ろ過設備	ろ過機 直径1.8 高2.00m 処理能力817m <sup>3</sup> /日 2基 膜ろ過機 (MF膜) 処理能力430m <sup>3</sup> /日 3ユニット
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク 容量0.2m <sup>3</sup>
浄水池	SUS製 幅3.50m 長7.00m 高2.00m 容量50m <sup>3</sup>
受水槽	坂上ポンプ所 RC造 容量11.3m <sup>3</sup>
送水ポンプ	東部浄水場 多段渦巻きポンプ 37kw φ80 Q=0.875m <sup>3</sup> /分 H=128m 2台 坂上ポンプ所 多段渦巻きポンプ 2.2kw φ32 Q=0.1m <sup>3</sup> /分 H=40m 2台 畑加圧設備 プースターポンプ 2.2kw φ50 Q=0.067m <sup>3</sup> /分 H=75m 2台
配水池	佐坂配水池 PC造 ※緊急遮断弁有 直径14.00m 高5.00m 容量650m <sup>3</sup> 長谷配水池 RC造 幅7.00m 長4.50m 高3.00m 容量94.5m <sup>3</sup> 滑配水池 RC造 幅9.00m 長6.80m 高3.00m 容量183.6m <sup>3</sup> 坂上配水池 RC造 幅4.50m 長7.50m 高2.85m 容量96m <sup>3</sup>
③ 秋掛浄水場 岩国市美和町秋掛179-5 315m <sup>2</sup> 秋掛配水池 岩国市美和町秋掛227-2 153m <sup>2</sup> 計画取水量 52m <sup>3</sup> /日 施設能力 54m <sup>3</sup> /日	
取水口	RC造
取水ポンプ	水中ポンプ 0.4kw φ50 Q=0.042m <sup>3</sup> /分 H=10m 2台
急速ろ過機	小型浄水装置 幅1.774m 長3.066m 高2.00m 50m <sup>3</sup> /日
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク 容量100L
浄水池	RC造 幅2.80m 長3.00m 高1.20m 容量10m <sup>3</sup>
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 2.2kw φ50 Q=0.195m <sup>3</sup> /分 H=60m 2台
配水池	RC造 幅6.10m 長5.95m 高1.50m 容量54m <sup>3</sup>

(6) 本郷地区

① 本郷浄水場 岩国市本郷町2723-2 本郷配水池 岩国市本郷町1580-2 大迫加圧設備 岩国市本郷町 計画取水量 205m <sup>3</sup> /日 施設能力 230m <sup>3</sup> /日	
取水井	第1 (深井戸) φ150 深100m 第2 (深井戸) φ150 深204m 第3 (深井戸) φ100 深82.8m 第4 (深井戸) φ100 深55m
取水ポンプ	第1 水中ポンプ 2.2kw φ32 Q=0.07m <sup>3</sup> /分 H=60m 第2 水中ポンプ 5.5kw φ50 Q=0.152m <sup>3</sup> /分 H=70m 第3 水中ポンプ 0.75kw φ25 Q=0.03m <sup>3</sup> /分 H=35m 第4 水中ポンプ 1.1kw φ25 Q=0.04m <sup>3</sup> /分 H=73m
浄水池	RC造 幅2.60m 長2.60m 高2.00m 容量13.52m <sup>3</sup>
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 30ml/分 2台 薬注タンク 50L
送水ポンプ	本郷浄水場 5.5kw φ50 Q=0.222m <sup>3</sup> /分 H=65m 2台 大迫加圧設備 2.2kw φ50 Q=0.102m <sup>3</sup> /分 H=55m 2台
配水池	SUS造 幅5.00m 長7.50m 高4.50m ※緊急遮断弁有 GL=298.5m 容量142.5m <sup>3</sup>

② 宇塚浄水場 岩国市本郷町宇塚512-3 504m <sup>2</sup> 宇塚高区配水池 岩国市本郷町宇塚706-3 269m <sup>2</sup> 計画取水量 39m <sup>3</sup> /日 施設能力 67m <sup>3</sup> /日	
取水口	RC造 幅1.60m 長3.475m 高4.05m
取水ポンプ	0.4kw φ32 Q=0.047m <sup>3</sup> /分 H=13m 2台
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 3.9ml/分 2台 薬注タンク100ℓ
ろ過設備	急速ろ過機 (圧力式) SUS製 直径0.8m 高さ2m 2基 処理能力67.3m <sup>3</sup> /日 凝集剤PAC 22.8ml/分 薬液タンク 50ℓ
浄水池	SUS製 幅3.0m 長2.0m 高3.0m 池数2 GL=279m 容量36m <sup>3</sup> ※浄水池兼低区配水池
送水ポンプ	1.5kw φ25 Q=0.021m <sup>3</sup> /分 H=80m 2台
配水池	高区配水池 SUS製 幅3.5m 長2.0m 高2.5m 池数2 GL=352.5m 容量35m <sup>3</sup>

③ 波野原浄水場	岩国市本郷町643-2	976m <sup>2</sup>
波野原配水池	岩国市本郷町114-1	730m <sup>2</sup>
計画取水量	35m <sup>3</sup> /日 (小屋ヶ迫浴 表流水)	
施設能力	113m <sup>3</sup> /日	
取水口	RC造 幅1.00m 長9.00m 高3.10m	
取水ポンプ	水中ポンプ 0.25kw φ25 Q=0.035m <sup>3</sup> /分 H=12m 2台	
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径0.8m 高4.6m 処理能力50.49m <sup>3</sup> /日 2基 凝集剤 PAC 3.9ml/分	
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 16ml/分 2台 薬注タンク200ℓ	
浄水池	RC造 幅1.40m 長1.25m 高1.80m 池数1 容量3.15m <sup>3</sup>	
送水ポンプ	1.1kw φ32 Q=0.032m <sup>3</sup> /分 H=55m 2台	
配水池	RC造 幅4.60m 長4.50m 高3.00m GL=224.5m 容量62.1m <sup>3</sup>	

④ 波野中浄水場	岩国市波野1228	848m <sup>2</sup>
波野中配水池	岩国市波野580-1	496m <sup>2</sup>
計画取水量	48m <sup>3</sup> /日 (小杉川 表流水)	
施設能力	89m <sup>3</sup> /日	
取水口	取水堰 RC造 幅1.00m 長1.75m 高3.20m	
取水ポンプ	水中ポンプ 1.5kw φ32 Q=0.068m <sup>3</sup> /分 H=20m 2台	
ろ過設備	急速ろ過機 (除マンガン設備) 直径1.10m 高4.50m 処理能力97.52m <sup>3</sup> /日 凝集剤 PAC 22.8ml/分	
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク50ℓ	
浄水池	RC造 幅1.50m 長1.50m 高2.50m 容量5.62m <sup>3</sup>	
送水ポンプ	2.2kw φ40 Q=0.062m <sup>3</sup> /分 H=65m 2台	
配水池	RC造 幅4.60m 長4.60m 高3.00m GL=209.1m 容量63.5m <sup>3</sup>	

## (7) 美川地区

① 河山浄水場 岩国市美川町小川322-2 4,038m <sup>2</sup> 河山配水池 岩国市美川町小川322-2 平石配水池 岩国市美川町小川2196-1 高ヶ原ポンプ所 岩国市美川町四馬神2198-1 高ヶ原配水池 岩国市美川町四馬神151-1 計画取水量 260m <sup>3</sup> /日 施設能力 275m <sup>3</sup> /日	
取水口	取水堰 RC造 幅2.90m 高0.90m 砂防堰 RC造 幅0.70m 長3.20m 高3.70m
ろ過設備	ろ過機 鋼板製 直径2.00m 高5.00m 処理能力250m <sup>3</sup> /日 緩速ろ過池 RC造 19.2m <sup>2</sup> ×4池 処理能力250m <sup>3</sup> /日
浄水池	RC造 幅3.50m 長4.55m 高2.90m 容量38.9m <sup>3</sup>
滅菌設備	河山浄水場 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100ℓ 平石配水池 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100ℓ 高ヶ原ポンプ所 次亜塩素素注入ポンプ 30.0ml/分 薬注タンク 30ℓ
送水ポンプ	河山浄水場 5.5kw φ50 Q=0.40m <sup>3</sup> /分 H=34m 2台 高ヶ原ポンプ所 3.7kw φ40 Q=0.08m <sup>3</sup> /分 H=70m 2台
配水池	河山配水池 RC造 幅5.50m 長4.00m 高2.90m GL=145.9m 容量60.0m <sup>3</sup> 平石配水池 RC造 幅3.50m 長5.05m 高3.00m GL=110.9m 容量53.0m <sup>3</sup> 高ヶ原配水池 FRP製 幅3.50m 長3.00m 高1.70m GL=123.5m 容量18.0m <sup>3</sup>
② 南桑浄水場 岩国市美川町南桑3571-1 1,022m <sup>2</sup> 計画取水量 147m <sup>3</sup> /日 施設能力 175m <sup>3</sup> /日	
取水口	取水柵 RC造 幅1.50m 長1.30m 高1.75m
取水ポンプ	水中ポンプ 2.2kw φ80 Q=0.14m <sup>3</sup> /分 H=12.4m 2台
ろ過設備	ろ過機 鋼板製 直径1.20m 高さ5.40m 処理能力91.5m <sup>3</sup> /日 鋼板製 直径1.30m 高さ4.70m 処理能力120.0m <sup>3</sup> /日 緩速ろ過池 RC造 12.6m <sup>2</sup> ×4池 処理能力175m <sup>3</sup> /日
滅菌設備	渦巻ポンプ 0.75kw φ40 Q=0.17m <sup>3</sup> /分 H=12m 2台
ろ過ポンプ	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100L
配水池(浄水池)	RC造 幅4.00m 長5.75m 高3.00m GL=104.1m 容量69m <sup>3</sup>

## (8) 錦地区

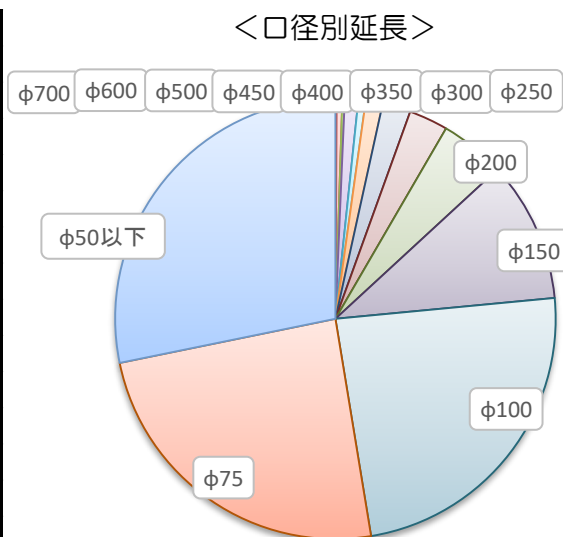
① 広瀬浄水場 岩国市錦町広瀬5702-1 5498.53m <sup>2</sup> 広瀬配水池 岩国市錦町広瀬5702-1 広東追塩設備 岩国市錦町中ノ瀬169-3 計画取水量 1,018m <sup>3</sup> /日 施設能力 1,018m <sup>3</sup> /日	
取水設備	取水井 RC造 2.60m×1.60m×2.80m 沈砂池 SUS鋼板 2.00m×8.00m×2.50m
取水ポンプ	水中ポンプ 7.5kw φ80 Q=0.71m <sup>3</sup> /分 H=26m 2台
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径2.70m 高さ6.10m 凝集剤 PAC 39.6ml/分 緩速ろ過池 RC造 7.9m×13.3m 3池
ろ過ポンプ	渦巻ポンプ 5.5kw φ80 Q=0.64m <sup>3</sup> /分 H=20m 2台
浄水池	RC造 容量320m <sup>3</sup>
滅菌設備	広瀬浄水場 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 1台 30.0ml/分 1台 薬注タンク 200L 広東追塩設備 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬液タンク 100L×2
送水ポンプ	7.5kw Q=0.64m <sup>3</sup> /分 H=28m 2台
配水池	1号 RC造 V=500m <sup>3</sup> 2号 RC造 V=300m <sup>3</sup> GL=145.9m 合計容量800m <sup>3</sup>
② 宇佐郷浄水場 岩国市錦町宇佐郷848-6 274m <sup>2</sup> 宇佐郷配水池 岩国市錦町宇佐郷1264 計画取水量 80m <sup>3</sup> /日 施設能力 73m <sup>3</sup> /日	
取水口	RC造1.80m×5.40m×5.43m
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径6.00m 高さ4.50m 2基 凝集剤 PAC 22.8ml/分 緩速ろ過池 RC造 A=12.5m <sup>2</sup> 2池
浄水池	RC造 容量3.4m <sup>3</sup>
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 50L×2
送水ポンプ	3.7kw Q=0.05m <sup>3</sup> /分 H=60m 2台
配水池	RC造 V=85.8m <sup>3</sup> GL=288.0m
③ 向峠浄水場 岩国市錦町宇佐郷474 704m <sup>2</sup> 向峠配水池 岩国市錦町宇佐郷1686 計画取水量 95m <sup>3</sup> /日 施設能力 94m <sup>3</sup> /日	
取水口	集水榭 RC造 0.60m×1.00m×0.70m
沈殿池	沈砂池 RC造 1.00m×4.00m A=4.0m <sup>2</sup> 沈殿池 RC造 3.00m×6.70m A=20.1m <sup>2</sup>
緩速ろ過池	RC造 4.00m×6.30m A=50.4m <sup>2</sup>
浄水池	RC造 容量7.15m <sup>3</sup>
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 50L
送水ポンプ	2.2kw Q=0.10m <sup>3</sup> /分 H=35m 2台
配水池	RC造 V=96.3m <sup>3</sup> GL=441.8m

## 5 配水管

### (1) 年度別布設延長表

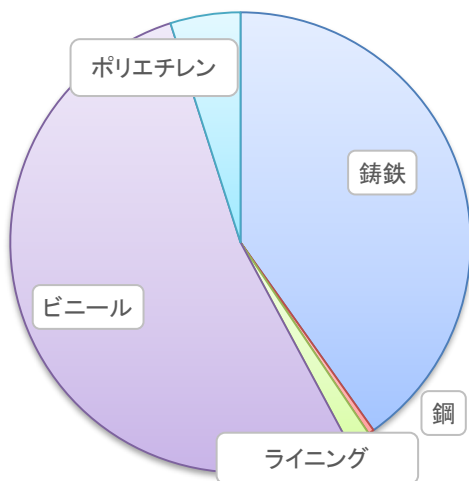
管種	口径(mm)	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29	
					年度末	増減
鑄鉄管	700	755.0	755.0	755.0	755.0	0.0
	600	3,521.0	3,521.0	3,521.0	3,521.0	0.0
	500	1,472.0	1,472.0	1,472.0	1,472.0	0.0
	450	8,033.0	8,033.0	8,050.0	8,162.0	112.0
	400	4,507.0	4,507.0	4,507.0	4,507.0	0.0
	350	9,992.0	9,999.0	10,000.0	10,139.0	139.0
	300	14,439.0	14,770.0	15,698.0	15,912.0	214.0
	250	22,536.9	22,804.9	22,943.9	23,590.9	647.0
	200	34,942.5	35,095.5	35,839.5	35,956.5	117.0
	150	69,301.4	69,597.4	70,199.4	70,279.4	80.0
	100	96,228.2	97,100.2	97,627.2	98,390.2	763.0
	75	63,409.0	64,411.0	67,714.0	68,490.0	776.0
	50以下	15.1	15.1	15.1	15.1	0.0
	小計		<b>329,152.1</b>	<b>332,081.0</b>	<b>338,342.0</b>	<b>341,190.1</b>
鋼管	450	216.0	216.0	0.0	0.0	0
	400	18.0	18.0	0.0	0.0	0
	350	393.0	393.0	393.0	393.0	0
	300	252.0	252.0	0.0	0.0	0
	250	387.9	387.9	267.9	267.9	0
	200	202.2	202.2	175.0	175.0	0
	150	995.5	995.5	927.0	927.0	0
	100	188.9	204.9	75.9	75.9	0
	75	377.0	444.0	390.0	390.0	0
	50以下	1,293.3	1,327.3	1,201.5	1,201.5	0
	小計		<b>4,323.8</b>	<b>4,440.8</b>	<b>3,430.3</b>	<b>3,430.3</b>
石綿管	小計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

口径	延長	割合
φ700	755m	0.1%
φ600	3,521m	0.4%
φ500	1,472m	0.2%
φ450	8,395m	1.0%
φ400	4,564m	0.5%
φ350	10,548m	1.2%
φ300	17,566m	2.1%
φ250	24,316m	2.9%
φ200	40,442m	4.8%
φ150	87,819m	10.3%
φ100	203,040m	23.9%
φ75	206,926m	24.4%
φ50以下	239,496m	28.2%
合計	848,860m	100.0%



管種	口径(mm)	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29	
					年度末	増減
ライニング管	450	17.0	17.0	233.0	233.0	0.0
	400	39.0	39.0	57.0	57.0	0.0
	350	13.0	16.0	16.0	16.0	0.0
	300	87.0	87.0	339.0	339.0	0.0
	250	254.5	254.5	374.5	374.5	0.0
	200	302.0	302.0	329.2	329.2	0.0
	150	302.1	342.1	410.6	410.6	0.0
	100	1,113.8	1,113.8	1,345.8	1,345.8	0.0
	75	1,985.8	2,008.8	2,058.8	2,058.8	0.0
	50以下	7,941.8	7,926.8	8,053.6	8,080.6	27.0
	小計	12,056.0	12,107.0	13,217.5	13,244.5	27.0
ビニール管	250	83.0	83.0	83.0	83.0	0.0
	200	394.5	394.5	1,581.5	1,581.5	0.0
	150	11,568.7	11,398.7	15,216.7	15,066.7	-150.0
	100	83,442.9	90,990.9	98,269.9	98,155.9	-114.0
	75	116,899.9	119,731.9	132,173.9	131,919.9	-254.0
	50	143,396.1	144,682.1	149,249.1	148,558.1	-690.9
	40以下	45,383.1	47,225.1	53,963.1	53,853.1	-110.0
	小計	401,168.2	414,506.1	450,537.1	449,218.2	-1,318.9
ポリエチレン管	300	1,314.8	1,314.8	1,314.8	1,314.8	0.0
	200	2,399.8	2,399.8	2,399.8	2,399.8	0.0
	150	959.5	959.5	1,135.5	1,135.5	0.0
	100	5,054.2	5,054.2	5,059.2	5,072.2	13.0
	75	4,075.7	4,067.7	4,067.7	4,067.7	0.0
	50	19,385.4	19,763.4	21,596.4	22,377.4	781.0
	40以下	5,328.9	5,401.8	5,408.8	5,409.8	1.0
	小計	38,518.3	38,961.2	40,982.2	41,777.2	795.0
合計		785,218.5	802,096.1	846,509.1	848,860.2	2,351.1

<管種別延長>



管種	延長	割合
鋳鉄	341,190m	40.2%
鋼	3,430m	0.4%
ライニング	13,245m	1.6%
ビニール	449,218m	52.9%
ポリエチレン	41,777m	4.9%
合計	848,860m	100.0%

## 6 施設写真

### (1) 錦見浄水場



全景



運転管理室



原水ポンプ室



急速ろ過池

### (2) 牛野谷加圧施設



牛野谷ポンプ所



牛野谷配水池



(3) 愛宕加圧設備



愛宕加圧設備

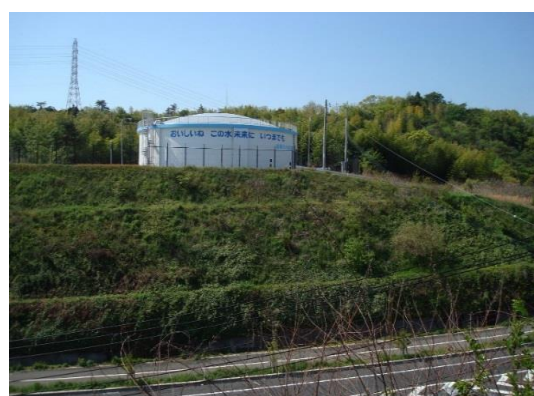


加圧ポンプ

(4) 平田加圧施設



平田ポンプ所



平田配水池

(5) 通津加圧施設



通津ポンプ所



通津配水池

(6) 高台団地施設



尾津一の谷団地ポンプ所



山手ブロック配水池

(7) 由宇地区施設



上北浄水場



拝岩配水池

(8) 玖珂地区施設



瀬田水源地



瀬田配水池

(9) 統合簡易水道施設



高森南浄水場



高森南配水池



美和東部浄水場



美和東部浄水場膜ろ過機

(10) 水管橋、橋梁添加配水管



愛宕橋水管橋



新寿橋添架配水管



### (Ⅲ) 業 務

1	給水普及状況	・・・	67
2	電気使用量	・・・	68
3	配水量	・・・	70
4	給水状況	・・・	73
5	メーター設置状況	・・・	73
6	給水収益	・・・	74
7	水道料金早見表	・・・	76
8	加入金	・・・	76
9	職員構成	・・・	77
10	建設改良工事等	・・・	78



# 1 給水普及状況

## (1) 年度別給水普及状況

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H28年度比較	
					増減	比率
行政区域内世帯数 (A)	68,325	68,193	67,935	67,751	△ 184	99.7%
行政区域内人口 (a)	145,027	143,364	141,669	140,151	△ 1,518	98.9%
給水区域内世帯数 (B)	58,572	58,916	59,876	59,760	△ 116	99.8%
給水区域内人口 (b)	125,432	124,843	125,684	124,413	△ 1,271	99.0%
現在給水世帯数 (C)	53,680	54,138	55,264	55,199	△ 65	99.9%
現在給水人口 (c)	115,055	114,646	116,010	114,926	△ 1,084	99.1%
対行政区域内 世帯数普及率% (C/A)	78.57	79.39	81.35	81.47	0.12	100.2%
対行政区域内 人口普及率% (c/a)	79.33	79.97	81.89	82.00	0.11	100.1%
対給水区域内 世帯数普及率% (C/B)	91.65	91.89	92.30	92.37	0.07	100.1%
対給水区域内 人口普及率% (c/b)	91.73	91.83	92.30	92.37	0.07	100.1%
給水戸数 (調定戸数)	56,817	57,622	59,001	58,702	△ 299	99.5%

※和木町給水区域内の数値を含む

(参考 和木町)

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H28年度比較	
					増減	比率
和木町給水区域内世帯数	1,945	1,959	1,990	1,999	9	100.5%
和木町給水区域内人口	4,418	4,443	4,516	4,489	△ 27	99.4%
和木町給水世帯数	1,945	1,959	1,990	1,999	9	100.5%
和木町給水人口	4,418	4,443	4,516	4,489	△ 27	99.4%

## 2 電気使用量

### (1) 月別電気使用量（主要施設のみ）

（単位：kWh）

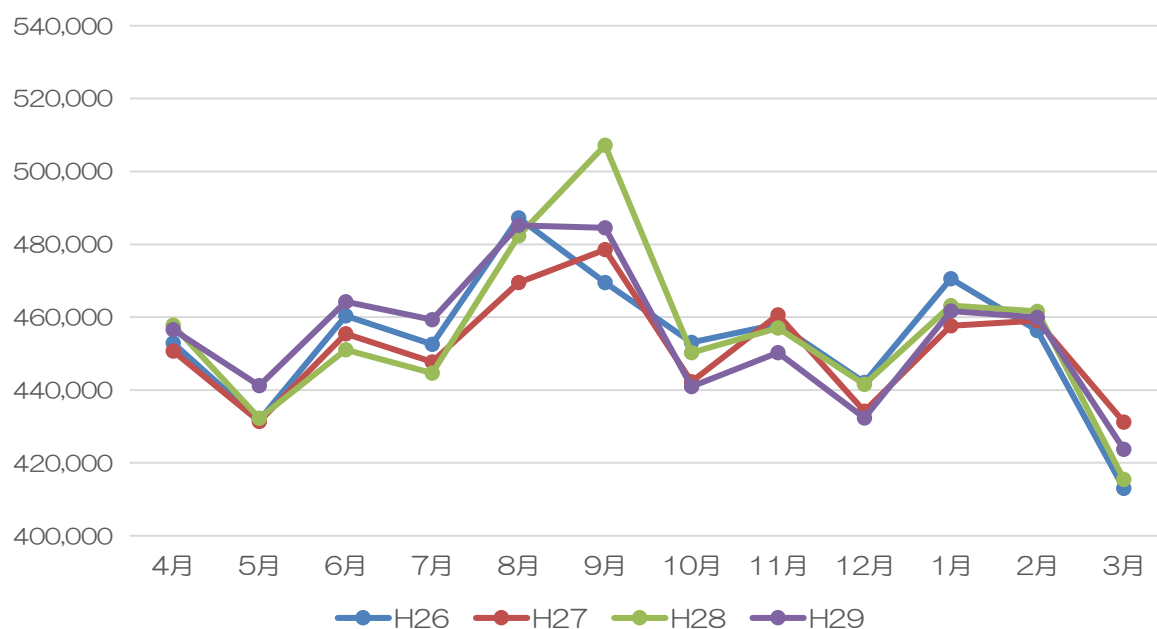
月	錦見浄水場	牛野谷ポンプ所 （錦見浄水場系）	平田ポンプ所 （錦見浄水場系）
4	283,704	76,158	20,270
5	272,700	74,568	20,112
6	286,572	78,972	20,909
7	284,688	76,602	21,314
8	300,816	79,110	23,626
9	303,216	77,802	23,926
10	278,268	73,758	21,698
11	282,216	76,368	22,778
12	271,848	72,576	21,168
1	292,848	76,326	22,178
2	293,076	75,654	21,802
3	271,116	70,206	19,846
計	3,421,068	908,100	259,627
平均	285,089	75,675	21,636

月	玖珂 瀬田水源地	由宇 上北浄水場	合計
4	31,646	44,806	456,584
5	30,458	43,416	441,254
6	32,414	45,389	464,256
7	31,762	44,957	459,323
8	31,812	49,834	485,198
9	32,738	46,846	484,528
10	27,216	40,018	440,958
11	26,556	42,394	450,312
12	26,285	40,442	432,319
1	27,785	42,547	461,684
2	28,037	41,335	459,904
3	23,479	39,103	423,750
計	350,188	521,087	5,460,070
平均	29,182	43,424	455,006



(2) 年度別電気使用量（主要施設のみ）

	H26 年 度	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H28 年 度 比 較	
					増 減	比 率
4月	452,907	450,675	457,856	456,584	△ 1,272	99.7%
5月	431,764	431,413	432,232	441,254	9,022	102.1%
6月	460,359	455,422	451,044	464,256	13,212	102.9%
7月	452,552	447,748	444,638	459,323	14,685	103.3%
8月	487,238	469,504	482,343	485,198	2,855	100.6%
9月	469,501	478,529	507,207	484,528	△ 22,679	95.5%
10月	453,041	442,295	450,228	440,958	△ 9,270	97.9%
11月	458,128	460,620	457,063	450,312	△ 6,751	98.5%
12月	442,086	434,170	441,573	432,319	△ 9,254	97.9%
1月	470,545	457,645	463,160	461,684	△ 1,476	99.7%
2月	456,366	459,025	461,620	459,904	△ 1,716	99.6%
3月	412,974	431,218	415,446	423,750	8,304	102.0%
計	5,447,461	5,418,264	5,464,410	5,460,070	△ 4,340	99.9%
平 均	453,955	451,522	455,368	455,006	△ 362	99.9%



### 3 配水量

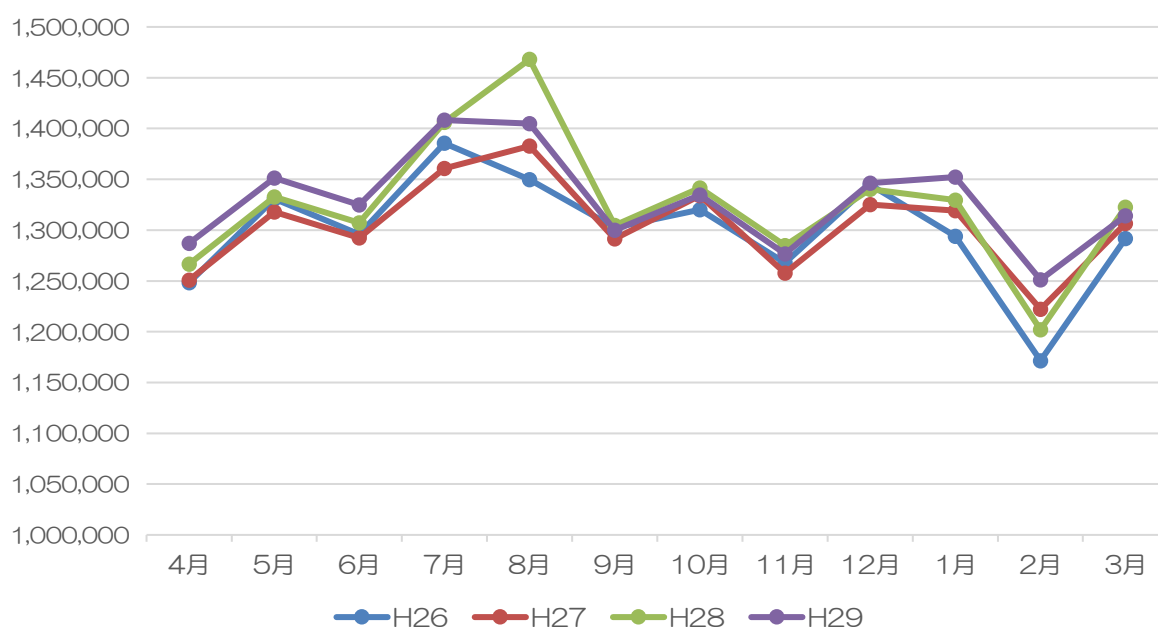
#### (1) 月別配水量

月	総配水量 ( m <sup>3</sup> )	1日最大 ( m <sup>3</sup> )	1日最小 ( m <sup>3</sup> )	1日平均 ( m <sup>3</sup> )	1人1日平均 ( L )
4月	1,287,184	46,150	40,165	42,906	373
5月	1,351,414	46,103	40,663	43,594	379
6月	1,324,912	47,018	39,418	44,164	384
7月	1,408,282	47,624	42,354	45,428	395
8月	1,404,974	48,202	42,384	45,322	394
9月	1,299,966	45,425	39,158	43,332	377
10月	1,334,739	45,810	38,828	43,056	375
11月	1,276,626	45,199	39,805	42,554	370
12月	1,346,115	45,335	40,745	43,423	378
1月	1,352,323	46,906	39,980	43,623	380
2月	1,251,095	<b>49,283</b>	42,032	44,682	389
3月	1,314,059	44,041	<b>38,500</b>	42,389	369
計	15,951,689	-	-	-	-
平均	1,329,307	-	-	43,703	380

※ 1日最大 平成30年2月8日  
1日最小 平成30年3月19日

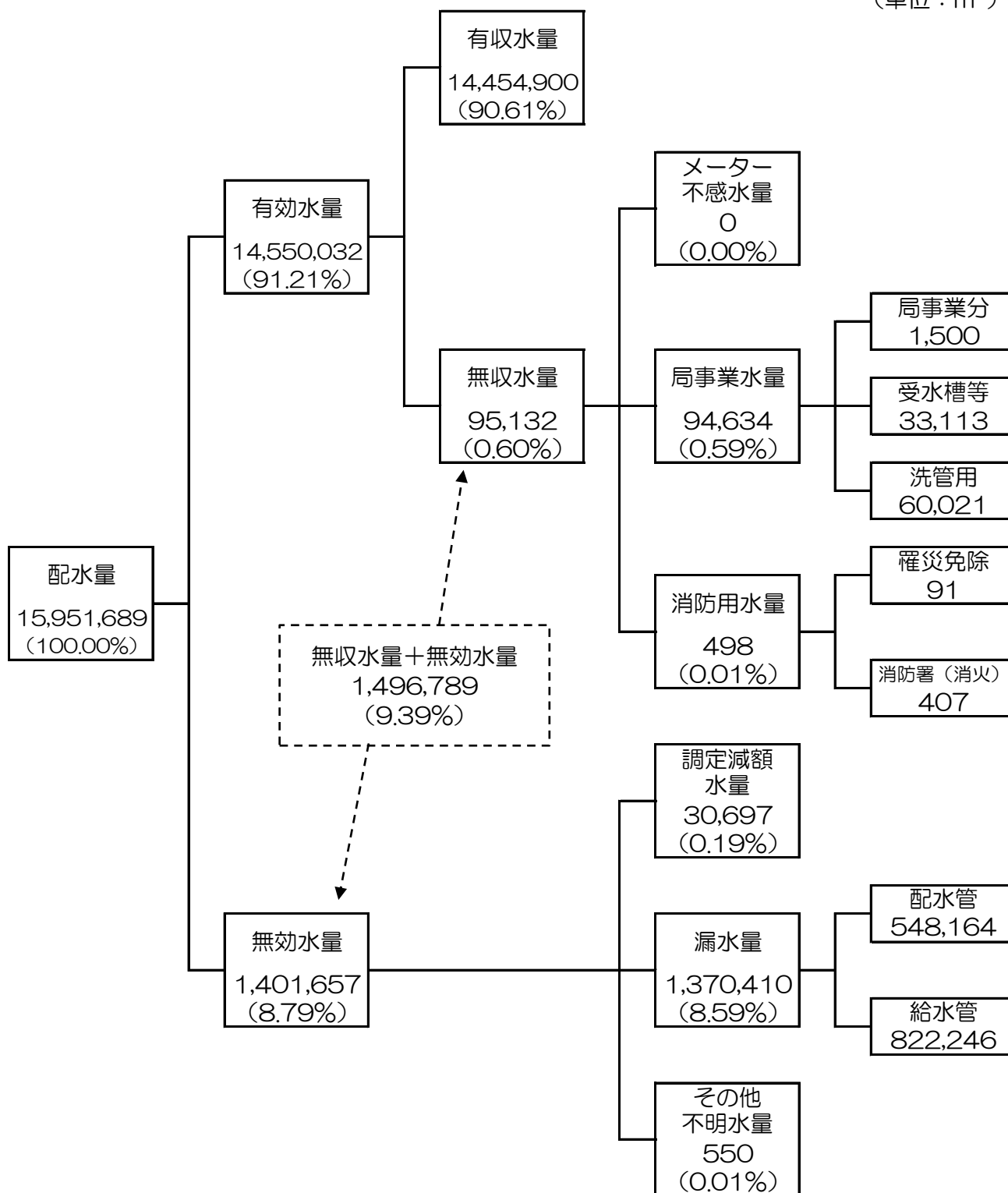
(2) 年度別配水量

	H26 年 度	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H28 年 度 比 較	
					増 減	比 率
4月	1,248,349	1,250,653	1,266,678	1,287,184	20,506	101.6%
5月	1,330,873	1,317,907	1,332,736	1,351,414	18,678	101.4%
6月	1,295,765	1,292,282	1,307,043	1,324,912	17,869	101.4%
7月	1,385,482	1,360,638	1,406,138	1,408,282	2,144	100.2%
8月	1,349,580	1,382,713	1,468,060	1,404,974	△ 63,086	95.7%
9月	1,302,530	1,291,302	1,304,727	1,299,966	△ 4,761	99.6%
10月	1,320,054	1,334,060	1,341,430	1,334,739	△ 6,691	99.5%
11月	1,267,760	1,257,814	1,284,787	1,276,626	△ 8,161	99.4%
12月	1,344,689	1,325,168	1,340,184	1,346,115	5,931	100.4%
1月	1,294,046	1,319,199	1,329,676	1,352,323	22,647	101.7%
2月	1,171,533	1,222,199	1,201,985	1,251,095	49,110	104.1%
3月	1,291,860	1,306,606	1,322,507	1,314,059	△ 8,448	99.4%
計	15,602,521	15,660,541	15,905,951	15,951,689	45,738	100.3%
平 均	1,300,210	1,305,045	1,325,496	1,329,307	3,812	100.3%



(3) 配水量分析

(単位：m<sup>3</sup>)



## 4 給水状況

### (1) 年度別・用途別給水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H28年度比較
一般用	14,286,309 (99.8%)	14,297,998 (99.8%)	14,578,224 (99.8%)	14,439,825 (99.8%)	△ 138,399 -
公衆浴場用	5,353 (0.1%)	5,133 (0.1%)	4,873 (0.1%)	4,363 (0.1%)	△ 510 -
臨時用	10,552 (0.1%)	11,009 (0.1%)	12,499 (0.1%)	10,712 (0.1%)	△ 1,787 -
計	14,302,214 (100.0%)	14,314,140 (100.0%)	14,595,596 (100.0%)	14,454,900 (100.0%)	△ 140,696 -
有収水量率	91.7%	91.4%	91.8%	90.6%	△ 1.2%
有効水量率	92.3%	92.0%	92.6%	91.2%	△ 1.4%

## 5 メーター設置状況

### (1) 年度別・口径別メーター設置数

(単位：個)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H28年度比較
13mm	26,753 (46.96%)	27,167 (46.84%)	27,888 (47.06%)	27,501 (46.40%)	△ 387 -
20mm	27,690 (48.60%)	28,272 (48.75%)	28,788 (48.58%)	29,193 (49.26%)	405 -
25mm	1,537 (2.70%)	1,557 (2.68%)	1,562 (2.64%)	1,546 (2.61%)	△ 16 -
30mm	281 (0.49%)	288 (0.50%)	297 (0.50%)	299 (0.50%)	2 -
40mm	405 (0.71%)	404 (0.70%)	417 (0.70%)	417 (0.70%)	0 -
50mm	208 (0.37%)	212 (0.37%)	217 (0.37%)	219 (0.37%)	2 -
75mm	72 (0.13%)	72 (0.12%)	70 (0.12%)	69 (0.12%)	△ 1 -
100mm	16 (0.03%)	13 (0.02%)	13 (0.02%)	14 (0.02%)	1 -
150mm	5 (0.01%)	5 (0.01%)	6 (0.01%)	6 (0.01%)	0 -
200mm	2 (0.00%)	2 (0.00%)	2 (0.00%)	2 (0.00%)	0 -
250mm	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	0 -
300mm	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	0 -
計	56,386 (100.00%)	56,971 (100.00%)	59,262 (100.00%)	59,268 (100.00%)	6 -

## 6 給水収益

### (1) 月別収納状況

月	随 時	口 座 制	納 付 制	和 木 町	合 計
3・4	718件 751,422円	18,437件 91,377,348円	5,562件 60,407,598円	1,999件 9,152,848円	26,716件 161,689,216円
4・5	605件 632,217円	22,799件 96,041,124円	5,944件 57,480,887円		29,348件 154,154,228円
5・6	559件 443,394円	18,454件 93,873,688円	5,526件 63,965,602円	2,009件 9,527,739円	26,548件 167,810,423円
6・7	492件 1,936,171円	22,763件 93,611,556円	5,916件 66,449,730円		29,171件 161,997,457円
7・8	617件 1,749,719円	18,462件 97,096,085円	5,483件 67,196,684円	2,006件 9,629,895円	26,568件 175,672,383円
8・9	475件 1,075,161円	22,781件 100,220,333円	5,847件 63,001,658円		29,103件 164,297,152円
9・10	494件 791,024円	18,442件 96,203,058円	5,478件 62,298,788円	2,008件 9,683,878円	26,422件 168,976,748円
10・11	457件 501,602円	22,751件 94,709,348円	5,838件 55,215,343円		29,046件 150,426,293円
11・12	493件 443,734円	18,417件 94,844,464円	5,455件 60,503,883円	2,014件 9,733,440円	26,379件 165,525,521円
12・1	440件 421,750円	22,718件 95,749,922円	5,820件 54,416,185円		28,978件 150,587,857円
1・2	478件 454,100円	18,377件 104,511,368円	5,480件 63,844,161円	2,021件 10,113,635円	26,356件 178,923,264円
2・3	824件 898,128円	22,665件 89,313,217円	5,851件 55,411,534円		29,340件 145,622,879円
計	6,652件 10,098,422円	247,066件 1,147,551,511円	68,200件 730,192,053円	12,057件 57,841,435円	333,975件 1,945,683,421円

年度内収納	不能欠損	年度末残高	収納率
26,698件 161,656,470円		18件 32,746円	99.93% 99.98%
29,315件 154,110,729円		33件 43,499円	99.89% 99.97%
26,523件 167,772,835円		25件 37,588円	99.91% 99.98%
29,147件 161,659,686円		24件 337,771円	99.92% 99.79%
26,526件 175,618,944円		42件 53,439円	99.84% 99.97%
29,063件 164,193,538円		40件 103,614円	99.86% 99.94%
26,347件 168,874,894円		75件 101,854円	99.72% 99.94%
28,968件 150,266,619円		78件 159,674円	99.73% 99.89%
26,084件 163,060,425円		295件 2,465,096円	98.88% 98.51%
28,006件 147,002,439円		972件 3,585,418円	96.65% 97.62%
21,613件 158,491,334円		4,743件 20,431,930円	82.00% 88.58%
450件 527,744円		28,890件 145,095,135円	1.53% 0.36%
298,740件 1,773,235,657円	0件 0円	35,235件 172,447,764円	89.45% 91.14%

## 7 水道料金早見表（2ヶ月分）

(1) メーター口径13mm ※金額は税込み

(単位：円)

水量	0m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup>	3m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup>	5m <sup>3</sup>	6m <sup>3</sup>	7m <sup>3</sup>	8m <sup>3</sup>	9m <sup>3</sup>
0m <sup>3</sup>	864	896	928	961	993	1,026	1,058	1,090	1,123	1,155
10m <sup>3</sup>	1,188	1,220	1,252	1,285	1,317	1,350	1,382	1,414	1,447	1,479
20m <sup>3</sup>	1,512	1,603	1,695	1,787	1,879	1,971	2,062	2,154	2,246	2,338
30m <sup>3</sup>	2,430	2,521	2,613	2,705	2,797	2,889	2,980	3,072	3,164	3,256
40m <sup>3</sup>	3,348	3,461	3,574	3,688	3,801	3,915	4,028	4,141	4,255	4,368
50m <sup>3</sup>	4,482	4,595	4,708	4,822	4,935	5,049	5,162	5,275	5,389	5,502
60m <sup>3</sup>	5,616	5,767	5,918	6,069	6,220	6,372	6,523	6,674	6,825	6,976
70m <sup>3</sup>	7,128	7,279	7,430	7,581	7,732	7,884	8,035	8,186	8,337	8,488
80m <sup>3</sup>	8,640	8,791	8,942	9,093	9,244	9,396	9,547	9,698	9,849	10,000
90m <sup>3</sup>	10,152	10,303	10,454	10,605	10,756	10,908	11,059	11,210	11,361	11,512
100m <sup>3</sup>	11,664	11,847	12,031	12,214	12,398	12,582	12,765	12,949	13,132	13,316

(2) メーター口径20mm ※金額は税込み

(単位：円)

水量	0m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup>	2m <sup>3</sup>	3m <sup>3</sup>	4m <sup>3</sup>	5m <sup>3</sup>	6m <sup>3</sup>	7m <sup>3</sup>	8m <sup>3</sup>	9m <sup>3</sup>
0m <sup>3</sup>	1,080	1,112	1,144	1,177	1,209	1,242	1,274	1,306	1,339	1,371
10m <sup>3</sup>	1,404	1,436	1,468	1,501	1,533	1,566	1,598	1,630	1,663	1,695
20m <sup>3</sup>	1,728	1,819	1,911	2,003	2,095	2,187	2,278	2,370	2,462	2,554
30m <sup>3</sup>	2,646	2,737	2,829	2,921	3,013	3,105	3,196	3,288	3,380	3,472
40m <sup>3</sup>	3,564	3,677	3,790	3,904	4,017	4,131	4,244	4,357	4,471	4,584
50m <sup>3</sup>	4,698	4,811	4,924	5,038	5,151	5,265	5,378	5,491	5,605	5,718
60m <sup>3</sup>	5,832	5,983	6,134	6,285	6,436	6,588	6,739	6,890	7,041	7,192
70m <sup>3</sup>	7,344	7,495	7,646	7,797	7,948	8,100	8,251	8,402	8,553	8,704
80m <sup>3</sup>	8,856	9,007	9,158	9,309	9,460	9,612	9,763	9,914	10,065	10,216
90m <sup>3</sup>	10,368	10,519	10,670	10,821	10,972	11,124	11,275	11,426	11,577	11,728
100m <sup>3</sup>	11,880	12,063	12,247	12,430	12,614	12,798	12,981	13,165	13,348	13,532

## 8 加入金

給水装置を新設し、又はメーターの口径を増径する者は、メーターの口径の区分に従い、次の表に掲げる額を加入金として納入しなければならない。この場合においてメーターの口径を増径する者が納付する加入金額は、新口径に係る加入金額と旧口径に係る加入金額との差額とする。

メーター口径	加入金額
13mm	54,000円
20mm	97,200円
25mm	183,600円
30mm	302,400円
40mm	507,600円
50mm	907,200円
75mm	1,944,000円
100mm以上	管理者が別に定める額

※金額は税込み



## 9 職員構成

### (1) 職員定数および実数

(単位：人)

	定 数	H28年度末	H29年度末	増 減
主 事	92	42	44	2
技 師		36	35	-1
小 計	92	78	79	1
臨時職員	-	2	0	-2
合 計	92	79	79	0

### (2) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年 齢	主 事	技 師	合 計
25 歳 未 満	4 (5.06%)	1 (1.26%)	5 (6.32%)
25 歳 以 上 35 歳 未 満	11 (13.93%)	6 (7.59%)	17 (21.52%)
35 歳 以 上 45 歳 未 満	11 (13.93%)	10 (12.66%)	21 (26.59%)
45 歳 以 上 55 歳 未 満	14 (17.72%)	10 (12.66%)	24 (30.38%)
55 歳 以 上	4 (5.06%)	8 (10.13%)	12 (15.19%)
計	44 (55.70%)	35 (44.30%)	79 (100.00%)
平 均 年 齢	40歳 4月	44歳 9月	42歳 4月

### (3) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年 数	主 事	技 師	合 計
5 年 未 満	4 (5.07%)	3 (3.79%)	7 (8.86%)
5 年 以 上 10 年 未 満	6 (7.59%)	1 (1.27%)	7 (8.86%)
10 年 以 上 15 年 未 満	6 (7.59%)	5 (6.33%)	11 (13.92%)
15 年 以 上 20 年 未 満	4 (5.07%)	0 (0.00%)	4 (5.07%)
20 年 以 上	24 (30.38%)	26 (32.91%)	50 (63.29%)
計	44 (55.70%)	35 (44.30%)	79 (100.00%)
平 均 勤 続 年 数	19年 8月	23年 6月	21年 4月

## 10 建設改良工事等

### (1) 高所地区配水管等改良事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (水道施設工事)	貯水池 <sup>レ</sup> 150m <sup>3</sup> 、 管工事272m、場内整備工事一式	15,584,800 (25,957,800)	H29.04.01 H30.02.28
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (建築工事)	ポンプ所建築一式 (床面積118.99m <sup>2</sup> )	5,333,976 (8,852,976)	H29.04.01 H29.09.25
(継続費) 由宇地区給水事業 導水管DIP-NSφ200布設工事	管工事127m	2,373,140 (3,937,140)	H29.04.01 H30.03.16
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (機械設備工事)	送水ポンプ2基、電動弁2基	8,920,320 (14,854,320)	H29.04.01 H30.02.28
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (電気設備工事)	高圧電源設備一式、低圧電源設備一式	9,995,800 (16,642,800)	H29.04.01 H30.02.28
由宇地区給水事業 JR推進部DIP-NSφ350連結工事	管工事49m	2,702,592	H29.06.02 H29.10.31
由宇地区給水事業 錦見浄水場遠方監視装置機能増設工事	遠方監視装置機能増設一式	621,000	H29.08.10 H30.02.28
由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所建築付帯工事	土木工事一式	317,952	H29.08.24 H29.09.25
由宇地区給水事業 送水・配水管DIP-NSφ350布設工事	管工事359m	15,795,756	H29.10.20 H30.03.16
由宇地区給水事業 送水管DIP-NSφ350布設工事	管工事129m	2,865,046	H29.11.24 H30.02.28
由宇地区給水事業 送水管布設に伴う付帯工事	鑄鉄管撤去一式、舗装工一式	131,652	H30.01.30 H30.02.28
由宇地区給水事業 電気設備工事に伴う付帯工事	接地工事一式、土木工事一式	524,124	H30.01.30 H30.02.28
由宇地区給水事業 水道施設工事に伴う付帯工事	土木工事一式	2,123,820	H30.01.30 H30.02.28

### (2) 配水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
和木町和木四丁目仕切弁他BOX 嵩上げ工事	BOX嵩上げ工事一式	118,800	H29.06.19 H29.06.26
錦見三丁目配水管DIPφ75他移設工事	管工事48m	3,931,200	H29.06.21 H29.11.17

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
玖珂町瀬田配水管DIPφ100布設工事	管工事162m	6,202,267	H29.07.12 H29.10.31
青木町二丁目配水管DIPφ100布設工事	管工事171m、消火栓1基	8,907,494	H29.07.13 H29.09.26
牛野谷町一丁目消火栓設置工事	消火栓1基	1,047,600	H29.08.09 H29.09.29
門前町三丁目配水管DIPφ250移設工事	管工事14m	14,428,800	H29.10.19 H30.02.05
車町一丁目配水支管HPPEφ50移設工事	管工事63m	3,888,000	H29.10.24 H29.12.28
旭町一丁目配水管DIPφ75移設工事	管工事115m	4,680,288	H29.11.08 H30.02.28
南岩国町一丁目配水管DIPφ100他移設工事	管工事261m、消火栓1基	15,616,800	H29.11.28 H30.03.28
平田一丁目配水管DIPφ75移設工事	管工事64m、消火栓1基	3,451,572	H29.12.06 H30.03.23
周東町上久原配水管DIPφ100他移設工事	管工事19m	1,134,000	H30.03.05 H30.03.30

### (3) 由宇地区給水事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (水道施設工事)	貯水池 <sup>1</sup> 補 <sup>2</sup> 150m <sup>3</sup> 、 管工事272m、場内整備工事一式	52,175,200 (86,902,200)	H29.04.01 H30.02.28
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (建築工事)	ポンプ所建築一式 (床面積118.99m <sup>2</sup> )	17,857,224 (29,638,224)	H29.04.01 H29.09.25
(継続費) 由宇地区給水事業 導水管DIP-NSφ200布設工事	管工事127m	7,944,860 (13,180,860)	H29.04.01 H30.03.16
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (機械設備工事)	送水ポンプ2基、電動弁2基	29,863,680 (49,729,680)	H29.04.01 H30.02.28
(継続費) 由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所築造工事 (電気設備工事)	高圧電源設備一式、低圧電源設備一式	33,464,200 (55,717,200)	H29.04.01 H30.02.28
由宇地区給水事業 JR推進部DIP-NSφ350連結工事	管工事49m	9,047,808	H29.06.02 H29.10.31

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
由宇地区給水事業 錦見浄水場遠方監視装置機能増設工事	遠方監視装置機能増設一式	2,079,000	H29.08.10 H30.02.28
由宇地区給水事業 黒磯ポンプ所建築付帯工事	土木工事一式	1,064,448	H29.08.24 H29.09.25
由宇地区給水事業 送水・配水管DIP-NSφ350布設工事	管工事359m	52,881,444	H29.10.20 H30.03.16
由宇地区給水事業 送水管DIP-NSφ350布設工事	管工事129m	9,591,674	H29.11.24 H30.02.28
由宇地区給水事業 送水管布設に伴う付帯工事	鑄鉄管撤去一式、舗装工一式	440,748	H30.01.30 H30.02.28
由宇地区給水事業 電気設備工事に伴う付帯工事	接地工事一式、土木工事一式	1,754,676	H30.01.30 H30.02.28
由宇地区給水事業 水道施設工事に伴う付帯工事	土木工事一式	7,110,180	H30.01.30 H30.02.28

#### (4) 浄水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
向峠残塩計設置工事	残留塩素計1基	1,836,000	H29.07.10 H29.11.21
美和東部膜ろ過装置整備工事	膜ろ過装置用電動バタフライ弁5基	1,209,600	H29.08.30 H29.12.21
高森南取水流量計1号・2号更新工事	電磁流量計2基	2,721,600	H29.09.06 H29.11.29
有延ポンプ所フェンス更新工事	ネットフェンス112.9m 両開き門扉2基	6,642,000	H29.12.11 H30.03.15
瀬田水源地取水ポンプ3・4号更新工事	取水ポンプ2基	2,484,000	H29.12.18 H30.03.15
高森南送水流量計更新工事	電磁流量計1基	1,047,600	H29.12.21 H30.03.15
高森南1号取水ポンプ取替工事	取水ポンプ1基	1,014,444	H29.12.22 H30.03.15
(予算繰越) 牛野谷ポンプ所1号流入弁取替工事	電動弁1基	4,147,200	H30.01.18 H30.05.31 完成予定

(5) 水道施設耐震化事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
(予算繰越) 由宇統合送水管布設工事 (平成28年度2工区)	管工事1,186m	45,326,400 (73,526,400)	H29.04.01 H29.06.29
(継続費) 牛野谷新1号配水池築造工事 (電気設備工事)	電気設備工事一式	39,240,000 (65,340,000)	H29.04.01 H30.02.27
(継続費) 牛野谷新1号配水池築造工事 (水道施設工事)	ステンレス鋼板製配水池 4,000m <sup>3</sup> 、配水池築造工事 一式、場内配管設置工事一 式、場内整備工事一式	310,922,800 (519,922,800)	H29.04.01 H30.02.27
(継続費) 金山配水池築造工事	ステンレス鋼板製配水池 78.4m <sup>3</sup> 、場 内配管設置工事一式、場内 整備工事一式	35,560,000 (58,860,000)	H29.04.01 H29.10.16
(継続費) 由宇統合配水池築造工事	ステンレス鋼板製配水 池2,000m <sup>3</sup>	186,640,000 (311,040,000)	H29.04.01 H29.09.28
(継続費) 本郷配水池築造工事(水道施設 工事)	ステンレスパネルタン ク142.5m <sup>3</sup>	26,920,000 (44,820,000)	H29.04.01 H29.06.23
(継続費) 本郷配水池築造工事(電気設備 工事)	電気設備工事一式	6,090,000 (9,990,000)	H29.04.01 H29.12.27
(継続費) 本郷配水池築造工事(場内整備 工事)	場内整備工事一式、場 内配管工事一式	8,490,976 (14,090,976)	H29.04.01 H29.12.27
由宇統合配水池場内整備工事 (機械設備工事)	次亜注入設備一式、残 留塩素計2基	17,820,000	H29.07.28 H30.02.28
由宇統合配水池場内整備工事 (電気設備工事)	計装設備一式、緊急遮 断弁一式、監視通報装 置一式	42,411,600	H29.07.28 H30.02.28
由宇統合配水池場内整備工事 (水道設備工事)	管工事681m	94,510,800	H29.08.10 H30.03.29
阿品ポンプ所送水管DIPφ75布 設工事(平成29年度)	管工事374m、空気弁 2基	13,263,350	H29.09.14 H29.12.21
秋掛浄水場更新工事(浄水設備 工事)	浄水装置整備 補機類 更新工事一式、本体補 修工事一式	10,087,200	H29.09.21 H30.01.23
秋掛浄水場更新工事(電気設備 工事)	原水濁度計1基	3,650,400	H29.12.14 H30.02.26
牛野谷新1号配水池築造付帯工 事	法面保護工事一式	8,748,000	H30.02.14 H30.03.29

## (6) 耐震管整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
車町三丁目布設替に伴う舗装工事	舗装工事一式	4,330,800	H29.05.18 H29.07.27
南岩国町四丁目配水管DIPφ100耐震化工事	管工事41m	2,974,320	H29.05.23 H29.07.27
中津町三丁目配水管DIPφ75耐震化工事	管工事124m	9,352,800	H29.07.27 H29.10.30
麻里布町六丁目配水管DIPφ300他耐震化工事	管工事226m、消火栓2基	24,397,200	H29.09.20 H29.12.25
麻里布町一丁目配水管DIPφ100耐震化工事	管工事53m	4,309,200	H29.09.21 H29.12.26
岩国一丁目配水管DIPφ100耐震化工事	管工事120m、消火栓1基	9,471,600	H29.09.22 H30.01.26
錦見系統管路耐震化事業 配水管DIPφ450耐震化工事 (平成29年度)	管工事90m	11,383,491	H29.10.26 H30.01.22
玖珂町瀬田配水管DIPφ150他耐震化工事	管工事159m、消火栓3基	14,558,400	H29.11.09 H30.03.19
錦見系統管路耐震化事業 配水管DIPφ450付帯工事	舗装工事一式	378,000	H29.12.01 H30.01.29
由宇町南四丁目配水管DIPφ75耐震化工事	管工事58m	3,508,920	H29.12.20 H30.02.27
昭和町一丁目配水管DIPφ200他耐震化工事	管工事368m、消火栓2基	24,872,400	H29.12.22 H30.03.16
川西一丁目配水管DIPφ75他耐震化工事	管工事205m、消火栓1基	15,541,200	H30.01.09 H30.03.30
車町二丁目配水管DIPφ100耐震化工事	管工事126m、消火栓1基	9,492,940	H30.01.19 H30.03.28
玖珂町久門給配水支管HPPEφ50耐震化工事	管工事286m	12,052,800	H30.02.13 H30.03.27

## (7) 庁舎建設事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
(予算繰越) 庁舎建設に伴う造成工事	土木工事一式、法面工事一式、擁壁工事一式	142,931,200 (209,131,200)	H29.04.01 H29.10.31

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
(継続費) 山手庁舎建設工事 (機械設備工事)	機械設備工事一式	30,700,000 (76,773,874)	H29.12.15 H31.03.29 完成予定
(継続費) 山手庁舎建設工事 (電気設備工事)	電気設備工事一式	39,900,000 (99,900,000)	H29.12.15 H31.03.29 完成予定
(継続費) 山手庁舎建設工事 (建築工事)	建築工事一式、電気設備工事一式、機械設備工事一式	259,100,000 (647,784,000)	H29.12.18 H31.03.29 完成予定

(8) 保存工事概況

工 事 名	工 事 内 容	工事請負費 (円)
原水及び浄水関係	錦見水質検査機器用無停電電源装置整備工事 ほか2件	5,270,400
配水関係	周東町上久原配水管DIPφ100移設工事 ほか1件	248,400
給水関係	中洋小学校水飲み場設置工事ほか2件	8,547,120
路面復旧関係	アスファルト舗装補修工事 ほか15件	4,110,372
総係関係	山手庁舎東館照明器具修繕工事ほか7件	223,928





## (IV) 財 政

1	平成29年度財政概況	・ ・ ・	85
2	決算報告書	・ ・ ・	86
3	年度別収益費用明細書比較	・ ・ ・	100
4	年度別貸借対照表比較	・ ・ ・	102
5	経営分析	・ ・ ・	106



## 1 平成29年度財政概況

収益的収支では、収入額2,167,640,576円に対し、支出額1,911,726,648円で、差引き255,913,928円の純利益となりました。

資本的収支では、収入額1,602,010,555円に対し、支出額2,403,830,404円で、差引き801,819,849円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額119,850,555円、減債積立金100,000,000円、建設改良積立金150,384,227円及び過年度分損益勘定留保資金431,585,067円で補填しました。

また、当年度未処分利益剰余金は667,754,545円となりましたが、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、減債積立金に50,000,000円、建設改良積立金に200,000,000円を積み立て、資本金に250,384,227円を組み入れる予定のため、翌年度繰越利益剰余金は167,370,318円となります。

## 2 決算報告書

### (1) 収入及び支出

#### 収益的収入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財 源 充 当 額
第1款 水道事業収益	2,357,124,000	17,946,000	-
第1項 営業収益	1,991,765,000	-	-
第2項 営業外収益	365,258,000	17,946,000	-
第3項 特別利益	101,000	-	-

#### 収益的支出

区 分	予 算 額					小 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	
第1款 水道事業費用	2,050,217,000	△ 23,147,000	-	-	-	2,027,070,000
第1項 営業費用	1,950,810,000	△ 19,998,000	-	-	-	1,930,812,000
第2項 営業外費用	79,207,000	△ 3,149,000	-	-	-	76,058,000
第3項 特別損失	200,000	-	-	-	-	200,000
第4項 予備費	20,000,000	-	-	-	-	20,000,000

#### 資本的収入

区 分	予 算 額				地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財 源 充 当 額	継続費逐次繰越額に係る財 源 充 当 額	合 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	小 計			
第1款 資本的収入	1,944,479,000	△ 81,642,000	1,862,837,000	63,484,000	-	1,926,321,000	
第1項 固定資産売却代金	10,000	-	10,000	-	-	10,000	
第2項 企業債	906,100,000	△ 25,200,000	880,900,000	31,700,000	-	912,600,000	
第3項 国庫補助金	587,639,000	△ 32,437,000	555,202,000	10,584,000	-	565,786,000	
第4項 工事負担金	53,436,000	△ 24,005,000	29,431,000	-	-	29,431,000	
第5項 出資金	397,294,000	-	397,294,000	21,200,000	-	418,494,000	

#### 資本的支出

区 分	予 算 額					地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逐次繰越額	合 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流用 増 減 額	小 計	小 計			
第1款 資本的支出	2,759,359,000	△ 94,036,000	-	2,665,323,000	227,656,360	-	2,892,979,360	
第1項 建設改良費	2,476,938,000	△ 84,008,000	-	2,392,930,000	227,656,360	-	2,620,586,360	
第2項 企業債償還金	281,421,000	△ 10,028,000	-	271,393,000	-	-	271,393,000	
第3項 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000	-	-	1,000,000	

(単位：円)

合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
2,375,070,000	2,329,832,415	△ 45,237,585	
1,991,765,000	1,962,401,625	△ 29,363,375	うち、仮受消費税120,614,810円
383,204,000	367,427,267	△ 15,776,733	うち、仮受消費税4,888,403円
101,000	3,523	△ 97,477	うち、仮受消費税261円

地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越 額	合 計	決 算 額	地方公営企 業法26条第 2項の規定に よる繰越額	不 用 額	備 考
-	2,027,070,000	1,952,381,287	-	74,688,713	
-	1,930,812,000	1,876,778,331	-	54,033,669	うち、仮払消費税43,285,430円
-	76,058,000	75,446,414	-	611,586	
-	200,000	156,542	-	43,458	うち、仮払消費税7,358円
-	20,000,000	0	-	20,000,000	

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
1,602,010,555	△ 324,310,445	
5,477	△ 4,523	うち、仮受消費税405円
793,200,000	△ 119,400,000	
413,079,000	△ 152,707,000	
26,831,568	△ 2,599,432	うち、仮受消費税4,488円
368,894,510	△ 49,599,490	

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企 業法26条の 規定による繰 越額	継続費 遞次繰 越額	合計		
2,403,830,404	43,101,640	63,544,000	106,645,640	382,503,316	
2,132,438,218	43,101,640	63,544,000	106,645,640	381,502,502	うち、仮払消費税150,093,355円
271,392,186	-	-	-	814	
0	-	-	-	1,000,000	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額801,819,849円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額119,850,555円、減債積立金100,000,000円、建設改良積立金150,384,227円及び過年度分損益勘定留保資金431,585,067円で補てんした。

(2) 損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

		(単位：円)	
1営業収益			
(1)給水収益	1,826,085,515		
(2)その他営業収益	<u>15,701,300</u>	1,841,786,815	
2営業費用			
(1)原水及び浄水費	453,503,165		
(2)配水費	108,750,084		
(3)給水費	242,511,996		
(4)業務費	135,269,043		
(5)総係費	328,819,989		
(6)減価償却費	551,134,347		
(7)資産減耗費	<u>13,504,277</u>	<u>1,833,492,901</u>	
営業利益			8,293,914
3営業外収益			
(1)受取利息及び配当金	493,518		
(2)他会計補助金	18,783,045		
(3)長期前受金戻入	133,381,813		
(4)雑収益	<u>173,192,123</u>	325,850,499	
4営業外費用			
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	75,128,037		
(2)雑支出	<u>2,956,526</u>	<u>78,084,563</u>	<u>247,765,936</u>
経常利益			256,059,850
5特別利益			
(1)固定資産売却益	<u>3,262</u>	3,262	
6特別損失			
(1)過年度損益修正損	<u>149,184</u>	<u>149,184</u>	<u>△ 145,922</u>
当年度純利益			255,913,928
前年度繰越利益剰余金			161,456,390
その他未処分利益剰余金変動額			250,384,227
当年度未処分利益剰余金			<u><u>667,754,545</u></u>

## (3) 剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	8,265,367,672	274,447,881	667,754,545
議会の議決による処分数額	250,384,227	0	△ 500,384,227
減債積立金の積立	0	0	△ 50,000,000
建設改良積立金の積立	0	0	△ 200,000,000
資本金への組入れ	250,384,227	0	△ 250,384,227
処分後残高	8,515,751,899	274,447,881	(繰越利益剰余金) 167,370,318

(4) 剰余金計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

	資 本 金	剰 余 金		
		工 事 負 担 金	受 贈 財 産 額	国 庫 補 助 金
前 年 度 末 残 高	7,727,570,305	6,189,175	149,013,199	104,711,395
前 年 度 処 分 額	168,902,857	0	0	0
議 会 の 議 決 に よ る 処 分 額	168,902,857	0	0	0
減 債 積 立 金 の 積 立	0	0	0	0
建 設 改 良 積 立 金 の 積 立	0	0	0	0
資 本 金 へ の 組 入 れ	168,902,857	0	0	0
処 分 後 残 高	7,896,473,162	6,189,175	149,013,199	104,711,395
当 年 度 変 動 額	368,894,510	0	13,281	0
一 般 会 計 出 資 の 受 入 れ	368,894,510	0	0	0
減 債 積 立 金 の 使 用	0	0	0	0
建 設 改 良 積 立 金 の 使 用	0	0	0	0
資 本 剰 余 金 の 受 入 れ	0	0	13,281	0
当 年 度 純 利 益	0	0	0	0
当 年 度 末 残 高	8,265,367,672	6,189,175	149,026,480	104,711,395



(単位：円)

余 金		利 益 剰 余 金				資 合	本 計
その他資本剰余金	資本剰余金合計	減積立債金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計		
14,520,831	274,434,600	0	534,601,422	730,359,247	1,264,960,669	9,266,965,574	
0	0	100,000,000	300,000,000	△ 568,902,857	△ 168,902,857	0	
0	0	100,000,000	300,000,000	△ 568,902,857	△ 168,902,857	0	
0	0	100,000,000	0	△ 100,000,000	0	0	
0	0	0	300,000,000	△ 300,000,000	0	0	
0	0	0	0	△ 168,902,857	△ 168,902,857	0	
14,520,831	274,434,600	100,000,000	834,601,422	161,456,390 (※1)	1,096,057,812	9,266,965,574	
0	13,281	△ 100,000,000	△ 150,384,227	506,298,155	255,913,928	624,821,719	
0	0	0	0	0	0	368,894,510	
0	0	△ 100,000,000	0	100,000,000	0	0	
0	0	0	△ 150,384,227	150,384,227	0	0	
0	13,281	0	0	0	0	13,281	
0	0	0	0	255,913,928	255,913,928	255,913,928	
14,520,831	274,447,881	0	684,217,195	667,754,545 (※2)	1,351,971,740	9,891,787,293	

※1 繰越利益剰余金

※2 当年度未処分利益剰余金

(5) 貸借対照表 (平成30年3月31日)

資産の部

(単位：円)

1 固定資産

(1)有形固定資産

ア 土地		1,003,903,881	
イ 建物	599,251,068		
減価償却累計額	<u>△ 356,693,323</u>	242,557,745	
ウ 建物附属設備	110,278,829		
減価償却累計額	<u>△ 98,915,947</u>	11,362,882	
エ 構築物	20,326,812,830		
減価償却累計額	<u>△ 8,505,564,217</u>	11,821,248,613	
オ 機械及び装置	4,964,155,795		
減価償却累計額	<u>△ 3,399,052,734</u>	1,565,103,061	
カ 車両運搬具	45,937,485		
減価償却累計額	<u>△ 40,229,455</u>	5,708,030	
キ 工具、器具及び備品	146,338,620		
減価償却累計額	<u>△ 130,307,913</u>	16,030,707	
ク その他有形固定資産		8,019,278	
ケ 建設仮勘定		3,432,254,694	
有形固定資産合計			18,106,188,891

(2)無形固定資産

ア 電話加入権		4,276,244	
イ 商標権		68,670	
無形固定資産合計			<u>4,344,914</u>
固定資産合計			18,110,533,805

2 流動資産

(1)現金・預金

1,321,806,845

(2)未収金

1,120,122,565

貸倒引当金

△ 412,893

1,119,709,672

(3)貯蔵品

6,003,925

(4)前払金

316,000

(5)前払費用

873,913

(6)その他流動資産

200,000

流動資産合計

2,448,910,355

資産合計

20,559,444,160

負債の部			
3	固定負債		
	(1)企業債	5,176,360,161	
	(2)引当金		
	ア 修繕引当金	87,621,200	
	イ 退職給付引当金	300,663,332	388,284,532
	固定負債合計		5,564,644,693
4	流動負債		
	(1)企業債	296,336,172	
	(2)未払金	391,881,887	
	(3)未払費用	21,927,653	
	(4)前受金	160,668	
	(5)引当金		
	ア 賞与等引当金	48,753,000	48,753,000
	(6)その他流動負債	4,700,811	4,700,811
	流動負債合計		763,760,191
5	繰延収益		
	(1)長期前受金	4,108,600,982	
	長期前受金収益化累計額	△ 493,072,529	3,615,528,453
	(2)建設仮勘定長期前受金		723,723,530
	繰延収益合計		4,339,251,983
	負債合計		10,667,656,867
資本の部			
6	資本金		
	(1)資本金		8,265,367,672
7	剰余金		
	(1)資本剰余金		
	ア 工事負担金	6,189,175	
	イ 受贈財産評価額	149,026,480	
	ウ 国庫補助金	104,711,395	
	エ その他資本剰余金	14,520,831	
	資本剰余金合計		274,447,881
	(2)利益剰余金		
	ア 建設改良積立金	684,217,195	
	イ 当年度未処分利益剰余金	667,754,545	1,351,971,740
	利益剰余金合計		1,351,971,740
	剰余金合計		1,626,419,621
	資本合計		9,891,787,293
	負債資本合計		20,559,444,160

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	979,925,046	23,978,835	0	1,003,903,881
建物	599,251,068	0	0	599,251,068
建物附属設備	110,278,829	0	0	110,278,829
構築物	19,120,607,159	1,231,743,385	25,537,714	20,326,812,830
機械及び装置	4,814,228,542	153,547,192	3,619,939	4,964,155,795
車両運搬具	45,382,020	1,664,415	1,108,950	45,937,485
工具、器具及び備品	150,414,205	3,580,720	7,656,305	146,338,620
その他有形固定資産	8,019,278	0	0	8,019,278
建設仮勘定	2,864,413,637	1,980,726,824	1,412,885,767	3,432,254,694
計	28,692,519,784	3,395,241,371	1,450,808,675	30,636,952,480

無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
電話加入権	4,276,244	0	0
商標権	78,480	0	0
計	4,354,724	0	0

(単位：円)

減価償却累計額			年度末償却 未済高	備考
当年度増加額	当年度減少額	累計		
-	-	-	1,003,903,881	
12,418,586	0	356,693,323	242,557,745	
3,154,598	0	98,915,947	11,362,882	
374,702,009	13,718,098	8,505,564,217	11,821,248,613	
156,410,713	2,432,216	3,399,052,734	1,565,103,061	
2,203,399	1,053,503	40,229,455	5,708,030	
2,235,232	7,312,262	130,307,913	16,030,707	
-	-	-	8,019,278	
-	-	-	3,432,254,694	
551,124,537	24,516,079	12,530,763,589	18,106,188,891	

(単位：円)

当年度減価償却高	年度末現在高	備考
-	4,276,244	
9,810	68,670	
9,810	4,344,914	

(7) 企業債明細書

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高残	発 行 価 値	利 率	償 還 期	備 考
			当 年 度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
旧玖珂町 水源池改良事業	4.3.25	90,000,000	5,153,080	66,349,808	23,650,192	-	5.50	34.3.25	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	5.3.25	5,400,000	278,987	3,807,491	1,592,509	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	5.3.30	2,100,000	124,838	1,690,357	409,643	-	4.50	33.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	5.3.30	300,000	17,781	241,711	58,289	-	4.45	33.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	7,200,000	345,916	4,839,890	2,360,110	-	3.65	36.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	2,900,000	158,255	2,205,634	694,366	-	3.70	34.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	2,000,000	109,431	1,519,257	480,743	-	3.75	34.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	8,100,000	386,154	4,837,531	3,262,469	-	4.65	37.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	3,200,000	175,749	2,186,125	1,013,875	-	4.75	35.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	3,200,000	175,408	2,189,623	1,010,377	-	4.70	35.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	2,700,000	134,821	1,793,080	906,920	-	3.25	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	2,700,000	134,821	1,793,080	906,920	-	3.25	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	200,000	9,969	133,059	66,941	-	3.20	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	8.3.25	4,200,000	186,688	2,456,623	1,743,377	-	3.40	38.3.1	財務省理財局
旧由宇町 配水管整備事業	8.3.25	4,000,000	177,799	2,339,642	1,660,358	-	3.40	38.3.1	財務省理財局
旧由宇町 老朽管更新事業	9.3.25	7,100,000	302,587	3,962,443	3,137,557	-	2.80	39.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	9.3.26	2,000,000	95,683	1,248,738	751,262	-	2.85	37.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	9.3.26	2,700,000	129,349	1,682,359	1,017,641	-	2.90	37.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	10.3.25	5,700,000	235,052	3,058,537	2,641,463	-	2.10	40.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	10.3.25	2,800,000	128,639	1,662,980	1,137,020	-	2.20	38.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	10.3.25	600,000	27,537	357,153	242,847	-	2.15	38.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	11.3.24	2,600,000	116,742	1,431,937	1,168,063	-	2.10	39.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	11.3.24	700,000	31,430	385,522	314,478	-	2.10	39.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	11.4.30	5,100,000	205,973	2,541,893	2,558,107	-	2.00	41.3.25	財務省理財局
旧由宇町 安全対策事業	12.3.22	2,600,000	114,317	1,322,518	1,277,482	-	2.00	40.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	12.3.22	1,800,000	79,142	915,588	884,412	-	2.00	40.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	12.3.24	6,700,000	265,260	3,068,756	3,631,244	-	2.00	42.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	13.3.22	3,900,000	168,501	1,845,398	2,054,602	-	1.70	41.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	13.3.26	4,900,000	191,633	2,109,811	2,790,189	-	1.60	43.3.1	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	14.3.22	100,400,000	4,226,094	41,769,508	58,630,492	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	14.3.22	11,000,000	463,018	4,576,340	6,423,660	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	14.3.25	78,300,000	2,591,980	35,374,551	42,925,449	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	14.3.25	33,100,000	1,251,674	12,371,186	20,728,814	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	14.3.25	123,600,000	4,673,924	46,195,727	77,404,273	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
旧由宇町 老朽管更新事業	14.3.25	13,600,000	514,283	5,083,026	8,516,974	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	14.3.28	63,700,000	2,314,325	31,806,181	31,893,819	-	2.10	42.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	14.3.28	26,900,000	1,132,290	11,191,233	15,708,767	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	15.3.25	166,300,000	5,480,837	75,708,822	90,591,178	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	15.3.25	31,900,000	1,226,444	11,628,464	20,271,536	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	15.3.25	156,700,000	5,602,067	76,864,716	79,835,284	-	1.30	43.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	15.3.25	30,100,000	1,268,890	11,952,352	18,147,648	-	1.35	43.3.20	地方公共団体金融機構
旧玖珂町 施設整備事業	15.3.25	191,000,000	8,051,759	75,843,829	115,156,171	-	1.35	43.3.20	地方公共団体金融機構
旧玖珂町 施設整備事業	15.5.26	236,900,000	9,204,819	88,432,163	148,467,837	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	15.5.29	32,100,000	1,368,382	13,146,260	18,953,740	-	0.90	43.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	16.3.23	108,000,000	3,776,630	46,893,360	61,106,640	-	1.90	44.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	16.3.23	123,500,000	5,033,729	42,053,230	81,446,770	-	1.90	44.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	16.3.25	108,000,000	3,452,882	42,873,466	65,126,534	-	1.90	46.3.1	財務省理財局

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高	発 行 額	利 率	償 還 期	備 考
			当 年 度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
通津地区給水区域拡大事業	16.3.25	122,000,000	4,460,526	37,121,951	84,878,049	-	2.00	46.3.1	財務省理財局
浄水処理施設整備事業	17.3.23	109,100,000	7,290,889	86,539,562	22,560,438	-	1.55	33.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	17.3.23	28,500,000	1,128,924	8,404,232	20,095,768	-	2.10	45.3.20	地方公共団体金融機構
浄水処理施設整備事業	17.3.25	106,900,000	7,129,076	84,862,262	22,037,738	-	1.50	33.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	17.3.25	28,000,000	997,558	7,426,280	20,573,720	-	2.10	47.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	18.3.17	10,900,000	333,912	3,600,000	7,300,000	-	2.00	48.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	18.3.30	9,100,000	305,267	3,291,169	5,808,831	-	2.00	46.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良事業	19.3.26	12,700,000	379,122	3,764,921	8,935,079	-	2.10	49.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.3.29	22,800,000	746,203	7,410,259	15,389,741	-	2.10	47.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.8.20	32,700,000	970,300	9,590,165	23,109,835	-	2.20	49.3.25	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.8.31	13,800,000	449,470	4,442,436	9,357,564	-	2.20	47.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	20.3.25	48,000,000	3,057,116	28,733,948	19,266,052	-	1.40	36.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	20.3.25	10,700,000	314,995	2,884,833	7,815,167	-	2.00	50.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	20.3.28	8,700,000	279,656	2,555,691	6,144,309	-	2.05	48.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	20.3.28	38,800,000	2,479,807	23,006,368	15,793,632	-	1.70	36.3.20	地方公共団体金融機構
水質監視機器整備事業	21.3.25	8,300,000	859,137	7,432,250	867,750	-	1.00	31.3.1	財務省理財局
水質監視機器整備事業	21.3.25	6,700,000	693,520	5,999,527	700,473	-	1.00	31.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	21.3.25	83,100,000	8,601,719	74,412,050	8,687,950	-	1.00	31.3.1	財務省理財局
第三次浄水施設整備事業	21.3.25	66,900,000	6,924,849	59,905,730	6,994,270	-	1.00	31.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	21.3.25	14,400,000	418,848	3,499,183	10,900,817	-	1.90	51.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	21.3.25	11,600,000	371,498	3,115,553	8,484,447	-	1.80	49.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	22.3.25	19,100,000	1,485,425	11,400,351	7,699,649	-	1.20	35.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	22.3.25	12,900,000	1,003,245	7,699,713	5,200,287	-	1.20	35.3.20	地方公共団体金融機構
配水施設整備事業	22.3.25	28,000,000	792,123	5,916,765	22,083,235	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
配水施設整備事業	22.3.25	19,000,000	537,512	4,014,949	14,985,051	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	22.3.25	7,200,000	203,689	1,521,453	5,678,547	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	22.3.25	4,800,000	135,792	1,014,302	3,785,698	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
藤河・御庄地区給水事業	22.3.25	16,700,000	472,445	3,528,927	13,171,073	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
藤河・御庄地区給水事業	22.3.25	11,300,000	319,678	2,387,836	8,912,164	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
配水施設整備事業	23.3.25	65,000,000	1,820,466	12,049,066	52,950,934	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	23.3.25	52,000,000	1,456,373	9,639,253	42,360,747	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
藤河・御庄地区給水事業	23.3.25	115,000,000	3,220,826	21,317,579	93,682,421	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	12,852,428	543,760	3,641,066	9,211,362	-	1.50	45.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	1,200,000	38,936	114,520	1,085,480	-	2.00	52.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	10,560,132	390,670	2,578,243	7,981,889	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	10,061,332	847,295	5,224,820	4,836,512	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	62,705,992	5,646,911	30,472,404	32,233,588	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	81,272,412	6,559,187	35,477,673	45,794,739	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	16,668,305	859,126	4,907,408	11,760,897	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
上水道事業	25.3.25	411,000,000	11,613,082	56,368,210	354,631,790	-	1.50	55.3.1	財務省理財局
上水道事業	25.3.25	361,000,000	10,200,298	49,510,763	311,489,237	-	1.50	55.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	13,771,798	3,021,648	13,771,798	0	-	4.80	30.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	16,800,000	1,866,000	9,330,000	7,470,000	-	0.652	34.3.31	（株）山口銀行
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	18,678,281	1,813,418	8,326,964	10,351,317	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	25,856,085	2,232,391	10,270,047	15,586,038	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	50,430,329	3,934,703	18,255,362	32,174,967	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	22,804,807	1,626,856	7,612,529	15,192,278	-	3.40	38.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	11,162,798	743,439	3,532,382	7,630,416	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	33,143,678	1,946,381	9,410,631	23,733,047	-	1.70	41.3.25	財務省理財局

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高 残 高	発 行 額	利 率	償 還 期	備 考
			当 年 度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	49,429,129	2,672,398	12,845,693	36,583,436	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	68,907,970	2,503,745	11,942,222	56,965,748	-	2.40	48.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	36,433,539	1,251,124	6,002,257	30,431,282	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	37,000,000	1,225,259	5,317,593	31,682,407	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	36,840,000	6,140,000	30,700,000	6,140,000	-	1.47	31.3.25	㈱山口銀行
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	4,082,236	255,431	1,227,809	2,854,427	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	101,768,968	5,976,440	28,895,713	72,873,255	-	1.70	41.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	51,772,436	2,799,089	13,454,676	38,317,760	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	16,191,721	641,559	3,083,847	13,107,874	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
上水道事業	26.3.25	351,000,000	10,017,074	39,301,135	311,698,865	-	1.30	56.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	22,033,518	1,084,836	4,206,622	17,826,896	-	2.10	44.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	2,730,213	135,993	536,723	2,193,490	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	10,202,094	853,141	3,225,768	6,976,326	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	17,410,359	1,324,599	5,040,691	12,369,668	-	3.40	38.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	23,023,197	1,631,319	6,279,883	16,743,314	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	10,298,289	683,897	2,655,793	7,642,496	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	2,670,044	94,680	367,136	2,302,908	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	8,700,000	0	0	8,700,000	-	1.40	55.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	886,221	29,804	115,570	770,651	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.7.18	22,700,000	0	0	22,700,000	-	1.40	56.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	19,199,002	2,237,066	6,429,429	12,769,573	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	2,000,000	0	0	2,000,000	-	1.40	55.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	10,900,000	0	0	10,900,000	-	1.40	56.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	15,789,498	1,601,604	4,607,462	11,182,036	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	21,461,916	1,939,380	5,603,162	15,858,754	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	2,152,491	112,681	335,029	1,817,462	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
上水道事業	28.3.25	291,400,000	9,071,611	18,098,032	273,301,968	-	0.50	58.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	7,798,572	637,233	1,258,217	6,540,355	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	1,896,917	144,195	285,549	1,611,368	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	18,319,093	1,292,203	2,562,716	15,756,377	-	1.70	41.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	86,418,777	5,515,036	10,921,405	75,497,372	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	102,387,526	5,810,118	11,505,754	90,881,772	-	2.00	43.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	13,668,619	738,174	1,467,569	12,201,050	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	11,107,607	555,122	1,100,386	10,007,221	-	1.80	45.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	9,612,857	439,214	869,349	8,743,508	-	2.10	46.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	15,422,586	688,152	1,362,746	14,059,840	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	9,375,825	379,149	749,360	8,626,465	-	2.40	48.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	8,982,903	341,523	675,986	8,306,917	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	10,693,192	384,135	760,329	9,932,863	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
上水道事業	28.7.26	381,300,000	9,357,190	18,705,030	362,594,970	-	0.10	68.3.25	財務省理財局
上水道事業	29.9.25	553,600,000	6,008,376	6,008,376	547,591,624	-	0.70	69.9.1	財務省理財局
上水道事業	30.3.26	761,500,000	0	0	761,500,000	-	0.70	70.3.1	財務省理財局
合 計		7,356,235,692	271,392,186	1,883,539,359	5,472,696,333				





### 3 年度別収益費用明細書比較

科目	年度		年度	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
水道事業収益	2,117,758,964	100.00	2,130,017,924	100.00
営業収益	1,817,078,165	85.80	1,808,555,595	84.91
給水収益	1,800,987,465	85.04	1,792,500,195	84.15
受託工事収益	0	0.00	0	0.00
その他営業収益	16,090,700	0.76	16,055,400	0.75
営業外収益	300,676,934	14.20	321,461,933	15.09
受取利息及び配当金	725,531	0.03	1,040,416	0.05
他会計補助金	20,975,733	0.99	21,053,832	0.99
長期前受金戻入	130,537,230	6.16	124,518,661	5.85
雑収益	148,438,440	7.01	174,849,024	8.21
特別利益	3,865	0.00	396	0.00
固定資産売却益	0	0.00	0	0.00
過年度損益修正益	3,865	0.00	396	0.00
水道事業費用	1,917,161,667	100.00	1,873,901,538	100.00
営業費用	1,794,969,827	93.63	1,792,960,317	95.68
原水及び浄水費	399,153,313	20.82	442,824,569	23.63
配水費	111,706,943	5.83	134,952,091	7.20
給水費	224,440,704	11.71	224,919,874	12.00
受託工事費	0	0.00	0	0.00
業務費	144,329,459	7.53	144,407,209	7.71
総係費	370,750,386	19.34	299,272,363	15.97
減価償却費	531,604,716	27.73	539,436,255	28.79
資産減耗費	12,984,306	0.68	7,147,956	0.38
営業外費用	77,964,096	4.07	80,791,013	4.31
支払利息及び企業債取扱諸費	75,762,940	3.95	77,090,840	4.11
雑支出	2,201,156	0.11	3,700,173	0.20
特別損失	44,227,744	2.31	150,208	0.01
固定資産売却損	0	0.00	91,630	0.00
過年度損益修正損	44,227,744	2.31	58,578	0.00
当年度純利益	200,597,297	-	256,116,386	-

平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
2,252,368,275	100.00	2,167,640,576	100.00	100.6	106.4	102.4	
1,853,963,660	82.31	1,841,786,815	84.97	99.5	102.0	101.4	
1,838,346,260	81.62	1,826,085,515	84.24	99.5	102.1	101.4	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
15,617,400	0.69	15,701,300	0.72	99.8	97.1	97.6	
397,952,243	17.67	325,850,499	15.03	106.9	132.4	108.4	
781,121	0.03	493,518	0.02	143.4	107.7	68.0	
22,250,330	0.99	18,783,045	0.87	100.4	106.1	89.5	
126,418,917	5.61	133,381,813	6.15	-	-	-	
248,501,875	11.03	173,192,123	7.99	117.8	167.4	116.7	
452,372	0.02	3,262	0.00	10.2	11,704.3	84.4	
1,397	0.00	3,262	0.00	-	-	-	
450,975	0.02	0	0.00	10.2	11,668.2	0.0	
1,874,570,267	100.00	1,911,726,648	100.00	97.7	97.8	99.7	
1,792,841,919	95.64	1,833,492,901	95.91	99.9	99.9	102.1	
426,963,825	22.78	453,503,165	23.72	110.9	107.0	113.6	
107,075,759	5.71	108,750,084	5.69	120.8	95.9	97.4	
242,688,074	12.95	242,511,996	12.69	100.2	108.1	108.1	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
144,961,495	7.73	135,269,043	7.08	100.1	100.4	93.7	
313,410,612	16.72	328,819,989	17.20	80.7	84.5	88.7	
549,398,540	29.31	551,134,347	28.83	101.5	103.3	103.7	
8,343,614	0.45	13,504,277	0.71	55.1	64.3	104.0	
81,480,763	4.35	78,084,563	4.08	103.6	104.5	100.2	
77,157,626	4.12	75,128,037	3.93	101.8	101.8	99.2	
4,323,137	0.23	2,956,526	0.15	168.1	196.4	134.3	
247,585	0.01	149,184	0.01	0.3	0.6	0.3	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
247,585	0.01	149,184	0.01	0.1	0.6	0.3	
377,798,008	-	255,913,928	-	127.7	188.3	127.6	

#### 4 年度別貸借対照表比較

##### (1) 資産の部

科目	平成 26 年度		平成 27 年度	
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定資産	14,414,685,992	86.89	14,975,269,481	87.24
有形固定資産	14,410,311,648	86.87	14,970,904,947	87.22
土地	938,291,826	5.66	964,365,020	5.62
立木	-	-	-	-
建物	281,652,687	1.70	267,559,304	1.56
建物附属設備	23,133,709	0.14	18,802,577	0.11
構築物	9,911,601,901	59.75	10,175,298,467	59.28
機械及び装置	1,756,001,706	10.59	1,659,344,730	9.67
車両運搬具	6,481,890	0.04	5,304,845	0.03
工具、器具及び備品	17,477,432	0.11	15,866,660	0.09
その他有形固定資産	8,019,278	-	8,019,278	0.05
建設仮勘定	1,467,651,219	8.85	1,856,344,066	10.81
無形固定資産	4,374,344	0.03	4,364,534	0.03
電話加入権	4,276,244	0.03	4,276,244	0.02
商標権	98,100	0.00	88,290	0.00
流動資産	2,174,617,766	13.11	2,190,216,543	12.76
現金・預金	1,670,583,100	10.07	1,669,269,396	9.72
未収金	497,088,746	3.00	515,225,930	3.00
貯蔵品	5,152,676	0.03	4,355,816	0.03
前払金	316,000	0.00	316,000	0.00
前払費用	1,277,244	0.01	849,401	0.00
その他流動資産	200,000	0.00	200,000	0.00
資産合計	16,589,303,758	100.00	17,165,486,024	100.00

平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
16,692,719,377	87.48	18,110,533,805	88.09	103.9	115.8	125.6	
16,688,364,653	87.45	18,106,188,891	88.07	103.9	115.8	125.6	
979,925,046	5.14	1,003,903,881	4.88	102.8	104.4	107.0	
-	-	-	-	-	-	-	
254,976,331	1.34	242,557,745	1.18	95.0	90.5	86.1	
14,517,480	0.08	11,362,882	0.06	81.3	62.8	49.1	
10,976,026,853	57.52	11,821,248,613	57.50	102.7	110.7	119.3	
1,569,154,305	8.22	1,565,103,061	7.61	94.5	89.4	89.1	
6,302,461	0.03	5,708,030	0.03	81.8	97.2	88.1	
15,029,262	0.08	16,030,707	0.08	90.8	86.0	91.7	
8,019,278	0.04	8,019,278	0.04	-	-	-	
2,864,413,637	15.01	3,432,254,694	16.69	126.5	195.2	233.9	
4,354,724	0.02	4,344,914	0.02	99.8	99.6	99.3	
4,276,244	0.02	4,276,244	0.02	100.0	100.0	100.0	
78,480	0.00	68,670	0.00	90.0	80.0	70.0	
2,389,596,359	12.52	2,448,910,355	11.91	100.7	109.9	112.6	
1,467,272,412	7.69	1,321,806,845	6.43	99.9	87.8	79.1	
914,838,434	4.79	1,119,709,672	5.45	103.6	184.0	225.3	
6,113,325	0.03	6,003,925	0.03	84.5	118.6	116.5	
316,000	0.00	316,000	0.00	100.0	100.0	100.0	
856,188	0.00	873,913	0.00	66.5	67.0	68.4	
200,000	0.00	200,000	0.00	100.0	100.0	100.0	
19,082,315,736	100.00	20,559,444,160	100.00	103.5	115.0	123.9	

## (2) 負債・資本の部

科目	平成 26 年度		平成 27 年度	
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定負債	4,188,351,202	25.25	4,426,676,543	25.79
企業債	3,927,215,191	23.67	4,111,246,997	23.95
引当金	261,136,011	1.57	315,429,546	1.84
流動負債	915,509,580	5.52	745,086,355	4.34
企業債	230,153,599	1.39	239,941,922	1.40
未払金	610,396,385	3.68	430,213,783	2.51
未払費用	20,961,064	0.13	21,565,883	0.13
前受金	97,196	0.00	59,002	0.00
引当金	44,786,000	0.27	45,518,000	0.27
その他流動負債	9,115,336	0.05	7,787,765	0.05
繰延収益	3,652,837,682	22.02	3,658,646,819	21.31
長期前受金	3,174,541,595	19.14	3,104,373,699	18.08
建設仮勘定長期前受金	478,296,087	2.88	554,273,120	3.23
資本金	4,423,653,551	26.67	7,050,834,471	41.08
資本金	4,423,653,551	26.67	7,050,834,471	41.08
剰余金	3,408,951,743	20.55	1,284,241,836	7.48
資本剰余金	274,434,600	1.65	274,434,600	1.60
工事負担金	6,189,175	0.04	6,189,175	0.04
受贈財産評価額	149,013,199	0.90	149,013,199	0.87
国庫補助金	104,711,395	0.63	104,711,395	0.61
その他資本剰余金	14,520,831	0.09	14,520,831	0.08
利益剰余金	3,134,517,143	18.89	1,009,807,236	5.88
建設改良積立金	426,148,854	2.57	503,504,279	2.93
当年度未処分利益剰余金	2,708,368,289	16.33	506,302,957	2.95
負債・資本合計	16,589,303,758	100.00	17,165,486,024	100.00

平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
5,020,739,613	26.31	5,564,644,693	27.07	105.7	119.9	132.9	
4,685,504,709	24.55	5,176,360,161	25.18	104.7	119.3	131.8	
335,234,904	1.76	388,284,532	1.89	120.8	128.4	148.7	
731,959,758	3.84	763,760,191	3.71	81.4	80.0	83.4	
265,383,810	1.39	296,336,172	1.44	104.3	115.3	128.8	
361,882,544	1.90	391,881,887	1.91	70.5	59.3	64.2	
20,098,833	0.11	21,927,653	0.11	102.9	95.9	104.6	
40,668	0.00	160,668	0.00	60.7	41.8	165.3	
46,495,000	0.24	48,753,000	0.24	101.6	103.8	108.9	
38,058,903	0.20	4,700,811	0.02	85.4	417.5	51.6	
4,062,650,791	21.29	4,339,251,983	21.11	100.2	111.2	118.8	
3,333,636,502	17.47	3,615,528,453	17.59	97.8	105.0	113.9	
729,014,289	3.82	723,723,530	3.52	115.9	152.4	151.3	
7,727,570,305	40.50	8,265,367,672	40.20	159.4	174.7	186.8	
7,727,570,305	40.50	8,265,367,672	40.20	159.4	174.7	186.8	
1,539,395,269	8.07	1,626,419,621	7.91	37.7	45.2	47.7	
274,434,600	1.44	274,447,881	1.33	100.0	100.0	100.0	
6,189,175	0.03	6,189,175	0.03	100.0	100.0	100.0	
149,013,199	0.78	149,026,480	0.72	100.0	100.0	100.0	
104,711,395	0.55	104,711,395	0.51	100.0	100.0	100.0	
14,520,831	0.08	14,520,831	0.07	100.0	100.0	100.0	
1,264,960,669	6.63	1,351,971,740	6.58	32.2	40.4	43.1	
534,601,422	2.80	684,217,195	3.33	118.2	125.4	160.6	
730,359,247	3.83	667,754,545	3.25	18.7	27.0	24.7	
19,082,315,736	100.00	20,559,444,160	100.00	103.5	115.0	123.9	

## 5 経営分析

### (1) 施設効率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
有収率	%	91.7	91.4	91.8	90.6
施設利用率	%	48.4	48.2	48.4	48.6
最大稼働率	%	54.4	55.6	57.7	54.8
負荷率	%	88.9	86.6	83.8	88.7
配水管使用効率	m <sup>3</sup> /m	18.7	18.3	17.6	17.6
固定資産使用効率	m <sup>3</sup> /万円	10.8	10.5	9.5	8.8

### (2) 生産性

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
職員1人当たり給水人口	人	2,019	1,977	2,320	1,915
職員1人当たり給水量	m <sup>3</sup>	250,916	246,796	291,912	240,915
職員1人当たり営業収益	千円	31,879	31,182	37,079	30,696
有収水量1m <sup>3</sup> 当りの供給単価	円・銭	125.92	125.23	125.95	126.33
有収水量1m <sup>3</sup> 当りの給水原価	円・銭	122.09	122.20	119.76	123.02
給水量10,000m <sup>3</sup> 当りの職員数	人	15	15	13	15
料金徴収委託率	%	100	100	100	100



算式	説明
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示す。高いほど良好で、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総合的に判断する指標。大きいほど効率的とされる。
$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の利用率と投資の適正化を判断する指標。大きいほど良好だが、100%に近づきすぎると配水能力のアップが必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	施設効率を判断する指標。大きいほど効率的とされる。水道事業は季節的な需要変動があり、需要のピーク時に合わせた施設であるため、需要変動が大きいほど施設の効率が悪くなり、負荷率が小となる。
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	配水管が効率的に使用されているかを示す指標。大きいほど良好とされるが、給水区域の人口密度によって影響を受けるため、一般的に人口密度が高いほど数値が高くなる。
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に着目して施設の効率性を判断する指標。大きいほど良好とされる。

算式	説明
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	職員数が適正であるかを判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの生産性）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの売上高）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの収益を得ているかを示す。
$\frac{\text{年間経費} - \text{受託工事費}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの費用がかかっているかを示す。
$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{年間有収水量 (1万m}^3) \div 365}$	事業規模に対する職員数が適正か判断する指標。小さいほど良好とされる。
$\frac{\text{徴収委託数}}{\text{全徴収件数}} \times 100$	料金徴収における委託の割合を示す。 平成25年度から料金徴収業務を民間委託している。

### (3) 構成比率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
固定資産構成比率	%	86.9	87.2	87.5	88.1
流動資産構成比率	%	13.1	12.8	12.5	11.9
固定負債構成比率	%	25.2	25.8	26.3	27.1
自己資本構成比率	%	69.2	69.9	69.9	69.2

### (4) 財務比率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
固定資産対長期資本比率	%	92.0	91.2	91.0	91.5
固定比率	%	125.5	124.9	125.2	127.3
流動比率	%	237.5	294.0	326.5	320.6
酸性試験比率	%	236.8	293.2	325.4	319.7
現金比率	%	182.5	224.0	200.5	173.1

### (5) 回転率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
自己資本回転率	回	0.2	0.2	0.1	0.1
固定資産回転率	回	0.1	0.1	0.1	0.1
流動資産回転率	回	0.9	0.8	0.8	0.8
未収金回転率	回	3.8	3.6	2.6	1.8

### (6) 収益率等

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総収支比率	%	110.5	113.7	120.2	113.4
営業収支比率	%	101.2	100.9	103.4	100.5
利子負担率	%	1.8	1.8	1.6	1.4

※説明中の矢印は、大小どちらの方が良いかを示す

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↓ 総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば、資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↑ 総資産に対する流動資産の占める割合を示し、大であれば、流動性は良好である。
$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	↓ 総資本に対する固定負債の占める割合を示し、小であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	↑ 総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	↓ 自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	↓ 固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%以上といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。

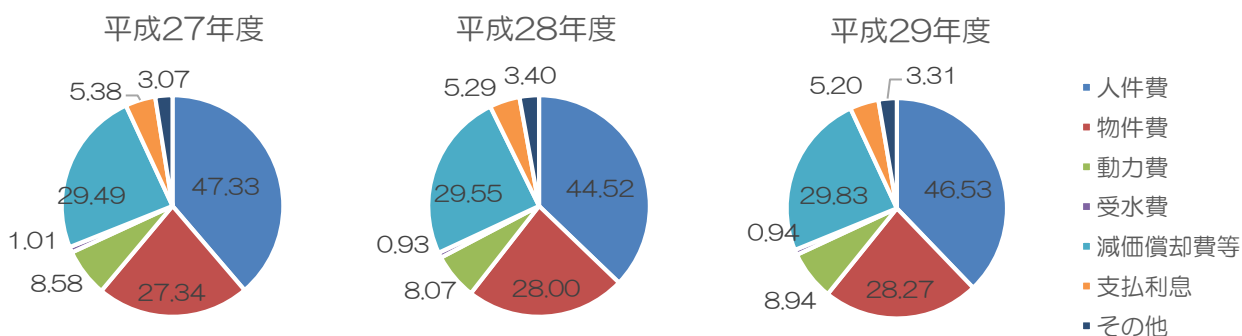
算式	説明
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2}$	↑ 自己資本の活動能力を示し、比率が高いほど資本の回収が早い。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$	↑ この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	↑ 短期資産の活動能力を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性は大きい。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$	↑ 未収金の回収速度を示し、高いほど回転が速く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

算式	説明
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	↑ 企業活動の能率を示し、比率が高いほど経営状態は良好であり、100%以下は赤字である。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	↑ 営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好である。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{長期借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	↓ 負債に対する支払利息の割合を示す。

(7) 給水原価の性質別構成内容

(単位：円・銭)

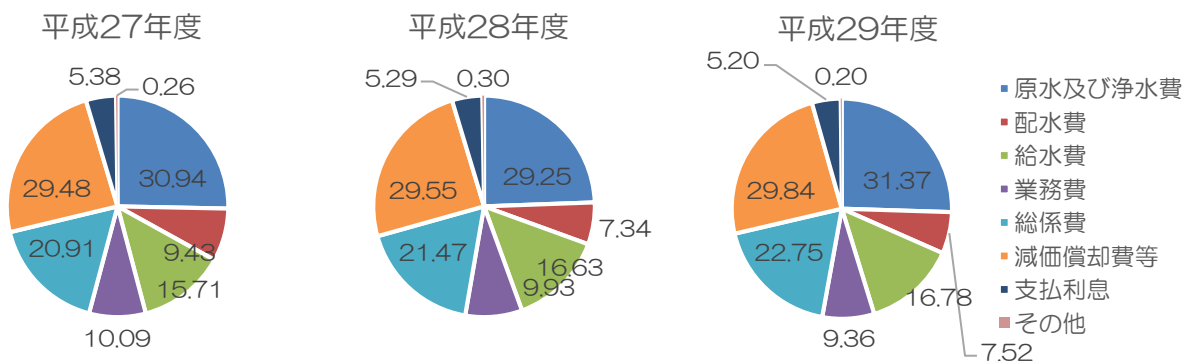
区 分	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度
人 件 費	47.33	44.52	46.53
物 件 費	27.34	28.00	28.27
動 力 費	8.58	8.07	8.94
受 水 費	1.01	0.93	0.94
減価償却費等	29.49	29.55	29.83
支 払 利 息	5.38	5.29	5.20
そ の 他	3.07	3.40	3.31
計	122.20	119.76	123.02



(8) 給水原価の部門別構成内容

(単位：円・銭)

区 分	平成 27 年 度	平成 28 年 度	平成 29 年 度
原水及び浄水費	30.94	29.25	31.37
配 水 費	9.43	7.34	7.52
給 水 費	15.71	16.63	16.78
業 務 費	10.09	9.93	9.36
総 係 費	20.91	21.47	22.75
減価償却費等	29.48	29.55	29.84
支 払 利 息	5.38	5.29	5.20
そ の 他	0.26	0.30	0.20
計	122.20	119.76	123.02



# 工業用水道事業

(I) 概 要

(II) 施 設

(III) 業 務

(IV) 財 政

the 1990s, the number of people in the UK who are employed in the public sector has increased from 10.5 million to 12.5 million, and the number of people in the public sector who are employed in health care has increased from 2.5 million to 3.5 million (Department of Health 2000).

There are a number of reasons for this increase. One of the main reasons is the increasing demand for health care services. The population of the UK is ageing, and there is a growing number of people with chronic conditions such as diabetes, heart disease, and cancer. This has led to an increase in the number of people who need to be treated in hospitals and other health care settings.

Another reason for the increase is the expansion of the public sector. The government has invested heavily in health care over the past few decades, and this has led to the creation of new jobs in the public sector. For example, the number of people employed in the NHS has increased from 2.5 million in 1990 to 3.5 million in 2000.

There are also a number of other factors that have contributed to the increase in the number of people employed in the public sector. For example, the number of people who are employed in the public sector has increased because of the increasing number of people who are employed in the public sector who are employed in health care. This is because the number of people who are employed in the public sector who are employed in health care has increased from 2.5 million in 1990 to 3.5 million in 2000.

There are a number of challenges that the public sector faces in the future. One of the main challenges is the increasing demand for health care services. The population of the UK is ageing, and there is a growing number of people with chronic conditions such as diabetes, heart disease, and cancer. This has led to an increase in the number of people who need to be treated in hospitals and other health care settings.

Another challenge is the expansion of the public sector. The government has invested heavily in health care over the past few decades, and this has led to the creation of new jobs in the public sector. For example, the number of people employed in the NHS has increased from 2.5 million in 1990 to 3.5 million in 2000.

There are also a number of other factors that have contributed to the increase in the number of people employed in the public sector. For example, the number of people who are employed in the public sector has increased because of the increasing number of people who are employed in the public sector who are employed in health care. This is because the number of people who are employed in the public sector who are employed in health care has increased from 2.5 million in 1990 to 3.5 million in 2000.

There are a number of challenges that the public sector faces in the future. One of the main challenges is the increasing demand for health care services. The population of the UK is ageing, and there is a growing number of people with chronic conditions such as diabetes, heart disease, and cancer. This has led to an increase in the number of people who need to be treated in hospitals and other health care settings.

Another challenge is the expansion of the public sector. The government has invested heavily in health care over the past few decades, and this has led to the creation of new jobs in the public sector. For example, the number of people employed in the NHS has increased from 2.5 million in 1990 to 3.5 million in 2000.

## (I) 概 要

- |   |            |     |     |
|---|------------|-----|-----|
| 1 | 工業用水道事業の沿革 | ・・・ | 111 |
| 2 | 工業用水道事業の歩み | ・・・ | 112 |
| 3 | 平成29年度事業概況 | ・・・ | 114 |
| 4 | 写真で見る概要    | ・・・ | 114 |





## 1 工業用水道事業の沿革

昭和40年代に入り岩国市の産業誘致政策の一環として、本市南部通津地区の海面を埋め立て、工場敷地を造成することになり、旭化成(株)をはじめ数社の進出が決定していた。

これらの工場に工場用水を給水するため、工業用水道布設事業として昭和45年10月に着工、昭和49年3月に完成し、同年10月より旭化成(株)・旧モラルコ(株)の二つの企業に給水を開始した。

その後、岩国市三角町三丁目地内の岩国市第二工場より工業用水道の給水申し込みがあり、第一次拡張事業として配水池から門前町三丁目の国道手前までの配水管布設工事を水道局発注で昭和52年3月に完成した。また、門前町三丁目の国道から三角町三丁目の同工場までの配水管を岩国市の発注で昭和54年3月に完成し、同年4月より給水を開始した。以降、中国電力(株)をはじめとして数社に給水し12企業・工場となった。

平成10年6月、上水道事業の水利権変更に伴い工業用水道事業の水利権も30,070m<sup>3</sup>から28,570m<sup>3</sup>に変更した。また、平成12年8月から老朽化した工業用水道ポンプ室の取水施設整備事業に着手し、平成14年2月に完成した。

平成12年11月4日の県道拡幅工事、平成13年3月24日の芸予地震による配水管漏水事故がそれぞれに発生したが、工業用水を利用している各企業の理解を得て、半日程度の断水で修理工事を完了し、送水を再開した。

平成16年7月、(株)岩国ウッドパワーの進出に伴い、旭化成建材(株)の保有分を12,500m<sup>3</sup>/日から11,708m<sup>3</sup>/日に変更し、(株)岩国ウッドパワーに792m<sup>3</sup>/日の給水を許可し、本稼働となる平成17年10月からは1,100m<sup>3</sup>/日の給水を許可した。

平成18年7月、日本製紙クレシア(株)の基本使用水量の変更を行い、8,000m<sup>3</sup>/日から6,000m<sup>3</sup>/日とした。

平成20年4月、山口県住宅供給公社の給水を中止した。

平成21年1月、昭和48年に布設されたφ600mm配水管にて漏水事故が発生し、断水となったが、各企業の協力のもと約2週間の復旧工事を経て、送水を再開した。

平成21年4月、岩国市第二工場の岩国市みすみクリーンセンターへの名称変更と同時に1,000m<sup>3</sup>/日に変更した。

平成25年1月、日本製紙クレシア(株)が生産設備を停止したため、基本使用水量を6,000m<sup>3</sup>/日から100m<sup>3</sup>/日へと大幅に減量した。

平成25年3月、愛宕山まちづくり安全協議会の事業終了に伴い、給水を廃止した。

平成26年1月、(株)竹中に100m<sup>3</sup>/日の給水を許可し、同年3月末で給水を廃止した。

平成28年4月、中国電力(株)の基本使用水量が2,000m<sup>3</sup>/日から1,800m<sup>3</sup>/日に減量となり、同年5月、新たに大和ハウス工業(株)に100m<sup>3</sup>/日の給水を開始した。

平成29年6月から10月にかけて漏水事故が多発したが、各企業の協力のもと断水を伴う修理工事を行った。

## 2 工業用水道事業の歩み

年	月	事 項
S44年	9月	工業用水道事業認可申請
S45年	9月	工業用水道事業認可
	10月	工業用水道事業起工
S49年	3月	工業用水道事業完成
	8月	工業用水道通水開始（旭化成(株)・旧モラルコ(株)）
S51年	4月	岩国市第一工場給水開始
	12月	工業用水道第1次拡張事業認可申請
	12月	工業用水道第1次拡張事業起工（設計を含む）
S52年	3月	工業用水道第1次拡張事業認可
S53年	1月	工業用水道料金改定
S54年	4月	岩国市第二工場給水開始
	9月	中国電力(株)給水開始
S60年	4月	工業用水道料金改定
H元年	7月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事着工
H2年	3月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事完成
H4年	4月	東洋自動機(株)給水開始
	6月	朝日鉄工(株)給水開始
	7月	大邦工業(株)給水開始
H5年	1月	旭興産(株)給水開始
	11月	(株)クレシア給水開始
H9年	10月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事着工
	10月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事着工
H10年	6月	水利権変更許可申請（28,570m <sup>3</sup> ）山口県より許可
	9月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
	10月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事完成
H12年	2月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
	2月	山口県住宅供給公社給水開始
	8月	取水施設整備事業着工
	11月	県道拡幅工事に起因する配水管漏水事故
H13年	3月	芸予地震発生国道188号線陥没による配水管漏水事故
H14年	2月	取水施設整備事業完成
H16年	7月	(株)岩国ウッドパワー給水開始
H19年	6月	牛野谷町三丁目送水管、配水管移設工事完成
H20年	3月	牛野谷町三丁目送水管移設工事完成
	3月	取水ポンプ取替工事完成
	4月	山口県住宅供給公社給水中止
	11月	門前町三丁目配水管移設工事完成
H21年	1月	φ600配水管漏水事故
	4月	岩国市みすみクリーンセンター（旧第二工場）基本使用水量変更
H23年	2月	山口県住宅供給公社給水廃止
	6月	愛宕山まちづくり安全協議会給水開始
	7月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更
H24年	7月	(株)ミツウロコ岩国発電所（旧(株)岩国ウッドパワー）社名変更
H25年	1月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更（生産設備停止）
	3月	南岩国町四丁目工業用水道配水管布設替工事完成
	3月	愛宕山まちづくり安全協議会給水廃止
H26年	1月	(株)竹中給水開始
	3月	南岩国町四丁目工業用水道配水管連結工事完成
	3月	(株)竹中給水廃止
H28年	5月	大和ハウス工業(株)給水開始



### 3 平成29年度事業概況

平成29年度の基本使用水量は、前年度と変わりなく、日量16,758m<sup>3</sup>であります。  
また、漏水の早期発見に努め、安定供給を図るため、漏水調査を行っています。  
建設改良事業は、工水水中モーターポンプ整備工事を32,832,000円で実施しました。

### 4 写真で見る概要



水源（錦川伏流水 集水埋管で取水）



給水先 通津沖工業団地



給水先 中国電力株岩国発電所



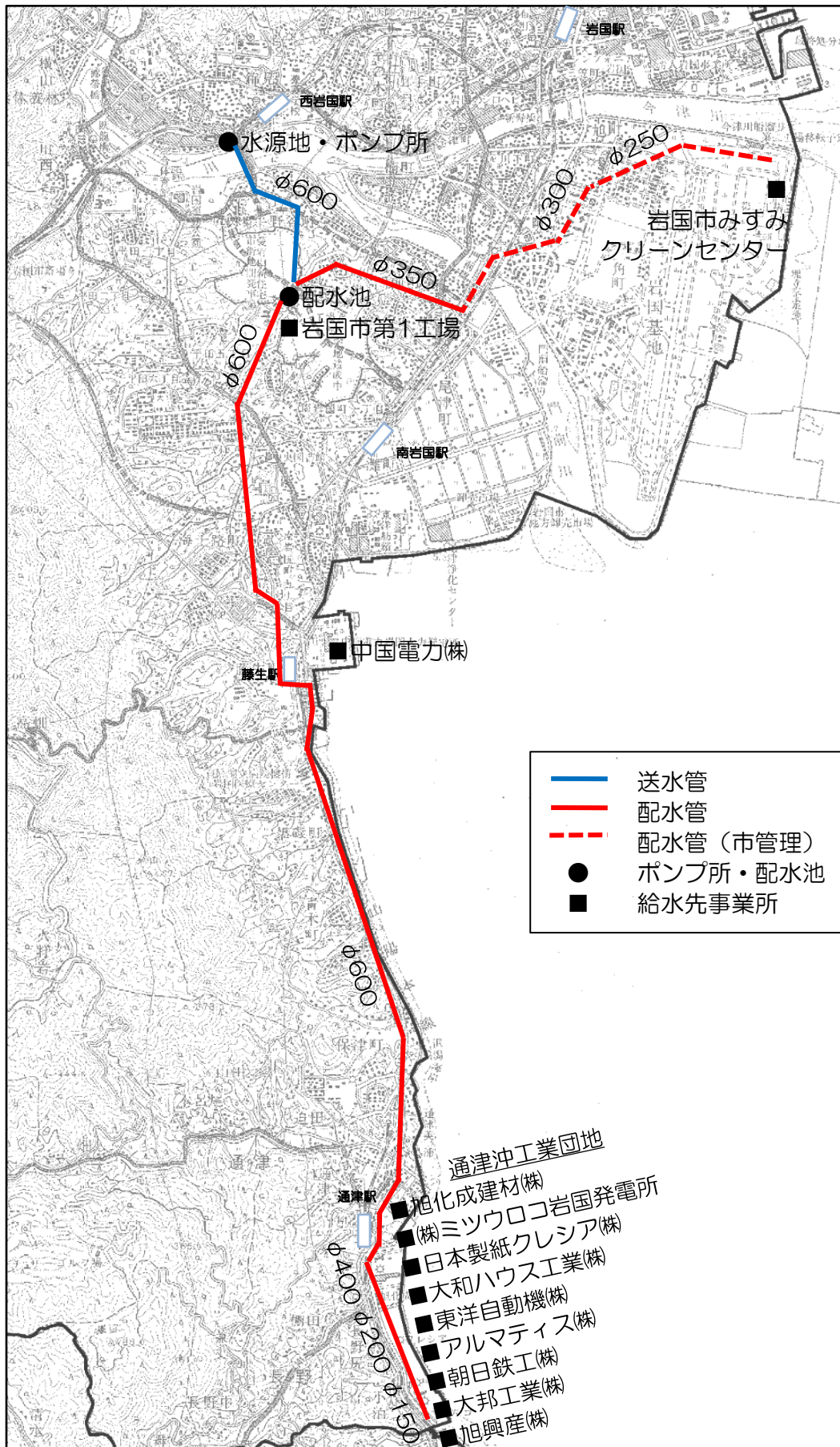
給水先 岩国市第一工場

## (Ⅱ) 施 設

- 1 各施設及び給水先事業所位置図 . . . 115
- 2 工業用水道施設 . . . 116
- 3 工業用水道管路施設 . . . 116
- 4 施設写真 . . . 116



# 1 各施設及び給水先事業所位置図



## 2 工業用水道施設

ポンプ所	岩国市錦見7-31-7	337.42m <sup>2</sup>	
配水池	岩国市平田5-92	644.00m <sup>2</sup>	施設能力 28,570m <sup>3</sup> /日
導水管	FCD φ800 φ500		総延長 200m
送水ポンプ	水中モーターポンプ	380kw	Q=20.0m <sup>3</sup> /分 H=80.0m 2台
送水管	FCD・GP φ600		総延長2,665m
配水池	RC造フラットスラブ	GL=65.00m	幅27.85m 長23.10m 高4.20m 有効容量2,700m <sup>3</sup>
配水管	FCD・GP φ600~φ100		総延長14,290m

## 3 工業用水道管路施設

(単位：m)

	管種	口径 (mm)	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29	
						年度末	増減
送水管	铸铁管	600	2,298	2,298	2,298	2,298	0
	鋼管	600	367	367	367	367	0
	合計		2,665	2,665	2,665	2,665	0
配水管	铸铁管	600	9,990	9,990	9,990	9,990	0
		400	1,155	1,155	1,155	1,155	0
		350	2,277	2,277	2,277	2,277	0
		200	578	578	578	578	0
		150	240	240	240	240	0
		100	4	4	4	4	0
	鋼管	600	46	46	46	46	0
	合計		14,290	14,290	14,290	14,290	0

## 4 施設写真



ポンプ所外観



送水ポンプ室



配水池



愛宕橋添架送水管



## (Ⅲ) 業 務

- |   |            |     |     |
|---|------------|-----|-----|
| 1 | 給水普及状況     | ・・・ | 117 |
| 2 | 配水量        | ・・・ | 118 |
| 3 | 基本使用（契約）水量 | ・・・ | 119 |
| 4 | 工業用水道料金    | ・・・ | 119 |
| 5 | 職員構成       | ・・・ | 120 |
| 6 | 建設改良工事等    | ・・・ | 120 |



# 1 給水普及状況

## (1) 給水先事業所数及び配水量

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H28年度比較	
					増減	比率
給水先事業所数(箇所)	11	11	12	12	0	100.0%
1日基本使用水量(m <sup>3</sup> )	16,858	16,858	16,758	16,758	0	100.0%
年間総配水量(m <sup>3</sup> )	1,764,753	1,848,480	1,775,196	1,821,475	46,279	102.6%
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	6,680	9,016	7,358	8,584	1,226	116.7%
1日最小配水量(m <sup>3</sup> )	1,981	1,873	2,581	2,454	△127	95.1%
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	4,835	5,050	4,864	4,990	126	102.6%

## (2) 給水状況

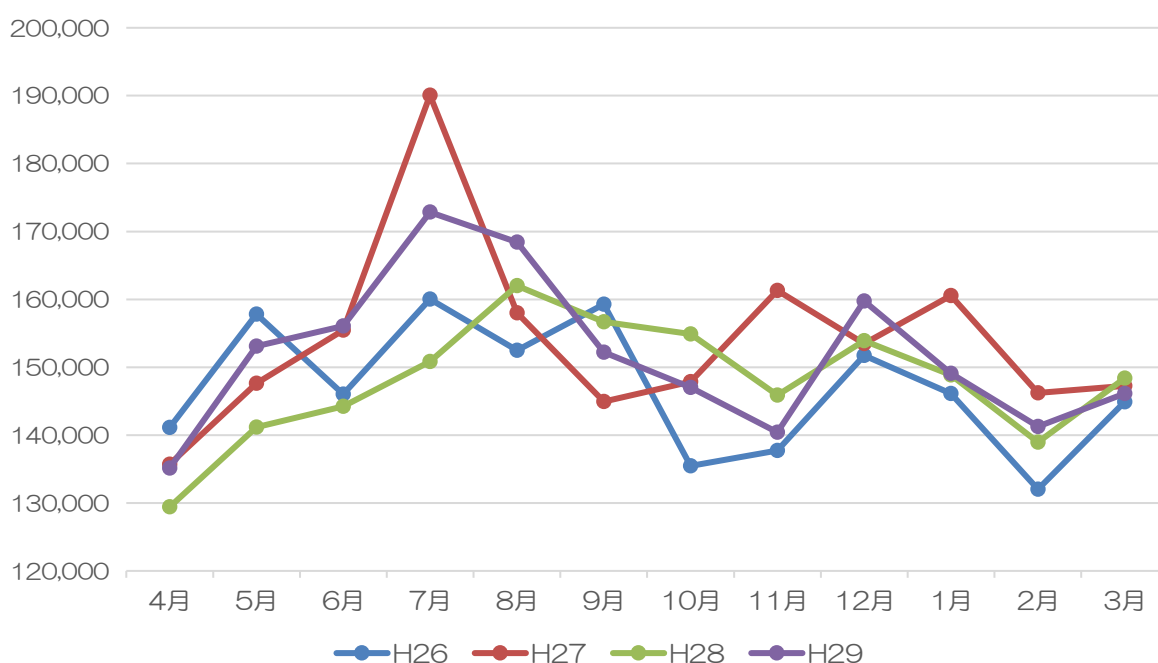
(単位：m<sup>3</sup>)

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H28年度比較	
					増減	比率
旭化成建材株式会社	985,060	1,044,319	988,121	966,693	△21,428	97.8%
アルマティス株式会社	16,778	14,217	15,779	15,544	△235	98.5%
岩国市第一工場	78,185	80,929	79,044	78,237	△807	99.0%
岩国市みすみリサイクル	149,383	125,386	162,697	166,418	3,721	102.3%
中国電力株式会社	294,332	343,123	283,974	281,096	△2,878	99.0%
朝日鉄工株式会社	1,038	1,148	1,454	2,226	772	153.1%
旭興産株式会社	6,261	5,473	3,715	3,435	△280	92.5%
大邦工業株式会社	327	213	259	381	122	147.1%
東洋自動機株式会社	7,262	6,296	6,054	6,561	507	108.4%
日本製紙クレシア株式会社	9,659	10,540	5,625	21,386	15,761	380.2%
株式会社サウジ岩国発電所	215,366	216,254	225,552	216,039	△9,513	95.8%
大和ハウス工業株式会社	-	-	1,373	110	△1,263	8.0%
計	1,763,651	1,847,898	1,773,647	1,758,126	△15,521	99.1%

## 2 配水量

### 年度別配水量

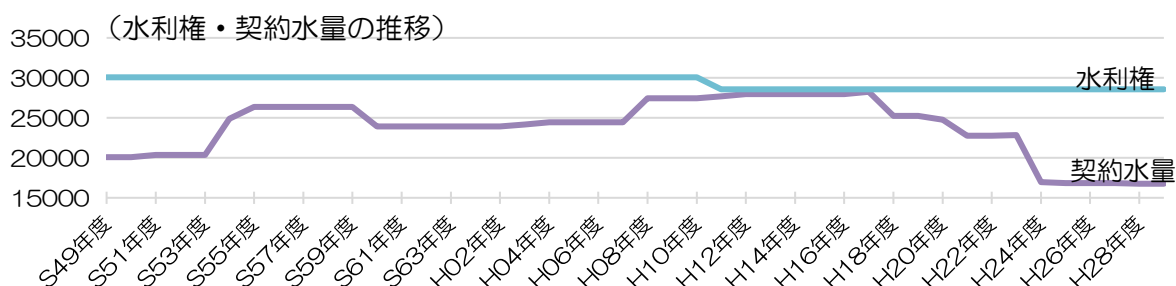
	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H28 年度比較	
					増減	比率
4月	141,141	135,723	129,427	135,155	5,728	104.4%
5月	157,795	147,649	141,170	153,086	11,916	108.4%
6月	146,030	155,439	144,233	156,065	11,832	108.2%
7月	160,033	190,053	150,832	172,833	22,001	114.6%
8月	152,501	158,025	162,000	168,427	6,427	104.0%
9月	159,276	144,941	156,681	152,197	△ 4,484	97.1%
10月	135,457	147,867	154,882	147,039	△ 7,843	94.9%
11月	137,736	161,292	145,882	140,440	△ 5,442	96.3%
12月	151,713	153,488	153,912	159,754	5,842	103.8%
1月	146,147	160,558	148,836	149,076	240	100.2%
2月	132,031	146,212	138,957	141,257	2,300	101.7%
3月	144,893	147,233	148,384	146,145	△ 2,239	98.5%
計	1,764,753	1,848,480	1,775,196	1,821,474	46,278	102.6%
平均	147,063	154,040	147,933	151,790	3,857	102.6%



### 3 基本使用（契約）水量

給水契約事業所名	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	備 考 (数値の単位はm <sup>3</sup> /日)
旭化成建材(株)	11,708	20,000(S49.8)→17,576(S60.4)→15,876(H4.4)→12,500(H5.11)→11,708(H16.7)
アルマテイス(株)	100	100(S49.9) 旧名称 モラルコ(株)→アルコアケミカルズ(株)
岩国市第一工場	500	266(S51.4)→500(H3.4)
岩国市みすみ クリーンセンター	1,000	4,000(S54.4)→3,000(H18.4)→1,000(H21.4) 旧名称 第二工場
中国電力(株)	1,800	500(S54.9)→2,000(S55.8)→1,800(H28.4)
朝日鉄工(株)	100	100(H4.6)
旭興産(株)	100	100(H5.1)
大邦工業(株)	50	50(H4.7)
東洋自動機(株)	100	1,700(H4.4)→100(H8.7)
日本製紙クレシア(株)	100	3,376(H5.11)→8,000(H8.7)→6,000(H18.7)→100(H25.1) 旧名称 (株)クレシア
愛宕山まちづくり 安全協議会	廃止	100(H23.6)→廃止(H25.3)
山口県 住宅供給公社	廃止	250(H12.2)→1,100(H12.4)→500(H13.1)→中止(H20.4)→廃止(H23.2)
(株)ミツウロコ 岩国発電所	1,100	792(H16.7)→1,100(H17.10) 旧名称 (株)岩国ウッドパワー
大和ハウス工業(株)	100	100(H28.5)
(株)竹中	廃止	100(H26.1)→廃止(H26.3)

水利権	28,570	30,070(S49.8)→28,570(H10.6)
-----	--------	-----------------------------



### 4 工業用水道料金

工業用水道料金改定表 ※消費税及び地方消費税は別途加算

種 別	S49.8.1～	S53.1.1～	S60.4.1～
基本料金 (1m <sup>3</sup> につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭
特定料金 (1m <sup>3</sup> につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭
超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)	18円00銭	33円00銭	40円40銭

特定料金・・・基本使用水量を超える給水を受けることを事前に管理者に申し込んで給水を受けた場合の料金

超過料金・・・基本使用水量を超える給水を受けることを事前に管理者に申し込まずに給水を受けた場合の料金

## 5 職員構成

### (1) 職員定数および実数

(単位：人)

	定 数	H28年度末	H29年度末	増 減
主 事	10	2	1	-1
技 師		5	6	1
小 計	10	7	7	0
臨時職員	-	0	0	0
合 計	10	7	7	0

### (2) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年 齢	主 事	技 師	合 計
25 歳 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
25 歳 以 上 35 歳 未 満	1 (14.29%)	3 (42.84%)	4 (57.13%)
35 歳 以 上 45 歳 未 満	0 (0.00%)	2 (28.58%)	2 (28.58%)
45 歳 以 上 55 歳 未 満	0 (0.00%)	1 (14.29%)	1 (14.29%)
55 歳 以 上	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
計	1 (14.29%)	6 (85.71%)	7 (100.00%)
平 均 年 齢	26歳 6月	38歳 7月	36歳 10月

### (3) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年 数	主 事	技 師	合 計
5 年 未 満	0 (0.00%)	2 (28.58%)	2 (28.58%)
5 年 以 上 10 年 未 満	1 (14.29%)	1 (14.29%)	2 (28.58%)
10 年 以 上 15 年 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
15 年 以 上 20 年 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
20 年 以 上	0 (0.00%)	3 (42.84%)	3 (42.84%)
計	1 (14.29%)	6 (85.71%)	7 (100.00%)
平 均 勤 続 年 数	7年 0月	14年 10月	13年 9月

## 6 建設改良工事等

### 改良工事

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工/完成
工水水中モーターポンプ整備工事	水中モーターポンプ 400BSY 1台	32,832,000	H29.06.07 H30.03.23

## (Ⅳ) 財 政

1	平成29年度財政概況	・・・	121
2	決算報告書	・・・	122
3	年度別収益費用明細書比較	・・・	132
4	年度別貸借対照表比較	・・・	134
5	経営分析	・・・	138





## 1 平成29年度財政概況

収益的収支では、収入額132,254,271円に対し、支出額124,961,604円で、差引き7,292,667円の純利益となりました。

資本的収支では、収入はなく、支出額44,071,234円で、差引き44,071,234円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,432,000円、減債積立金11,239,234円、過年度分損益勘定留保資金30,400,000円で補填しました。

また、当年度末処分利益剰余金は48,901,178円となりましたが、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、建設改良積立金に10,000,000円を積み立て、資本金に11,239,234円を組み入れる予定のため、翌年度繰越利益剰余金は27,661,944円となります。

## 2 決算報告書

### (1) 収入及び支出

#### 収益的収入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 工業用水道事業収益	143,646,000	△ 368,000	-
第1項 営業収益	133,941,000	-	-
第2項 営業外収益	9,655,000	△ 368,000	-
第3項 特別利益	50,000	-	-

#### 収益的支出

区 分	予 算 額					小 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	
第1款 工業用水道事業費用	130,721,000	4,286,000	0	0	-	135,007,000
第1項 営業費用	126,500,000	4,486,000	-	△ 1,702,500	-	129,283,500
第2項 営業外費用	3,171,000	△ 200,000	1,000,000	1,702,500	-	5,673,500
第3項 特別損失	50,000	-	-	-	-	50,000
第4項 予備費	1,000,000	-	△ 1,000,000	-	-	0

#### 資本的収入

区 分	予 算 額			地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
第1款 資本的収入	1,880,000	△ 1,880,000	0	-
第1項 工事負担金	1,880,000	△ 1,880,000	0	-

#### 資本的支出

区 分	予 算 額					合計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	
第1款 資本的支出	77,188,000	△ 2,020,000	-	75,168,000	-	75,168,000
第1項 建設改良費	65,848,000	△ 2,020,000	-	63,828,000	-	63,828,000
第2項 企業債償還金	11,240,000	-	-	11,240,000	-	11,240,000
第3項 予備費	100,000	-	-	100,000	-	100,000

(単位：円)

合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
143,278,000	142,510,112	△ 767,888	
133,941,000	133,449,936	△ 491,064	うち、仮受消費税9,885,127円
9,287,000	9,058,943	△ 228,057	うち、仮受消費税370,840円
50,000	1,233	△ 48,767	

地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越 額	合 計	決 算 額	地方公営企 業法26条第 2項の規定に よる繰越額	不 用 額	備 考
-	135,007,000	132,785,445	-	2,221,555	
-	129,283,500	127,112,895	-	2,170,605	うち、仮払消費税2,286,341円
-	5,673,500	5,672,550	-	950	
-	50,000	0	-	50,000	
-	0	0	-	0	

継続費逐 次繰越額	合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
-	0	0	0	
-	0	0	0	

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企 業法第26条の 規定による繰 越額	継続費 逐次繰 越額	合 計		
44,071,234	-	-	-	31,096,766	
32,832,000	-	-	-	30,996,000	うち、仮払消費税2,432,000円
11,239,234	-	-	-	766	
0	-	-	-	100,000	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額44,071,234円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,432,000円、減債積立金11,239,234円及び過年度分損益勘定留保資金30,400,000円で補てんした。

(2) 損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

1営業収益			(単位：円)
(1)給水収益	<u>123,564,809</u>	123,564,809	
2営業費用			
(1)原水及び配水費	71,359,884		
(2)総係費	11,864,541		
(3)減価償却費	<u>41,602,129</u>	<u>124,826,554</u>	
営業損失			1,261,745
3営業外収益			
(1)受取利息及び配当金	114,994		
(2)他会計補助金	656,000		
(3)長期前受金戻入	3,270,609		
(4)雑収益	<u>4,646,626</u>	8,688,229	
4営業外費用			
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	<u>135,050</u>	<u>135,050</u>	8,553,179
經常利益			<u>7,291,434</u>
5特別利益			
(1)過年度損益修正益	<u>1,233</u>	<u>1,233</u>	<u>1,233</u>
当年度純利益			7,292,667
前年度繰越利益剰余金			30,369,277
その他未処分利益剰余金変動額			11,239,234
当年度未処分利益剰余金			<u><u>48,901,178</u></u>

## (3) 剰余金処分計算書

(単位：円)

	資 本 金	未処分利益剰余金
当 年 度 末 残 高	828,653,295	48,901,178
議会の議決による処分数額	11,239,234	△ 21,239,234
建設改良積立金の積立	0	△ 10,000,000
資本金への組入れ	11,239,234	△ 11,239,234
処 分 後 残 高	839,892,529	(繰越利益剰余金) 27,661,944

(4) 剰余金計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

	資本金	剰	
		利 益	
		減債積立金	利益積立金
前年度末残高	808,420,025	11,239,234	13,409,650
前年度処分額	20,233,270	0	0
議会の議決による処分額	20,233,270	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0
資本金への組入れ	20,233,270	0	0
処分後残高	828,653,295	11,239,234	13,409,650
当年度変動額	0	△ 11,239,234	0
減債積立金の使用	0	△ 11,239,234	0
当年度純利益	0	0	0
当年度末残高	828,653,295	0	13,409,650

(単位：円)

余 金				資 本 合 計
建 設 改 良	未 処 分 利 益	利 益 剰 余 金 合 計	金	
積 立 金	剰 余 金	金	金	
139,616,689	100,602,547	264,868,120		1,073,288,145
50,000,000	△ 70,233,270	△ 20,233,270		0
50,000,000	△ 70,233,270	△ 20,233,270		0
50,000,000	△ 50,000,000	0		0
0	△ 20,233,270	△ 20,233,270		0
189,616,689	30,369,277 (※1)	244,634,850		1,073,288,145
0	18,531,901	7,292,667		7,292,667
0	11,239,234	0		0
0	7,292,667	7,292,667		7,292,667
189,616,689	48,901,178 (※2)	251,927,517		1,080,580,812

※1 繰越利益剰余金

※2 当年度未処分利益剰余金

(5) 貸借対照表（平成30年3月31日）

資産の部

（単位：円）

1 固定資産

(1)有形固定資産

ア 土地		17,457,297	
イ 建物	34,259,394		
減価償却累計額	<u>△ 13,320,048</u>	20,939,346	
ウ 建物附属設備	4,122,885		
減価償却累計額	<u>△ 3,916,742</u>	206,143	
エ 構築物	985,184,147		
減価償却累計額	<u>△ 744,517,815</u>	240,666,332	
オ 機械及び装置	625,257,030		
減価償却累計額	<u>△ 486,711,595</u>	138,545,435	
カ 車両運搬具	810,000		
減価償却累計額	<u>△ 769,500</u>	40,500	
キ 工具、器具及び備品	5,877,100		
減価償却累計額	<u>△ 5,583,245</u>	293,855	
ク 建設仮勘定		17,300,000	
有形固定資産合計		<u>435,448,908</u>	
固定資産合計			<u>435,448,908</u>

2 流動資産

(1)現金・預金

755,160,847

(2)未収金

12,595,241

(3)貯蔵品

56,646

(4)前払費用

16,150

流動資産合計

767,828,884

資産合計

1,203,277,792



負債の部

3 固定負債

(1)引当金

ア 修繕引当金

10,000,000

イ 退職給付引当金

22,672,907

32,672,907

固定負債合計

32,672,907

4 流動負債

(1)未払金

35,042,540

(2)未払費用

260,905

(3)引当金

ア 賞与等引当金

3,709,000

イ 修繕引当金

2,827,500

6,536,500

(4)その他流動負債

183,056

流動負債合計

42,023,001

5 繰延収益

(1)長期前受金

61,083,508

長期前受金収益化累計額

△ 13,082,436

48,001,072

繰延収益合計

48,001,072

負債合計

122,696,980

資本の部

6 資本金

(1)資本金

828,653,295

7 剰余金

(1)利益剰余金

ア 利益積立金

13,409,650

イ 建設改良積立金

189,616,689

ウ 当年度未処分利益剰余金

48,901,178

利益剰余金合計

251,927,517

剰余金合計

251,927,517

資本合計

1,080,580,812

負債資本合計

1,203,277,792

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	17,457,297	0	0	17,457,297
建物	34,259,394	0	0	34,259,394
建物附属設備	4,122,885	0	0	4,122,885
構築物	985,184,147	0	0	985,184,147
機械及び装置	594,857,030	30,400,000	0	625,257,030
車両運搬具	810,000	0	0	810,000
工具、器具及び備品	5,877,100	0	0	5,877,100
建設仮勘定	17,300,000	0	0	17,300,000
計	1,659,867,853	30,400,000	0	1,690,267,853

(7) 企業債明細書

種類	発行年月日	発行総額	当年度減少額	
			当年度償還高	償還高累計
取水施設整備事業	平 14.3.25	円 65,800,000	円 4,622,135	円 65,800,000
//	14.3.28	94,200,000	6,617,099	94,200,000
合計		160,000,000	11,239,234	160,000,000

(単位：円)

減 価 償 却 累 計 額			年度末償却 未 済 高	備 考
当年度増加額	当年度減少額	累 計		
-	-	-	17,457,297	
832,503	0	13,320,048	20,939,346	
243,257	0	3,916,742	206,143	
19,360,227	0	744,517,815	240,666,332	
21,164,946	0	486,711,595	138,545,435	
1,196	0	769,500	40,500	
0	0	5,583,245	293,855	
-	-	-	17,300,000	
41,602,129	0	1,254,818,945	435,448,908	

未償還残高	発行価額	利 率	償 還 終 期	備 考
円	円	年 % 平		
0	-	1.60	30.3.1	財務省理財局
0	-	1.60	30.3.20	地方公共団体金融機構
0				

### 3 年度別収益費用明細書比較

科目	年度		年度	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
工業用水道事業収益	135,111,690	100.00	136,427,219	100.00
営業収益	124,294,029	91.99	125,321,361	91.86
給水収益	124,294,029	91.99	125,321,361	91.86
受託工事収益	0	0.00	0	0.00
営業外収益	10,804,959	8.00	11,095,744	8.13
受取利息及び配当金	188,846	0.14	200,208	0.15
他会計補助金	476,000	0.35	728,000	0.53
長期前受金戻入	3,270,609	2.42	3,270,609	2.40
雑収益	6,869,504	5.08	6,896,927	5.06
特別利益	12,702	0.01	10,114	0.01
過年度損益修正益	12,702	0.01	10,114	0.01
その他特別利益	0	0.00	0	0.00
工業用水道事業費用	120,102,605	100.00	119,820,515	100.00
営業費用	115,606,386	96.26	119,067,269	99.37
原水及び配水費	62,766,503	52.26	61,629,429	51.43
受託工事費	0	0.00	0	0.00
総係費	10,572,981	8.80	14,544,463	12.14
減価償却費	41,386,011	34.46	42,545,935	35.51
資産減耗費	880,891	0.73	347,442	0.29
営業外費用	1,072,953	0.89	753,246	0.63
支払利息及び企業債取扱諸費	1,072,731	0.89	752,579	0.63
雑支出	222	0.00	667	0.00
特別損失	3,423,266	2.85	0	0.00
過年度損益修正損	3,423,266	2.85	0	0.00
固定資産売却損	0	0.00	0	0.00
当年度純利益	15,009,085	-	16,606,704	-

平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
135,002,474	100.00	132,254,271	100.00	101.0	99.9	97.9	
123,467,849	91.46	123,564,809	93.43	100.8	99.3	99.4	
123,467,849	91.46	123,564,809	93.43	100.8	99.3	99.4	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
11,311,764	8.38	8,688,229	6.57	102.7	104.7	80.4	
164,651	0.12	114,994	0.09	106.0	87.2	60.9	
1,008,000	0.75	656,000	0.50	152.9	211.8	137.8	
3,270,609	2.42	3,270,609	2.47	100.0	100.0	100.0	
6,868,504	5.09	4,646,626	3.51	100.4	100.0	67.6	
222,861	0.17	1,233	0.00	79.6	1,754.5	9.7	
222,861	0.17	1,233	0.00	79.6	1,754.5	9.7	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
113,707,462	100.00	124,961,604	100.00	99.8	94.7	104.0	
113,275,673	99.62	124,826,554	99.89	103.0	98.0	108.0	
56,555,338	49.74	71,359,884	57.11	98.2	90.1	113.7	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
14,486,798	12.74	11,864,541	9.49	137.6	137.0	112.2	
42,233,537	37.14	41,602,129	33.29	102.8	102.0	100.5	
0	0.00	0	0.00	39.4	0.0	0.0	
427,402	0.38	135,050	0.11	70.2	39.8	12.6	
427,188	0.38	135,050	0.11	70.2	39.8	12.6	
214	0.00	0	0.00	300.5	96.4	0.0	
4,387	0.00	0	0.00	0.0	0.1	0.0	
4,387	0.00	0	0.00	0.0	0.1	0.0	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
21,295,012	-	7,292,667	-	110.6	141.9	48.6	

#### 4 年度別貸借対照表比較

##### (1) 資産の部

科目	年度	平成 26 年度		平成 27 年度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定資産		512,407,951	42.84	471,584,574	39.82
有形固定資産		512,407,951	42.84	471,584,574	39.82
土地		17,457,297	1.46	17,457,297	1.47
建物		23,436,855	1.96	22,604,352	1.91
建物附属設備		939,198	0.08	694,299	0.06
構築物		300,444,610	25.12	279,993,365	23.64
機械及び装置		169,731,415	14.19	150,475,327	12.71
車両運搬具		104,721	0.01	66,079	0.01
工具、器具及び備品		293,855	0.02	293,855	0.02
建設仮勘定		0	0.00	0	0.00
流動資産		683,664,420	57.16	712,624,112	60.18
現金・預金		671,079,936	56.11	699,516,902	59.07
未収金		12,502,168	1.05	13,034,414	1.10
貯蔵品		56,646	0.00	56,646	0.00
前払費用		25,670	0.00	16,150	0.00
資産合計		1,196,072,371	100.00	1,184,208,686	100.00

平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
446,651,037	37.61	435,448,908	36.19	92.0	87.2	85.0	
446,651,037	37.61	435,448,908	36.19	92.0	87.2	85.0	
17,457,297	1.47	17,457,297	1.45	100.0	100.0	100.0	
21,771,849	1.83	20,939,346	1.74	96.4	92.9	89.3	
449,400	0.04	206,143	0.02	73.9	47.8	21.9	
260,026,559	21.90	240,666,332	20.00	93.2	86.5	80.1	
129,310,381	10.89	138,545,435	11.51	88.7	76.2	81.6	
41,696	0.00	40,500	0.00	63.1	39.8	38.7	
293,855	0.02	293,855	0.02	100.0	100.0	100.0	
17,300,000	1.46	17,300,000	1.44	-	-	-	
740,816,258	62.39	767,828,884	63.81	104.2	108.4	112.3	
727,504,861	61.27	755,160,847	62.76	104.2	108.4	112.5	
13,238,601	1.11	12,595,241	1.05	104.3	105.9	100.7	
56,646	0.00	56,646	0.00	100.0	100.0	100.0	
16,150	0.00	16,150	0.00	62.9	62.9	62.9	
1,187,467,295	100.00	1,203,277,792	100.00	99.0	99.3	100.6	

## (2) 負債・資本の部

科目	年度	平成 26 年 度		平成 27 年 度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定負債		61,745,411	5.16	46,312,141	3.91
企業債		31,472,504	2.63	11,239,234	0.95
引当金		30,272,907	2.53	35,072,907	2.96
流動負債		41,127,632	3.44	31,361,122	2.65
企業債		19,907,879	1.66	20,233,270	1.71
未払金		17,108,736	1.43	7,047,687	0.60
未払費用		318,651	0.03	270,728	0.02
引当金		3,627,000	0.30	3,582,000	0.30
その他流動負債		165,366	0.01	227,437	0.02
繰延収益		57,812,899	4.83	54,542,290	4.61
長期前受金		57,812,899	4.83	54,542,290	4.61
資本金		686,512,004	57.40	788,512,146	66.59
資本金		686,512,004	57.40	788,512,146	66.59
剰余金		348,874,425	29.17	263,480,987	22.25
利益剰余金		348,874,425	29.17	263,480,987	22.25
減債積立金		51,380,383	4.30	31,472,504	2.66
利益積立金		13,409,650	1.12	13,409,650	1.13
建設改良積立金		104,616,689	8.75	119,616,689	10.10
当年度未処分利益剰余金		179,467,703	15.00	98,982,144	8.36
負債・資本合計		1,196,072,371	100.00	1,184,208,686	100.00



平成 28 年 度		平成 29 年 度		すう勢比率 (26年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
27,872,907	2.35	32,672,907	2.72	75.0	45.1	52.9	
-	-	-	-	35.7	-	-	
27,872,907	2.35	32,672,907	2.72	115.9	92.1	107.9	
35,034,562	2.95	42,023,001	3.49	76.3	85.2	102.2	
11,239,234	0.95	-	-	101.6	56.5	-	
19,721,064	1.66	35,042,540	2.91	41.2	115.3	204.8	
125,696	0.01	260,905	0.02	85.0	39.4	81.9	
3,767,000	0.32	6,536,500	0.54	98.8	103.9	180.2	
181,568	0.02	183,056	0.02	137.5	109.8	110.7	
51,271,681	4.32	48,001,072	3.99	94.3	88.7	83.0	
51,271,681	4.32	48,001,072	3.99	94.3	88.7	83.0	
808,420,025	68.08	828,653,295	68.87	114.9	117.8	120.7	
808,420,025	68.08	828,653,295	68.87	114.9	117.8	120.7	
264,868,120	22.31	251,927,517	20.94	75.5	75.9	72.2	
264,868,120	22.31	251,927,517	20.94	75.5	75.9	72.2	
11,239,234	0.95	-	-	61.3	21.9	-	
13,409,650	1.13	13,409,650	1.11	100.0	100.0	100.0	
139,616,689	11.76	189,616,689	15.76	114.3	133.5	181.2	
100,602,547	8.47	48,901,178	4.06	55.2	56.1	27.2	
1,187,467,295	100.00	1,203,277,792	100.00	99.0	99.3	100.6	

## 5 経営分析

### (1) 施設効率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
有収率	%	99.9	99.97	99.91	96.52
施設利用率	%	16.9	17.7	17.0	17.5

### (2) 生産性

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
職員1人当たり配水量	m <sup>3</sup>	220,594	231,060	253,599	260,211
職員1人当たり営業収益	千円	15,537	15,665	17,638	17,652
有収水量1m <sup>3</sup> 当りの供給単価	円・銭	70.48	67.82	69.61	70.28
有収水量1m <sup>3</sup> 当りの給水原価	円・銭	64.30	63.07	62.26	69.22

算式	説明
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示す。高いほど良好で、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総合的に判断する指標。大きいほど効率的とされる。

算式	説明
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの生産性）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの売上高）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの収益を得ているかを示す。
$\frac{\text{年間経費－受託工事費}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりどれだけの費用がかかっているかを示す。

### (3) 構成比率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
固定資産構成比率	%	42.8	39.8	37.6	36.2
流動資産構成比率	%	57.2	60.2	62.4	63.8
固定負債構成比率	%	5.2	3.9	2.3	2.7
自己資本構成比率	%	91.4	93.4	94.7	93.8

### (4) 財務比率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
固定資産対長期資本比率	%	44.4	40.9	38.8	37.5
固定比率	%	46.9	42.6	39.7	38.6
流動比率	%	1662.3	2272.3	2114.5	1827.2
酸性試験比率	%	1662.1	2272.1	2114.3	1827.0
現金比率	%	1631.7	2230.5	2076.5	1797.0

### (5) 回転率

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
自己資本回転率	回	0.1	0.1	0.1	0.1
固定資産回転率	回	0.2	0.3	0.3	0.3
流動資産回転率	回	0.2	0.2	0.2	0.2
未収金回転率	回	9.9	9.8	9.4	9.6

### (6) 収益率等

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総収支比率	%	111.7	112.5	113.9	105.8
営業収支比率	%	105.9	107.5	105.3	99.0
利子負担率	%	2.0	2.1	2.4	0.0

※説明中の矢印は、大小どちらの方が良いかを示す

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↓ 総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば、資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↑ 総資産に対する流動資産の占める割合を示し、大であれば、流動性は良好である。
$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	↓ 総資本に対する固定負債の占める割合を示し、小であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	↑ 総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。

算式	説明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	↓ 自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	↓ 固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%以上といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。

算式	説明
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2}$	↑ 自己資本の活動能力を示し、比率が高いほど資本の回収が早い。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$	↑ この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	↑ 短期資産の活動能力を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性は大きい。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$	↑ 未収金の回収速度を示し、高いほど回転が速く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

算式	説明
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	↑ 企業活動の能率を示し、比率が高いほど経営状態は良好であり、100%以下は赤字である。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	↑ 営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好である。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{長期借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	↓ 負債に対する支払利息の割合を示す。



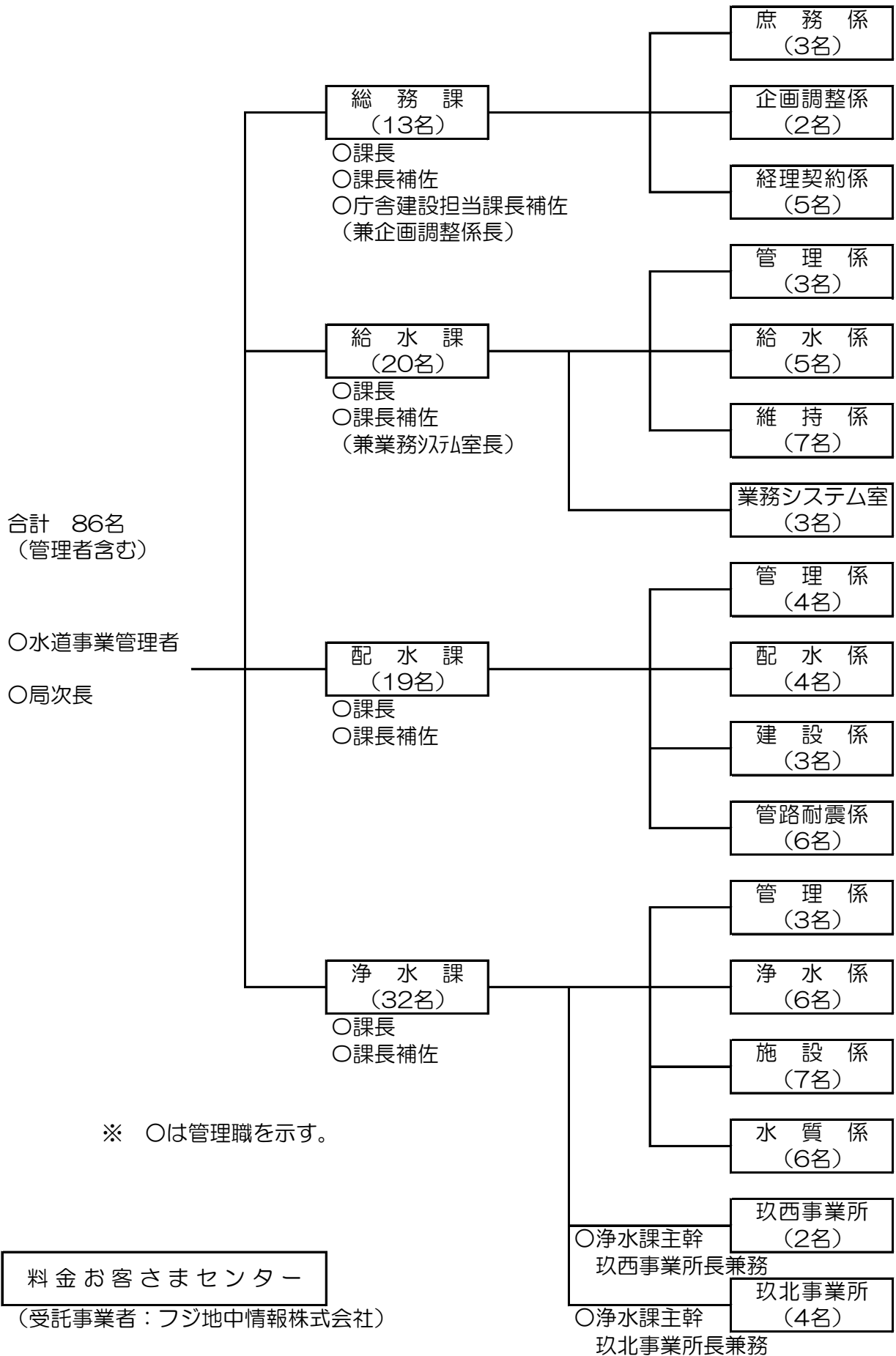
# そ の 他

1 水道局の機構	・・・ 143
2 職員構成	・・・ 144
3 事務分掌	・・・ 146
4 防災関係	・・・ 153





# 1 水道局の機構 (平成30年4月1日現在)



## 2 職員構成

(1) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年度	年 齢	主 事	技 師	合 計
平成26年度	25 歳 未 満	4 (4.76%)	1 (1.19%)	5 (5.95%)
	25 歳 以上 35 歳 未 満	12 (14.29%)	6 (7.14%)	18 (21.43%)
	35 歳 以上 45 歳 未 満	14 (16.67%)	17 (20.24%)	31 (36.90%)
	45 歳 以上 55 歳 未 満	10 (11.90%)	7 (8.33%)	17 (20.24%)
	55 歳 以 上	2 (2.35%)	11 (12.94%)	13 (15.48%)
	合 計	42 (50.00%)	42 (50.00%)	84 (100.00%)
平成27年度	25 歳 未 満	4 (4.71%)	1 (1.18%)	5 (5.88%)
	25 歳 以上 35 歳 未 満	10 (11.76%)	8 (9.41%)	18 (21.18%)
	35 歳 以上 45 歳 未 満	15 (17.65%)	16 (18.82%)	31 (36.47%)
	45 歳 以上 55 歳 未 満	11 (12.94%)	7 (8.24%)	18 (21.18%)
	55 歳 以 上	2 (2.35%)	11 (12.94%)	13 (15.29%)
	合 計	42 (49.41%)	43 (50.59%)	85 (100.00%)
平成28年度	25 歳 未 満	4 (4.71%)	0 (0.00%)	4 (4.71%)
	25 歳 以上 35 歳 未 満	12 (14.12%)	10 (11.76%)	22 (25.88%)
	35 歳 以上 45 歳 未 満	12 (14.12%)	15 (17.65%)	27 (31.76%)
	45 歳 以上 55 歳 未 満	13 (15.29%)	8 (9.41%)	21 (24.71%)
	55 歳 以 上	3 (3.53%)	8 (9.41%)	11 (12.94%)
	合 計	44 (51.76%)	41 (48.24%)	85 (100.00%)
平成29年度	25 歳 未 満	4 (4.65%)	1 (1.16%)	5 (5.81%)
	25 歳 以上 35 歳 未 満	12 (13.95%)	9 (10.47%)	21 (24.42%)
	35 歳 以上 45 歳 未 満	11 (12.79%)	12 (13.95%)	23 (26.74%)
	45 歳 以上 55 歳 未 満	14 (16.28%)	11 (12.79%)	25 (29.07%)
	55 歳 以 上	4 (4.65%)	8 (9.30%)	12 (13.95%)
	合 計	45 (52.33%)	41 (47.67%)	86 (100.00%)

(2) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年度	年数	主事	技師	合計
平成26年度	5年未満	4 (4.76%)	3 (3.57%)	7 (8.33%)
	5年以上10年未満	6 (7.14%)	1 (1.19%)	7 (8.33%)
	10年以上15年未満	6 (7.14%)	4 (4.76%)	10 (11.90%)
	15年以上20年未満	9 (10.71%)	11 (13.10%)	20 (23.81%)
	20年以上	17 (20.24%)	23 (27.38%)	40 (47.62%)
	合計	42 (50.00%)	42 (50.00%)	84 (100.00%)
平成27年度	5年未満	2 (2.35%)	4 (4.71%)	6 (7.06%)
	5年以上10年未満	8 (9.41%)	2 (2.35%)	10 (11.76%)
	10年以上15年未満	5 (5.88%)	4 (4.71%)	9 (10.59%)
	15年以上20年未満	8 (9.41%)	9 (10.59%)	17 (20.00%)
	20年以上	19 (22.35%)	24 (28.24%)	43 (50.59%)
	合計	42 (49.41%)	43 (50.59%)	85 (100.00%)
平成28年度	5年未満	3 (3.53%)	4 (4.71%)	7 (8.24%)
	5年以上10年未満	9 (10.59%)	2 (2.35%)	11 (12.94%)
	10年以上15年未満	4 (4.71%)	5 (5.88%)	9 (10.59%)
	15年以上20年未満	7 (8.24%)	5 (5.88%)	12 (14.12%)
	20年以上	21 (24.71%)	25 (29.41%)	46 (54.12%)
	合計	44 (51.76%)	41 (48.24%)	85 (100.00%)
平成29年度	5年未満	4 (4.65%)	5 (5.81%)	9 (10.47%)
	5年以上10年未満	7 (8.14%)	2 (2.33%)	9 (10.47%)
	10年以上15年未満	6 (6.98%)	5 (5.81%)	11 (12.79%)
	15年以上20年未満	4 (4.65%)	0 (0.00%)	4 (4.65%)
	20年以上	24 (27.91%)	29 (33.72%)	53 (61.63%)
	合計	45 (52.33%)	41 (47.67%)	86 (100.00%)

### 3 事務分掌（平成30年4月1日現在）

#### (1) 総務課

##### ア 庶務係

- (ア) 文書の受発に関する事。
- (イ) 公印に関する事。
- (ウ) 条例、規則及び規程に関する事。
- (エ) 職員の採用及び任免に関する事。
- (オ) 職員の分限、懲戒及び褒賞等身分取扱いに関する事。
- (カ) 組織及び機構に関する事。
- (キ) 職員の定数及び配置に関する事。
- (ク) 職員の初任給、昇格、昇給及び給与に関する事。
- (ケ) 源泉徴収及び特別徴収に関する事。
- (コ) 児童手当に関する事。
- (サ) 公務旅行及び旅費に関する事。
- (シ) 労働組合に関する事。
- (ス) 労務管理に関する事。
- (セ) 公務災害補償に関する事。
- (ソ) 市町村職員共済組合に関する事。
- (タ) 職員の安全衛生管理に関する事。
- (チ) 職員の福利厚生に関する事。
- (ツ) 局日誌に関する事。
- (テ) 局所管の土地の管理に関する事。
- (ト) 庁舎及び構内の管理に関する事。
- (ナ) 局内の取締り、管理及び宿日直に関する事。
- (ニ) 公舎の維持管理及び入居に関する事。
- (ヌ) 局車両の総括管理に関する事。
- (ネ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
- (ノ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (ハ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (ヒ) 課主管の入札に関する事。
- (フ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (ヘ) 主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (ホ) 他課及び課内他係に属さない事。

##### イ 企画調整係

- (ア) 企画に関する事。
- (イ) 中長期基本計画の策定に関する事。
- (ウ) 行財政改革の策定及び評価に関する事。
- (エ) 防災計画及び危機管理に関する事。
- (オ) 情報処理システムの構築及び管理運用に関する事。
- (カ) 事業年報に関する事。
- (キ) 日本水道協会の事務に関する事。
- (ク) 局主管の調査及び研究に関する事。
- (ケ) 職員の研修に関する事。
- (コ) 局内の行事に関する事。
- (サ) 局主管の広報及び統計に関する事。
- (シ) 建物火災及び自動車損害賠償責任保険の契約に関する事。
- (ス) 庁舎建設等に関する事。
- (セ) その他総務に関する事。

##### ウ 経理契約係

- (ア) 予算の編成及び執行並びに決算に関する事。

その他

- (イ) 資金計画及び借入金に関すること。
- (ウ) 企業債及び一時借入金に関すること。
- (エ) 剰余金の処分及び積立金に関すること。
- (オ) 収納取扱金融機関に関すること。
- (カ) 原価計算に関すること。
- (キ) 収入支出主計簿及び関係証拠書類の整理保管に関すること。
- (ク) 財産の取得及び維持管理並びに処分等総合調整に関すること。
- (ケ) 資産の評価及び償却に関すること。
- (コ) 金銭及び諸証券の出納保管に関すること。
- (サ) 財務諸表の作成に関すること。
- (シ) 業務状況の公表及び経理状況の報告に関すること。
- (ス) 不用品の処分に関すること。
- (セ) 資材及び物品の統計に関すること。
- (ソ) 建設業者及び物品納入業者等の指名願に関すること。
- (タ) 建設工事及び物品購入等の指名入札に関すること。
- (チ) 課及び他課の入札に伴う契約に関すること。
- (ツ) 工業用水道事業の前各号経理に関すること。
- (テ) 工業用水道料金の調定、収納及び還付に関すること。
- (ト) その他工業用水道に関すること。
- (ナ) その他総務に関すること。

## (2) 給水課

### ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関すること。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関すること。
- (ウ) 課専用の公印に関すること。
- (エ) 課主管の入札に関すること。
- (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関すること。
- (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関すること。
- (キ) 課主管工事の受託費及び負担金に関すること。
- (ク) 課所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- (ケ) 手数料及び加入金等の収納及び還付に関すること。
- (コ) 災害時における修繕工事費の徴収及び還付に関すること。
- (サ) 指定給水装置工事事業者に関すること。
- (シ) 課主管の広報及び統計に関すること。
- (ス) 簡易水道統合に伴う負担金等に関すること。
- (セ) 水道メーターの管理に関すること。
- (ソ) 水道メーターの流量検査に関すること。
- (タ) 水道メーターの購入、修理及び検収に関すること。
- (チ) 水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関すること。
- (ツ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- (テ) その他給水に関すること。

### イ 給水係

- (ア) 給水管の調査、設計、施工及び監督に関すること。
- (イ) 工事に係る受託費及び負担金に関すること。
- (ウ) 給水に係る諸届の受付処理に関すること。
- (エ) 手数料、加入金、負担金等の調定に関すること。
- (オ) 給水装置の審査、指導及び検査に関すること。
- (カ) 給水装置台帳に関すること。
- (キ) 水道メーターの取付けに関すること。

- (ク) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関すること。
- (ケ) 給水に係る広報及び統計に関すること。
- (コ) 給水装置所有者の登録及び修正に関すること。
- (サ) 貯水槽水道の審査及び小規模貯水槽水道台帳に関すること。
- (シ) 小規模貯水槽水道設置者に対する管理の指導、助言及び勧告に関すること。
- (ス) 埋設物の立会いに関すること。
- (セ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (ソ) その他給水に関すること。

#### ウ 維持係

- (ア) 送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関すること。
- (イ) 送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に関すること。
- (ウ) 漏水防止の計画及び調査に関すること。
- (エ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関すること。
- (オ) 工事に係る広報及び統計に関すること。
- (カ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (キ) 工業用水道事業の前各号に関すること。
- (ク) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関すること。
- (ケ) 水道メーターの撤去及び取付けに関すること。
- (コ) その他給水に関すること。

#### エ 業務システム室

- (ア) 使用水量の認定に関すること。
- (イ) 水道料金等の調定に関すること。
- (ウ) 水道料金納入通知書等の打ち出しに関すること。
- (エ) 水道料金の収納確認に関すること。
- (オ) 米海兵隊岩国航空基地の使用水量の計量並びに水道料金等の請求に関すること。
- (カ) 水道料金の口座振替に関すること。
- (キ) 水道料金の口座振替手数料の支払いに関すること。
- (ク) 和木町の水道料金徴収手数料に関すること。
- (ケ) 下水道料金算定資料提供に係る手数料に関すること。
- (コ) 集合住宅及びこれに類するものの諸届の受付処理に関すること。
- (サ) 工業用水道の使用水量の計量に関すること。
- (シ) コンビニエンスストア収納業務委託に関すること。
- (ス) 水道料金の未収及び未還付の年度末処理等に関すること。
- (セ) 水道料金業務システムによる統計に関すること。
- (ソ) 水道料金業務システムの管理運用及び更新等に関すること。
- (タ) 収納取扱金融機関に関すること。
- (チ) 水道料金等徴収業務受託者の指導及び監督に関すること。
- (ツ) 水道料金に係る捜査関係事項照会等に関すること。
- (テ) 室に属する予備部品等の保管に関すること。
- (ト) 主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- (ナ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (ニ) その他給水に関すること。

#### (3) 配水課

##### ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関すること。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関すること。
- (ウ) 課専用の公印に関すること。
- (エ) 課主管の入札に関すること。

その他

- (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (キ) 課主管工事の受託費及び負担金に関する事。
- (ク) 課主管の用地買収及び補償に関する事。
- (ケ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (コ) 課主管の広報及び統計に関する事。
- (サ) 管路の集計、調査及び整備に関する事。
- (シ) 管路及び附属設備の管理図面の作成に関する事。
- (ス) 占用及び一時使用の整備に関する事。
- (セ) 埋設物の立会いに関する事。
- (ソ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (タ) その他配水に関する事。

#### イ 配水係

- (ア) 送水管及び配水管施設の維持管理に関する事。
- (イ) 送水管及び配水管施設の計画、調査、工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (ウ) 送水管及び配水管施設の移設並びに受託工事に関する事。
- (エ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 埋設物の立会いに関する事。
- (カ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (キ) 工業用水道事業の前各号に関する事。
- (ク) その他配水に関する事。

#### ウ 建設係

- (ア) 給水区域拡大事業に関する事。
- (イ) 由宇地区給水事業に関する事。
- (ウ) 高所地区配水管等改良事業に関する事。
- (エ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 埋設物の立会いに関する事。
- (カ) その他配水に関する事。

#### エ 管路耐震係

- (ア) 送水管及び配水管施設の耐震化事業計画、調査、工事の設計、施工並びに監督に関する事。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ウ) 埋設物の立会いに関する事。
- (エ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (オ) その他配水に関する事。

#### (4) 浄水課

#### ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関する事。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関する事。
- (ウ) 課専用の公印に関する事。
- (エ) 課主管の入札に関する事。
- (オ) 課主管の入札を伴わない契約に関する事。
- (カ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関する事。
- (キ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (ク) 課に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ケ) 課主管の広報及び統計に関する事。
- (コ) 施設の電力量及び電力料金の統計に関する事。

- (サ) 水道週間等の行事に関する事。
- (シ) 既設高台団地引取事業に関する事。
- (ス) 安全衛生に関する事。
- (セ) 浄水施設の環境整備に関する事。
- (ソ) 河川の水質保全に関する事。
- (タ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (チ) その他浄水に関する事。

#### イ 浄水係

- (ア) 浄水施設（工業用水道施設を含む）及び各団地施設の運転、運転記録、維持管理、保守点検委託業務、日常点検整備、修繕並びに設計監督に関する事。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ウ) 排水処理施設の運営管理に関する事。
- (エ) 水処理及び塩素滅菌に関する事。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関する事。
- (カ) 各浄水場の薬品の検収及び保管に関する事。
- (キ) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ク) 河川の水質保全に関する事。
- (ケ) 交替勤務に関する事。
- (コ) その他浄水に関する事。

#### ウ 施設係

- (ア) 浄水施設（工業用水道施設を含む）及び各団地施設の改良、更新、整備並びに耐震化事業に関する事。
- (イ) 各施設の工事の設計、施工及び監督に関する事。
- (ウ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (エ) 排水処理施設の運営管理に関する事。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関する事。
- (カ) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (キ) 河川の水質保全に関する事。
- (ク) 簡易水道の統合に関する事。
- (ケ) その他浄水に関する事。

#### エ 水質係

- (ア) 水質の検査に関する事。
- (イ) 塩素滅菌及び薬品処理の研究並びに指導に関する事。
- (ウ) 薬品の検収及び保管に関する事。
- (エ) 水質に係る広報及び統計に関する事。
- (オ) 水質年報に関する事。
- (カ) 水質の研究調査及び技術改善に関する事。
- (キ) 工業用水道の水質に関する事。
- (ク) 係に属する予備部品等の保管に関する事。
- (ケ) 他の地方公共団体からの水質検査の依頼に関する事。
- (コ) 河川の水質保全に関する事。
- (サ) その他浄水に関する事。

#### オ 玖西事業所

- (ア) 玖珂町及び周東町地区（以下「玖西地域」という。）の浄水施設の運転、維持管理、保守点検業務委託、修繕、設計及び監督に関する事。
- (イ) 玖西地域の水質管理に関する事。
- (ウ) 玖西地域の施設の巡回及び環境整備に関する事。
- (エ) 玖西事業所所管の器具備品及び車両の管理に関する事。

その他



- (オ) 玖西事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為何書並びに検収に関する  
こと。
- (カ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関すること。
- (キ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に  
関すること。
- (ク) 玖西地域の工事に係る広報及び統計に関すること。
- (ケ) 玖西地域の管路の集計、調査及び整備に関すること。
- (コ) 玖西地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関すること。
- (サ) 玖西地域の占用及び一時使用に関すること。
- (シ) 玖西地域の埋設物の立会いに関すること。
- (ス) 玖西地域の給水管の調査、設計、施工及び監督に関すること。
- (セ) 玖西地域の給水に係る諸届の受付処理に関すること。
- (ソ) 玖西地域の手数料、加入金、負担金等の調定に関すること。
- (タ) 玖西地域の給水装置の審査、指導及び検査に関すること。
- (チ) 玖西地域の給水台帳に関すること。
- (ツ) 玖西地域の給水装置所有者の登録及び修正に関すること。
- (テ) 玖西地域の水道メーターの撤去及び取付けに関すること。
- (ト) 玖西地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関すること。
- (ナ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関すること。
- (ニ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関すること。
- (ヌ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (ネ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関すること。
- (ノ) 河川の水質保全に関すること。
- (ハ) その他玖西地域の水道に関すること。

#### カ 玖北事業所

- (ア) 美和町、本郷町、美川町及び錦地区（以下「玖北地域」という。）の浄水施設の運  
転、維持管理、保守点検業務委託、修繕、設計及び監督に関すること。
- (イ) 玖北地域の水質管理に関すること。
- (ウ) 玖北地域の施設の巡回及び環境整備に関すること。
- (エ) 玖北事業所所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- (オ) 玖北事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為何書並びに検収に関する  
こと。
- (カ) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関すること。
- (キ) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に  
関すること。
- (ク) 玖北地域の工事に係る広報及び統計に関すること。
- (ケ) 玖北地域の管路の集計、調査及び整備に関すること。
- (コ) 玖北地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関すること。
- (サ) 玖北地域の占用及び一時使用に関すること。
- (シ) 玖北地域の埋設物の立会いに関すること。
- (ス) 玖北地域の給水管の調査、設計、施工及び監督に関すること
- (セ) 玖北地域の給水に係る諸届の受付処理に関すること。
- (ソ) 玖北地域の手数料、加入金、負担金等の調定に関すること。
- (タ) 玖北地域の給水装置の審査、指導及び検査に関すること。
- (チ) 玖北地域の給水台帳に関すること。
- (ツ) 玖北地域の給水装置所有者の登録及び修正に関すること。
- (テ) 玖北地域の水道メーターの撤去及び取付けに関すること。
- (ト) 玖北地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関すること。
- (ナ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関すること。
- (ニ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関すること。
- (ヌ) 水道不正使用の取締りに関すること。

- (ネ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関すること。
- (ノ) 河川の水質保全に関すること。
- (ハ) 簡易水道の統合に関すること。
- (ヒ) その他玖北地域の水道に関すること。

## 4 防災関係

### (1) 防災関係物資等の備蓄状況 (平成30年3月31日現在)

項目	内容	保有数量	備考
車両	給水車 (2m <sup>3</sup> )	2台	
	トラック	5台	
給水容器	給水タンク (1000ℓ)	2基	
	給水タンク (300ℓ)	4基	
	ポリ容器 (10・20ℓ)	85個	
	ポリ袋 (6ℓ)	1247個	
機材	応急給水栓	3基	
	発電機	11台	
	投光器	17台	
	鉄管切断機	1台	
	電動ねじ切機	5台	
	水中ポンプ	16台	
飲料水	ペットボトル (500mℓ)	3500本	

### (2) 給水車



タンク容量 2,000ℓ  
平成19年2月購入



タンク容量 2,000ℓ ※緊急走行可  
平成24年9月購入

### (3) 災害備蓄用飲料水「大吟浄の水」<sup>だいぎんじょう みず</sup>

岩国市水道局では、平成18年から、ペットボトル水 (500ml) を災害に備えての備蓄用やPR用として、製造し無料頒布してきました。岩国市の水道水が安全で安心して飲めるおいしい水であることをPRするとともに、直接蛇口の水を飲むことができる水道の歴史と文化を継承しつつ、水道水をおいしく飲んでもらうための啓発活動として、平成25年7月から一般販売をしています。

◀商品名の由来> (平成16年 商標登録)  
日本酒の大吟醸は有名で、厳選された材料で作られ、おいしい高級酒の代名詞となっていますが、「醸」を「浄」に替え、すみきった、きよらかな、高品質のおいしい水を表現しています。

◀販売場所>  
岩国市役所売店や潮風公園みなとオアシスゆうなど、市内数か所で販売しています。詳しくは、岩国市水道局ホームページ、または岩国市水道局総務課までお問い合わせください。



平成26年6月、岩国市水道局では、岩国の水道水が、安全で安心して飲めるおいしい水であることをPRするとともに、市民から親しまれる水道をめざす啓発活動の一環として、オリジナルキャラクターを制作しました。

キャラクターの図案は、市内デザイン業者4社からのサンプル図案を水道局選考委員会で選定し、制作委託業者（Mips・デザイン-岩国市麻里布町-）を決定後、最終図案を完成させました。からだは水のしずくを、頭は錦帯橋の五橋をイメージし、胸の模様は水の漢字がモチーフになっています。

キャラクターの愛称は、岩国市立中学校2年生を対象に募集し水道局選考委員会で選定し、647通の応募の中から東中学校の女子生徒の作品「いーすい」に決定しました。岩国の水道と良い水「いいすい」をイメージして命名されました。

## 平成29年度 岩国市水道事業年報

発行 平成31年1月  
岩国市水道局 総務課

〒740-0022 山口県岩国市山手町4-4-14  
電話 0827-22-3711  
FAX 0827-22-0822  
E-mail soumu.water@city.iwakuni.lg.jp  
ホームページ <http://www.city.iwakuni.lg.jp/site/water/>

